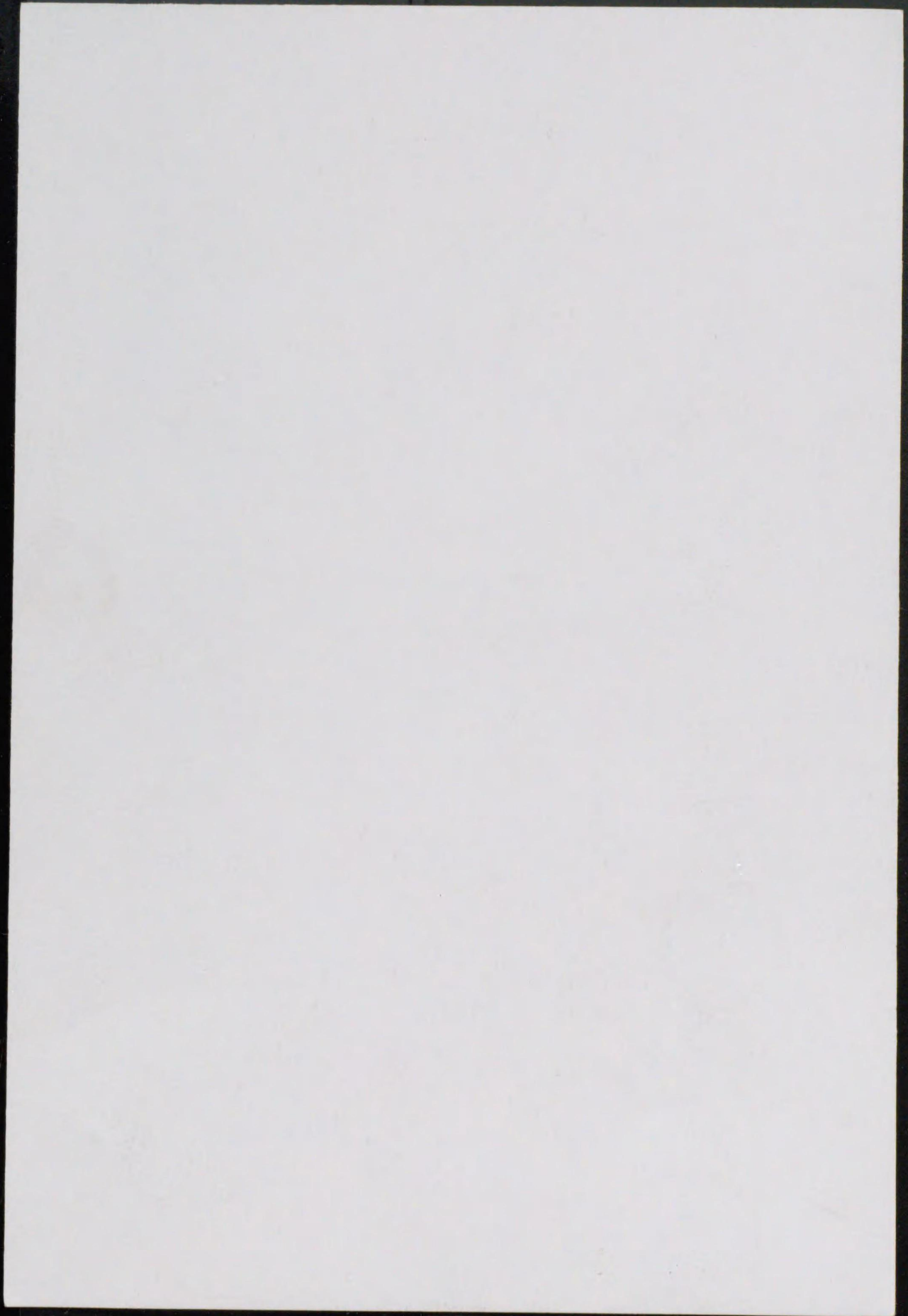


621-223



1200501537900

21
223



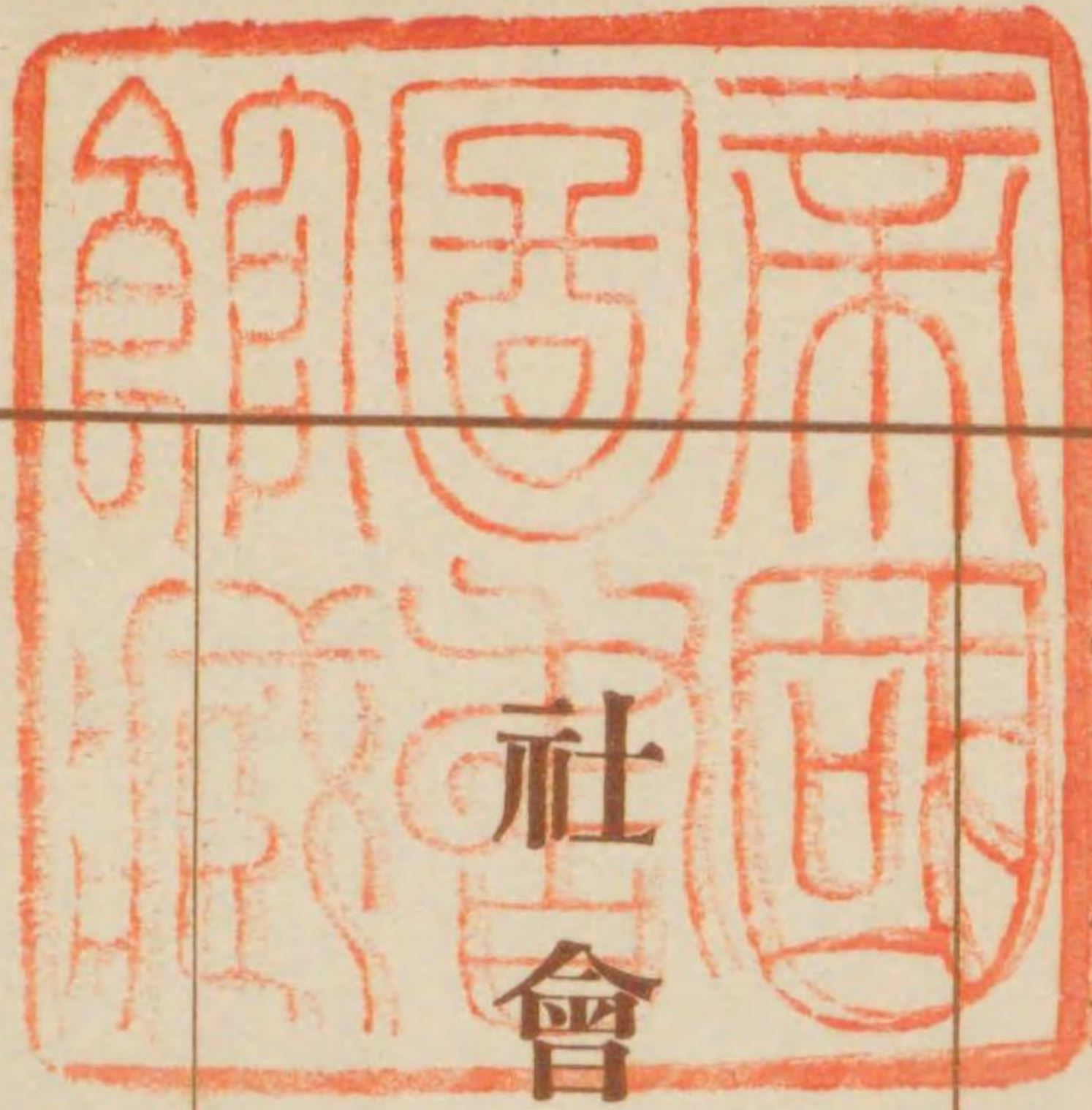
7.11.28

社會經濟評論

社會經濟研究會編譯

● 叢文閣版

234



R · G · I 發行
社會經濟研究會譯

社會經濟評論

叢文閣發行



62/-223

223/223

社會經濟評論 總目錄

第一輯 目次

一 資本主義的合理化の諸矛盾……………一

二 世界恐慌と労働者運動の任務……………二

 一 序……………二

 二 恐慌の諸原因……………二六

 三 經濟恐慌の發展と××的労働者運動……………四二

三 失業の浪……………五〇

 一 ドイツ……………五二

 二 イギリス……………六六

四 企業家の『社會的保護』——労働者の搾取及び抑壓の手段としての……………八二

目次

一

五 合衆國南部の工業化……………九七
家族手當——労働者植民地——青年の額廢(スポーツ)
 六 北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態
 (一九二八年—一九二九年)……………二五
 七 イギリスの失業狀態——労働黨政府の統治下における……………一七

第二輯 目次

一 『第三期』と世界經濟恐慌……………一
 二 諸種の經濟部門に於ける世界經濟恐慌……………三
 三 資本主義諸國に於ける労働者階級の賃銀と生活水準
 (一九二八—三〇年)……………五
 四 資本主義諸國及びサヴェート聯邦に於ける労働時間の長さ……………六
 五 一九二九年に於けるイタリーの景氣と賃銀……………九

六 一九三〇年初頭に於けるフランスの經濟狀態……………二六
 七 アメリカ合衆國に於ける失業……………二六

第三輯 目次

一 社會保險のための闘争(プロフィンタン第五回大會の社會保險
 委員會において行はれたる諸演説)……………一
 ——プロフィンタン社會保險委員會の討議——
 プロフィンタン第五回大會の社會保險委員會における同志エムメリツヒの報告
 同志ファルカス(プロフィンタン)の演説
 サヴェート聯邦における社會的保護——同志エンゲルの報告
 アメリカにおける社會保險問題——同志ダンの報告
 ドイツにおける社會保險の狀態と吾々の要求——ドイツ代表の報告
 大英國とアイルランドにおける社會保險——イギリス代表の報告
 フランスにおける社會保險——フランス代表の報告
 オーストリアにおける社會保險——オーストリア代表の報告

二 社會保險のための吾々の闘争……………四

社會保險のための闘争におけるプロフィンタン支持者の
任務に關する決定

吾々の缺陷と誤謬

社會保險のための闘争は×××労働組合活動において關心の中心點に立たねばならぬ

國營失業保險のための闘争——中心的任務

社會保險のための闘争——中心的任務

植民地における社會保險のための闘争

保險機關の利用と保險カムパニー

結論

三 世界經濟恐慌と『國際粗鋼聯合』……………一〇九

一 『組織化された資本主義』

二 割當闘争——競争闘争の新形態

三 恐慌

四 再建の試み

五 労働者階級に對する攻撃の激化

四 賃銀と恐慌(資料)……………一三六

五 『労働者階級に對する前進』……………一三六

——ドイツに於ける賃銀攻勢について——

六 資本形成と賃銀……………一五二

——ドイツに於ける經濟恐慌について——

七 サヴェート聯邦における七時間労働日の成果……………一七〇

——労働の生産性の増大——傷害の減少——

七時間労働日の施行による工業の活動

七時間労働日の施行による傷害の減少

七時間労働日の施行による文化政治的活動

八 サヴェート聯邦における失業の絶滅……………一八二

九 植民地諸國と半植民地諸國におけるプロレタリアートの状態……………一九五

——プロフィンタン第五回大會の代議員の描寫によつて觀たる——

第四輯 目次

一 ベルリンの金屬労働者罷業——プロフインタン
 第五回大會の戦術に照して見たる——……………一

この闘争の政治的意義……………三
 準備期における二三の戦術上の誤謬と缺陷……………三
 ストライキ中における缺陷と弱點……………五
 ベルリンの金屬労働者の××的同盟の創立……………八
 闘争の中絶と××労働組合反對派の戦術……………一三
 ××労働組合反對派の當面の任務……………一五

二 労働者階級に對する攻勢の道具としての『労働黨』——政府……………一六

三 『失業は不可避的であるか？』……………一九

一……………四一
 二……………四一
 三……………四一
 四……………四五

三……………五〇

四 恐慌——百五十萬人が日本で失業してゐる……………五五

經濟 狀況……………五五
 失業者數はどれ位あるか？……………六〇
 失業者の生活狀況……………六六
 どうすればよいか？……………七〇
 泰山鳴動鼠一匹——政友會の戦術……………七三
 労働者階級の行動……………七五

五 ハンガリーの狀態……………七六

六 サヴェート聯邦と資本主義諸國とに於ける社會保險……………八六

第一部 サヴェート聯邦における社會保險……………九六
 プロレタリアートの××の下に……………九八
 組織化體制……………九九
 適用範圍……………一〇一
 財政組織……………一〇一

業務の範圍と程度	104
疾病保險	105
失業者保險	106
母性保險	108
埋葬科	110
癱疾者年金	110
養老年金	110
勞働の勇士のための年金	111
諸恩給	113
遺族年金	114
療養所と療養地	115
第二部 合衆國	118
傷害保險法	118
任意傷害保險	118
養老保險	120
私營保險會社	122

改良主義的勞働組合に於ける保險施設	123
經濟恐慌と失業	125
選舉カンパニアに於ける失業	129
第三部 デンマーク	134
職業紹介と失業保險	134
疾病保險	143
養老保險と癱疾保險	144
傷害保險	144
恐慌と失業	144
改悪は主としてどの點に存在するか?	146
七 興味あるストライキ表	151
八 一九三〇年度『社會經濟評論』總索引	155

社會經濟評論 第壹輯

資本主義的合理化の諸矛盾

(一九三〇年一月)

近代資本主義の最も主要なそして特徴的な諸形相の一は資本主義的合理化の嵐の如き發展である。それは外延的にも内包的にも成長し、絶えず新たな産業部門と新たな國土とを捉へ、生産關係の全關係を變形せしめ、そして労働條件に對する直接の、恐るべき攻撃と不可分に結びつけられてゐる。合理化はもはや、二三年前の如く、アメリカ及びドイツの産業の特殊の性質ではない。それは又フランス資本主義の主要なスローガンとなつた。この合言葉はイギリスにも採用された。二三のイギリスの同志がイギリスにおける合理化の可能性について(どちらかといへば極めて抽象的に)行つた論争は、生活から生れたものとして徹底的に考察されねばならない。あれ程明白に没落に瀕したイギリス資本主義は、その今も尙ほ恐るべき力の總てを痙攣的に緊張せしめ、よし無益ではあつても合理化そのものによつて、その迷ひ込んだ袋街からの出口を見出さうと努力した。労働黨政府は第一に合理化政府であり、第二にイギリス資本主義がその助けによつて、合理化への道の困難な第一歩を最も苦痛少く最も圓滑に進まうと欲してゐるところの道具である。合理化は、今日、多くの小さなヨーロッパ

二
六諸國（チェッコスロヴァキア、オーストリア、イタリア等）にも、又カナダ、南アフリカ、オーストラリア、日本の如く若い産業を有する地方の全部にも擴がつてゐる。個々に進出した合理化の例ならば、インドの産業中心地にも、支那の一部にも、又アフリカにさへも見られる。

合理化は、近代資本主義の全性質に適應して、疑ひもなく國際的現象となるであらう。それは資本主義の國際的危機の映像であり、又外國市場と勢力範圍とをめぐる激烈な鬭争において少くとも當分の間勝利者として立ち現はれようと努力してゐる資本主義各國のブルジョアジーの手段である。各國のブルジョアジーのかゝる試みの結果、資本が企てるところの労働者階級の人間らしい生活に對する國際的十字軍は新たに尖鋭化し、市場をめぐる鬭争を、外敵の恐るべき脅威といふ口實の下に、自國の労働者の生活水準を猛烈に引下げ最大に搾取するための國際的競争に變じようとする努力が生ずる。資本主義的合理化は、全生産部門における深刻な技術的變革の途上においても、労働強度の最大限の引上によつて、労働者の生活水準の引下と搾取の直接的増大とを同時に齎らす。

労働者階級にとつて有利な『良い』技術的進歩と、『悪い』合理化、即ち『惡意の』搾取と『苦汗制度』とを人為的に區別しようとする總ての試みは、完全に見込がなく、且つ現實と矛盾する。合理化の各種の方面、即ち機械を以て労働者に置き換へること、人間の労働強度を増大すること

は、資本主義的經濟秩序においては互に不可分に結びつけられて居り、互に引離すことは出来ない。近

代の資本主義的經濟秩序の下における技術的發展は、不可避的に労働力の搾取の増大に導く。これは二つに分解し得ざる不可分の辯證法的過程である。合理化は、その形態と種類の如何にかゝらず、技術的なものであらうと、組織的なものであらうと、最新の科學的進歩を應用したものであらうと、公然たる苦汗制度のものであらうと、そのいづれたるを問はず、資本主義の下では常に労働者階級の負擔となる。即ち労働者階級の可なり部分が失業者と貧窮者の列に突き落されるために労働の不拂部分が擴大し、尙ほまだ生産の中に止つてゐる多くの労働者も社會的に墮落し、疲弊し、抑壓されるからである。合理化の最も重要な目的とその避くべからざる結果は、一生産單位當り最小限の労働者數を以て最大限の生産性を達成することであり、さらに重要なことは最小限の賃銀額を以て最大限の生産性を達成することである。

近代的合理化において眞に新しいものは何かといふ質問が起り得る。總てこれらの現象及び傾向は固より資本主義的發展に常に伴つて來たものである。既にマルクスはそれを徹底的に分析してゐる。吾々の見解によれば、新しき合理化は、一方において、二三の國特にドイツにおいて總てのかゝる矛盾に充ちた傾向の發展速度を異常に促進したこと、即ち誠に長い斷絶の後にその活動を新たに始めたことであり、他方において、何等かの規模で總ての重要産業國及び總ての重要産業部門を把握して非常に擴大したことである。新しき合理化は、ブルジョアジーの全經濟政策の基礎となり、有力なトラ

スト、集中された企業家聯合、全國家機關の援助によつて遂行された、合理化によつて行はれる労働者階級に對する攻撃の、當時は存在してゐなかつた目的意識性と計畫性である。そして最後に重要なのは、この量的變化が質的變化に轉化したことであり、近代的合理化が行はれる經濟的状態、即ち全體としての資本主義的經濟秩序の深刻な危機であり、到るところに存在する擴大された生産機關と廣汎な大衆の絶えず減少する購買力との不均衡である。

かゝる事情の下においては、個々の國、個々の産業部門、個々の企業にとつて袋街からの重要な出口であるところの合理化は、その擴大と共に益々危機を増大し、資本主義を更にもつと出口のない袋街に追ひ込むところの一要因となる。かゝる經濟的状態においては、週期的に一時的な失業は資本主義的社會關係の維持によつては絶対に出口を見出し得ないところの永久的失業に轉化する。巨大な失業軍は既にもはや豫備軍ではなく多かれ少かれ餘分の、没落の運命にある労働者軍である。労働の生産性が増加したために、また市場の縮小の結果生産擴張が不可能になつたために、重要な産業國の労働者数は、相對的のみならず絶對的にも減少し始める。

多くの者は近代資本主義的合理化のこの辯證法を十分明確に述べてゐない。それは不可避免的に二種類の理論的及び戰術的誤謬に導く。

一面、多くの者が犯した様に、現代における技術的變革を否認し、その規模とその意義とを、近代

資本主義經濟に及ぼすその影響を、その状態を、その闘争能力を蔑視することは無効であり且つ不合理である。吾々は、『それは事實の方が悪い』といふ文句に引き廻されないので、この事實をマルクス主義的方法に従つて分析しなければならない。吾々は近代的技術的變革の影響を最も注意深く研究しなければならぬ。革命的労働者運動の戰術の決定に當つては、それを無條件に考慮しなければならない。何となれば、それは極めて屢々工場内の經濟闘争の全状態及び全體としての労働者階級の闘争關係に深刻な變化を呼起すから。多くの資本との衝突に際して屢々労働者團體の戰術は、今も尚ほ、今日と比べれば手工業的とも見える産業發展の初期の時代の慣習と傳統とから出發してゐる。それは、近代的な資本集中の諸關係、『機械化した工場』の諸關係、大量生産によつて最高度に専門化した工場

の諸關係、流動作業の特質、經驗あるプロレタリア大衆の労働の新しい型には全然適應しない。かゝる關係においては又、革命的組合の設立が大きな意義を持つが、二三の國においては組合は今も尚ほ主として手工業者型の經驗ある労働者から成つてゐる。多數の組織が今も尚ほ經驗ある及び經驗なき労働者の主要大衆を包含する手段と方法とを見出してゐない。かれらは、レーニンが、今日の時代においては何處に活動の重心を置くべきかを繰返し、高調したこと、かれが、労働者階級の貴族の上層から眞の大衆へ、未経験で未組織でしかも最もひどく搾取される労働者及び労働婦人の層へ下らねばならぬと繰返し、警告したことを忘れてゐる。

だが近代の技術的變革の不十分な考察、心理的保守主義、吾々を圍繞する現實の諸事實を觀察し正しく判斷する能力なきことが革命的勞働者運動の發展にとつて有害であり且つ妨礙であるとしても、近代の技術的成果の『經濟的驚異』の影響と眩惑とに屈服しようとする二三の同志の傾向は更に一層有害であり且つ危険である。これらの同志は、同じく、だが他の方面から、發展の辯證法を見ず、この技術的變革が近代資本主義の下において創り出し、又未曾有の規模にまで高めたところの深刻な、尖鋭な矛盾を認めない。二三の同志にあつては、近代の技術的發展の結果に對するこの無批判的態度は、この變革の意義を、資本主義的躍進の新たな時代、即ち『繁榮』の時代、不評判な世界資本主義の『組織化』の過程の開始であるとすところの眞實に改良主義的な見解にまで導いた。

然るにこの變革のマルクス主義的分析は不可避免的にこれと正反對の結論に導く。近代の技術的變革の影響の分析が吾々に示すところのもの以上に、第三期に關する一般的判斷、即ち資本主義崩壞期の總てのレーニン的特徴づけを適確に認めさせるものは考へ難い。

就中、この變革は何れも直接に新帝國主義戰爭の準備に役立つ。吾々は既に吾々の雜誌の中で、軍事的生産と平和的生産との間の極度に複雑な關係、生産装置の驚くべき組合せと轉換の可能性及び一見完全に無害らしく見える半製品、器具、機械の軍事的利用に關する例證を擧げて置いた。新しい生産方法その他に關する多くの發明は、特に化學工業において、實驗室で既に試験済みではあるが、平和

時代にはその應用は餘り有利ではない。にも拘はらず、それは一舉にして非常な擴張と利用とをなし得るであらうところの戰爭の場合のために、非常に熱心に養成される。加之、資本主義的合理化の發展は、新帝國主義戰爭の機會を甚しく増大する。合理化は生産機關及び産業の生産能力を増大するが同時に國內市場の受容力を狭め、生産における賃銀の相對的部分並に廣汎な勤勞大衆の絕對的生活水準を低下する。それは益々國際的性質を得る様になるから、この矛盾も亦同時に國際的規模となり、外國市場へのダンピングもそれを解決又は緩和することは出来ない。これと關聯して、近代資本主義の最も重要な矛盾の一つ、即ち生産装置と購買力ある需要の間の一般的な且つ絶えず増大しつゝある不均衡が未曾有の尖鋭さと緊張とを示す。唯一の『出口』は、よし當座のものにすぎないにもせよ、指導的な資本團には戰爭の形でしか示されない、しかも、小さな短期の戰爭ではなくて、根本的な、擴大された、そして永續的な戰爭のみが。

資本主義的合理化の不可避の結果は、階級對立の高度の増大と階級闘争の尖鋭化とである。近代資本主義の諸關係の下における合理化の結果は、廣汎な勞働者大衆の状態が不可避免的に悪化し、その生活水準が相對的にも絶對的にも低下することである。

就業勞働者の平均賃銀に關する官廳統計、稅率及び生活費の官廳指數を根據にしてこれと逆のことを證明しようとする試圖は、何れも空虚な詭辯であり、何の役にも立たぬ統計的遊戯である。正常賃

八
銀に關する信賴すべき報告は、大多數の場合、労働者階級の中の經驗ある上層分子だけを包含してゐるにすぎない。生活費の指數は労働者が實際に必要な多くの物を除いた家計を基礎としてゐる。その他の必要品は少量だけが數へられて居り、個々の支出の重要さの間の比例は眞實ではない。その結果は、現在の水準だけでなく、實質賃銀の發展も歪曲されるといふことになる。例へばフランスにおいては、官廳の生計費指數に基づいて計算された實質賃銀は一九二八年に戦前の賃銀の一〇一パーセントであつたが、統一労働組合、パリ―地區評議會によつて計算された生活費指數に従へば、戦前の賃銀の七〇パーセントになる。官廳の數字が手品を行つてゐるために起る缺點を無視しても、労働強度の甚しい増大を考慮しないで就業労働者の賃銀について語ることは不合理である。近代的に合理化された工場の作業、特に流動作業、鑛山の壓搾空氣機械の使用、金屬加工、その他における恐るべき神經の緊張は營養状態の變化を來し、労働者の家計を可なり高價なものにする。その上に、狂氣の様な作業速度は労働能力の存続期間を短縮し、數年の間に労働者の總ての力を文字通り消耗してしまふ。近代的なアメリカの産業においては三十五乃至四十歳の労働者は、絶望的な失業者の列に突落されるところの『老人』なのである。又傷害及び疾病度數の急速な増大を無視することも不合理である。労働者に及ぼす直接の結果は別としても、この度數の増大は、社會保險の不十分な國又は合衆國における如くかゝる社會保險の全然存在しない國においては、事實上の賃銀切下となる。最後に、就業労働

者の状態にも不可避的に影響するところの失業を考慮に入れずに労働者階級の状态について語ることは全然許されないことである。無慈悲に、そして不斷に生産から投げ出される労働者階級の一部分のことは別としても、短時間労働及び一時的失業は、若干の職業における廣汎な大衆及びプロレタリアートの壓倒的多數に對して反作用を及ぼす。スチュアート・チエース (Stewart Chase) がその著『人間と機械』において書いてゐる様に、労働機會と労働機會との間の時間と間隔とは益々大きくなる、『大量生産の急激な速度が、労働者を、新しい労働機會の作られるよりも早く追ひのけるといふ事實が、生産に残つてゐる労働者をしてより激しくより長く労働せざるを得なくする。労働も休養も、一般に生活の悲劇としてしか知らない人間の數が増加する。近代的機械は、失業を呼起したのではなく、それを單なる小さな不快から人間の最大の災禍に轉化したのである。』
數百萬人の短時間労働と一時的失業とも拘はらず、最近における全資本主義國の労働時間は不斷の増加への傾向を示してゐる。

だから、資本主義的合理化の影響こそが、一の資本主義國から他の資本主義國へと流れ込むところの高まり行くストライキの浪の最も重要な原因であるといふことに些かの不思議もない。ドイツ及びフランスにおける、合衆國南部及びインドにおける最近のストライキは、何よりもまづ、労働者大衆が資本主義的合理化に向けたところの反抗の表現である。このストライキの浪は益々高まつて行く、

政府とファシスト團體の迫害にも拘はらず、又資本主義的合理化の支持を公然自己の最も重要な任務としてゐる改良主義者どもの反對にも拘はらず、産業平和、經濟民主々義及び『組織された資本主義』のその他の恩恵についてのお喋りから生ずる如何なる『烟の帳り』も、もつと正しく言へば、如何なる『人爲的な霧』も、資本主義的合理化による階級對立の尖鋭化とこの地盤の上に進展する階級闘争とを防止し又は緩和することは出来ない。最近における技術的變革の影響こそが、資本主義的合理化の矛盾の高まり行く増大こそが、現在襲來してゐる經濟的世界恐慌の根源であり、その最初の徴候が合衆國の取引所恐慌及び世界經濟への反作用である。この問題は、この雜誌の次號以下で尙ほ取扱ひ度いと思ふ。

世界經濟恐慌と労働者運動の任務 (一)

(一九三〇年二月)

(一九二九年十二月十九日、R、G、I第四回中央
委員會に於けるルービンシュタインの演説より)

一九二九年下半期において世界經濟は沈滞への疑ひなき急轉を示したが、この急轉は尙ニューヨークの取引所恐慌の以前であり、それとは無關係であつた。不景氣へと向ふ景氣變動は、今日既に異常に擴大されてゐて、經濟の型、産業の發展水準等に從つて全然異なつてはゐるが、世界到るところの總ての國々を捉へてゐる。合衆國とドイツ、ポーランドとインドネシア、バルカンとベルギー領コンゴ——それは總て、相異なる程度と相異なる形態とにおいてあるにしても、安定時代と資本主義的合理化との不可避的な結果として見なければならぬところのこの深刻な變動を示してゐる。

既に一九二八年と一九二九年初期とは、世界經濟の不均衡な資本主義的發展と分裂と混沌状態との結果であつたところの極度に混亂した景氣によつて特徴付けられてゐた。資本集中の巨大な發展、國際的トラスト及びカルテルの形成は、この混亂状態、市場の追求、相異なる經濟部門の闘争の不均衡を弱めるどころか、益々強め、これによつて組織された資本主義といふお喋りは直觀的に否定された

ものとなつた。

然し、近代資本主義の多くの重要な國々においては、昨年を相對的躍進の段階として記さねばならぬ。重要な國々（イギリスを除いて）及び資本主義世界全體の工業的生産と外國貿易とは、戦前の水準を突破し、急速な速度で資本主義的合理化の發展を續行した。

それだけで既に、『輿論の生産』と大衆のイデオロギー加工のための巨大な機關、即ち總ての資本主義的及び改良主義的出版物、科學、政府及び労働組合、教會及びラヂオを大騒ぎさせるに充分であつた。マルクス主義は——とかれらは前に幾度も言つた通りに言つた——この頃克服され、資本主義は全世界において發展し、安定と繁榮とは永久に保證されてゐると。改良主義者は他のたれよりも大聲に叫んだ。かれらは歡喜のために文字通りに息を切らして、資本主義的安定の成果、資本主義の集中、組織能力及び技術的躍進を讚美した、そして今も尙ほその情勢で讚美しつゞけてゐる。

さて一九二九年末の世界經濟の景氣は全く一時的な諸形相の中において如何なる様相を示したか？ 合衆國では、生産装置の發展は、生産額から云へば、資本主義世界の半分に達したことを示してゐる。そして近代資本主義のこの『模範的な』國において『繁榮』の石鹼玉がはじけたのだ。取引所に地震が起つた、假構の資本と假構の繁榮と、だが假構ならぬ利潤と正しく假構ならぬ搾取とのこの特別の世界に眞實の地震が起つた。三週間の間に、『假構の』價值紙片は六百億ドル乃至七百億ドル烟り

となつた。スチュアート・チエースが適切に名づけたところのこの『錯誤の家の經濟』は全世界の前に赤裸で立つた。取引所恐慌が、既に數年來、成熟してゐたこの國の經濟におけるはるかに深刻な變動、急轉の單なる兆候にすぎなかつたといふことは何人にも明らかである。取引所投機の魔天樓は疑ひもなく一の上層建築であり、取引所上層建築のこの未曾有の震動だけでも基礎に反動を及ぼすであらうし、それは根本的な經濟的矛盾を尖鋭化し、その結果を促進する。そこに設置されてゐる政府の代理人があらゆる慰撫的な保證をするにも拘はらず、『組織された資本主義』の間隙を補填するために總ての『緊急處分』が爲されたにも拘はらず、産業の沈滞は止め難く進展してゐる。十一月には總ての經濟指數の尖鋭な後退（自動車は生産能力の約六五パーセント、鋼鐵は六〇パーセント）が齎らされ、（十一月には）多くの企業が閉鎖されて失業は嵐の如く増大した、合衆國における取引所恐慌と發展しつゝある經濟恐慌とは、近代資本主義及び改良主義の最大の幻想の一系列にとつて、即ち『組織された資本主義』及び『永久繁榮』、合衆國聯邦準備制度の巨大な能力、小株式による、又労働者銀行による『資本の民主化』の幻想等に關するお喋りにとつて、等しく破滅的な打撃である。

アメリカ金融資本は、幾千の糸を以て世界資本主義全體と結ばれてゐる。その震動は必然に、地球の最遠隔の隅までその影響を及ぼしてゐる。合衆國の産業恐慌は、だが、今發展し始めたばかりだ。では、アメリカ恐慌の結果が他の諸國で發現し始めてゐるその背景、その基礎は如何なる種類のもの

であるか？

合衆國における急轉は言ふまでもなくカナダにおいて必然にその影響を示した。カナダが多くの關係から合衆國の經濟領域の延長であると思ふなければならぬならば、殊にそうである。取引所恐慌以外に、カナダにとつては尙ほ非常な不作の結果が加はる。十月及び十一月には多くの企業において生産制限が開始された。失業は止め難く増大し、同時にこの失業の浪は、カナダにおいても亦、最近において疑ひもなき構成的な「工藝技術的な」失業であることを示してゐる。

農業の機械化、中にもコンバイン機の普及は、收穫期における労働者に對する農業の巨大な要求を侵蝕し、一般に土地の労働力に對する需要を減少せしめ、又イギリス移民の總ての計畫を崩壊せしめた。胡魔化しの約束で誘惑されて來たイギリスの失業者は、西部の農場における労働に轉ずるが、それはせいゝ二三週間しか續かないもので、鐵道無賃乗客として、又は徒歩で、郷里に歸ることが出来るかも知れぬといふ希望を抱いて再び東部へ向ふのである。その中にモントリオール、トロント及びケベックの宿泊所はかれらで充滿する。かくして最後の移民安息所も用をなさなくなる。

南アメリカにおいては、珈琲恐慌としてのブラジルの尖鋭な沈滞を擧げねばならぬ。同様に、尙ほ非常に若い纖維工業において、同時的な過剰生産の結果の價格低落が見られる。

アルゼンチンにおいては、強度の不作に拘はらず、農産物價格は世界市場相場にまで低落したため

に、農民の大衆的貧窮化と内國市場（特に農業機械に對する需要）の縮少とを呼起した。

不景氣はコロンビア、ボリヴィア、エクアドル及びヴェネズエラをも捉へた。たゞチリーにおいてだけは經濟狀態は現在尙ほ可なりよい。

キューバにおいては砂糖價格の低落が一般的恐慌を惹起した。

メキシコにおいては、石油工業及び鑛業が生産を縮少し、失業が急激に増大し、政府の公式資料によれば五十万人以上に達した。減少した需要はその影響を纖維工業に及ぼした。鐵道では合理化の口實の下に大量解雇が行はれてゐる。

ヨーロッパの經濟狀態は、ベルリン景氣研究所の地圖によつて適切に特徴を示されてゐる。それによれば、二三の白點があるだけで、他は一面黒色である。

イギリスにおいては、近年の漫性的不景氣が確乎として動かない。少しばかりの景氣の動搖、季節的に現はれる何れかの産業部門における些少な改善が多く希望を呼び覺まし、不景氣は終りに近づいてゐるといふ確信ありげな聲明を呼起す。この聲明によつて、人はむしろたゞ自分だけが勇氣を得たいと思ふのである。希望は、眞にそれが花盛りとなる前に色あせる。一九二九年の第二四半期には産業の些少の躍動もなかつた。第三四半期には生産と輸出とが新たに減退した。纖維工業、金屬工業及び重要なことには、石炭工業は依然として困難な状態にある。

かゝる事情の下において労働黨政府は、一面においては、『喧嘩好きの若者』を金融資本の犠牲に供し、他面においては、資本主義的合理化を最小の摩擦で遂行するための道具として奉仕してゐる。この合理化は決して市場の再建を齎らさず、反対により以上の失業の尖鋭化を生むであらう。それよりも尙ほ特徴があり、且つ重要なのはドイツにおける状態である。

さまで遠くない以前に、ドイツの總てのブルジョアの及び改良主義的出版物は勝利の進軍に調子を合はしてゐた。百億マルク以上のアメリカ資本を食ひ盡して再建されたドイツは、技術と合理化の奇蹟によつて、堅實なそして穩やかな外交政策によつて、幸福な、國內の『總ての階級の協調』によつて、——社會民主主義者の保證した様に——穩やかに、平和に、知らぬ間に『社會主義へ成長した』と。

景氣研究所の概観は、既に一九二九年第三四半期に對して無味乾燥にして露骨に、次の様に述べた、『最近數ヶ月に急激な景氣の下降があつた。この下降はドイツの國民經濟においては一九二七年の末に始まつた。』

研究所は、生産の制限を不可避にしたところの、増大し集積し行く諸原因を詳細に示すことによつて、その年の半ばまでこの下降の傾向は三つの要因によつて幾らか抑止されてゐたことを説明した、即ち、1、夏季の一次的活躍によつて、2、外國市場における二三の結果によつて、及び、3、住宅

建築によつて。だがその年の半ば以後状態は變つた、即ち、『一時的な夏の季節は過ぎ去り、外國市場における販賣可能性は今や制限され、住宅建設は資本の調達を期待することが無條件に困難であつた。全線に亘つて下降が始まつた。生産の制限、價格の下落、取引の減少、株式相場場の下落、失業の増大。それは景氣の沈滞が始まる兆候である。』

この不景氣現象の根本的研究を基礎として研究所は主張する、『經濟的活躍は今日まで、國家の經濟的構造から生ずる能力と少しも比例してゐない。……この状態は、これまで重要な産業部門の最大の支柱であつた世界市場の消化能力が弱くなつたといふ事情によつて尖鋭化されるであらう。輸出に對するアメリカの増大し行く壓迫と總てのヨーロッパ諸國に同時に増大する輸出の必要とは、國際的競争の尖鋭化を齎らすであらう。』

最後に、農業の購買力が下降的傾向を示してゐる。研究所は更に、失業が季節に従つて豫期されて居るよりもつと急速に増大するであらうと述べ、そして一月及び二月においては失業者數は二百萬人に達するであらう、しかもそれは景氣の悪化することを考慮せずであると説明してゐる。失業は労働者階級全體にとつて賃銀の引下となり、七月から十月までに勞賃が二パーセント低下してゐることを注意しなければならぬ。(賃銀率に關する統計資料を見よ。)益々多くの人口數が失業者扶助を受けて行くことは、所謂『彈力的な』消費物品に對する需要を非常に強く減少せしめる。

十二月六日の『ヴェルトシヤフツ、デイーンスト』誌の概観は、『十月及び十一月の經濟狀態は更に悪化した』と述べてゐる。石炭市場における一時的季節活氣はこの年には現はれなかつた。ルール地方においては販賣高の減少を注目しなければならない。金屬工業においては狀態は不利で、屢々生産制限が行はれ、個々の企業では屢々労働者の解雇があつた。機械製造業者組合は、通例十月には改善されるのであるにも拘はらず、更に以上の國內販賣高の減少が輸出におけると同じく起つて來たと説明してゐる。自動車工業は生産を制限した。銅、建築材料及びセメントの生産も同様に減少した。強度の増大を示したのは、失業、しかも季節的な失業及び一般的な景氣から生じた失業であつて、既に二百萬以上の失業者を包含してゐる。それは急激な需要の減少となる、殊にドイツにおいては人口の七〇パーセントが勤勞者として賃銀及び給料に直接依存してゐるのであるから、尙ほそうである。

ブルジョア統計學者及び經濟學者達は、仕方なく諸事實をこの様に測定しなければならなかつたが、かゝる觀測に當面して、ドイツの改良主義者共は、近づきつゝある不景氣を隠蔽し、大衆に來るべき躍進に對する希望を持たさんがために、熱病的な、時には實に滑稽な努力を拂つてゐる。景氣研究所に對する『フオールヴェルツ』誌の論戰は、ブルジョアジーの從僕どもがその主人の利益の防衛においても矢張り主人を凌がんとするこの努力の適切な一例である。

同時に改良主義者共は、俄か作りの無邪氣さで企業家どもに勸告しようとする、——労働者の狀態を悪化さしてはいけない、そんな近視眼的な政策は資本主義の根城を脅威することになるから、と。それは、投機師に、取引所での賭博を止めると勸告し、狼に羊を襲ふたと勸告すると同じ意義しか持たない。

もし人が取引所における持續的な停滯、ニューヨーク取引所の恐慌以前の株式相場の低落、破産の總數、殊に多くの大會社の破産の急速な増大、最近においては『信用恐慌』に關する無駄話し等を注目してゐるならば——一般的沈滞の増大と急激な尖鋭化とは非常に理解し易いものとなるだらう。重工業の高い生産數は割當のための鬭争によつて甚しく制限されてゐた。十一月には急轉化の兆候が認められた。十二月にはウエストファールの金屬工業と機械製造業とにおいて大量解雇と大量の工場運轉休止とが始まつた。

一般に、大投資と大規模の改造とは既に一九二八年の初めに終了したと確認することが出来る。不景氣の進展は、一時、輸出増加の結果によつて、合理化から生ずるダンピングによつて、緩和されてゐた。然し年ら一九二九年の末には、國內市場の狹隘化と外國市場における増大し行く困難によつて、全合理化期間内に成熟した矛盾が明白に現象となつて現はれた。

中央ヨーロッパの多くの隣接諸國の狀態もドイツの景氣と密接に關係してゐる。

オーストリアにおいては既に九月以來、公然たる景氣沈滞、即ち金屬工業及び纖維工業における生

産の減少、輸出（特にドイツへの）の減退及び最後に季節的に現はれる異常の規模における失業の増大が始まつてゐる。

二〇

チェコスロヴァキアにおいては生産は今のところ尙ほ比較的高い段階に止まつてゐるが、重要産業は著しく注文数の減少を示してゐる。合理化の強度の遂行と労働条件に対する強い壓迫とは、繊維工場における大量解雇と多くの小工場の閉鎖とを同時に齎らした。状態の悪化は硝子工業、製糖工業、化学工業及びその他多くの産業部門をも襲つた。クラドノ（Kladno）の金屬工場及びスコダ（Skoda）の工場においては労働者の夥しい解雇が行はれてゐる。労賃の引下は一般的現象となるであらう。ポーランドにおいては、第三四半期において既に景氣沈滞、即ち一般生産指數の低下が、殊に生産手段（鐵、鋼鐵、機械）を作る工場において現はれた。今日まで例外をなしてゐるのは石炭の利潤である。これは特に増進された輸出の結果である。最近の五分の一年において疑ひもなく不景氣は以上に強められた。失業は前年よりも可なり多く、十月以來急速に増加した。

恐慌はハンガリアにも襲來した。最近ハンガリアには經濟活動のより以上の縮少、農業恐慌の尖鋭化、同じく高められた失業の増大が齎らされた。バルカン諸國は完全に恐慌の兆候の中にある。一時的な例外として、ユーゴスラヴィアにおける經濟状態の或る程度の改善を擧げねばならない。

イタリアにおいては最近數ヶ月において景氣沈滞の明白な兆候の一序列、即ち重要工業における生産の減退とそれに比較してより大なる失業の増大とを見なければならぬ。既に九月に株式相場の急落が起つた。破産數は續々と増加する。企業家の中央組織の機關は、不可避的な恐慌について明瞭に述べてゐる。

スペインには持続的な不景氣がある。それは不斷の金融恐慌、低落し行くペセタ相場等の原因である。

今日までフランスの景氣に全然従つて來たベルギーにおいては、景氣の新たな急轉の兆候の多くを擧げねばならぬ、即ち、建築作業が縮少され、多くの工場が運轉を休止し、そして更に多くの工業部門が解雇を始めてゐる。

従つて一般的なヨーロッパの景氣沈滞の背後にあつて唯一の例外となるものは、現在スカンデナヴィア諸國とフランスとである。フランスの經濟の展望を判断するに當つては、（取引所恐慌前の合衆國の状態と同じく）次のマルクスの言葉を思ひ出さねばならない、「恐慌の直前には常に殆ど健全なるかの如き外見を呈する……突如として破局が襲つて來るまで企業は常に頗る健全であり、仕事は飛抜けて進歩する。」フランスにおいては多くの兆候が近づきつゝある急轉に符節を合してゐる。自動車工業及びルノールはその工場において労働者の大衆的減員を遂行した。今年の貿易差額が借越となつてゐる。

ることは大きな意味を持つてゐる。尤もフランス經濟の『例外状態』は可なりの程度において、フランスが貨幣相場の安定を遂行した最後の國家であるといふ事實、及びこのことから或る意味においては外國市場における輸出プレミアム利益をもつてゐたといふ事實から出たものではあるけれども。ヨーロッパの鋼鐵カルテルが、既に十月に生産を一〇パーセント方縮少するといふ決議を採用して置きながら、十一月には又新たに前月の實際生産の一〇パーセント方生産を減少しなければならなかつたことは注目に値する。多くの海外自治領及び植民地において増大し行く不景氣に關する資料は頗る注目すべきである。吾々は既にカナダの状態の悪化に就いて説明した。

オーストラリアにおいては經濟的沈滞が既にもう二年以上續いてゐる。外國からの投資の流入と高い羊毛價格とは以前には不景氣の尖鋭化を幾らか阻止してゐた。今年羊毛價格が三〇パーセント下落した。企業家は將來を極度に悲觀的に見て居て、數年間の恐慌に備へる準備をしてゐる。まだ國民政府が崩壊しない前、當時の總理大臣ブリス(Bruce)は一九二九年十月二十八日の議會において次の様に聲明した。『オーストラリアは過去において一時的な不景氣を経験した。しかし乍ら、吾が國の現在の状態は、更にもつと深刻な現象に復せんとして居り、豊作も繁榮状態を再び齎らすことは出來ないであらう。吾が國の主要生産品——羊毛及び小麥——の價格は下落してゐる。その他の原料産業の過剰生産品の販賣は損失となつたし、加工産業の状態は、不斷に増大する海外の競争の結果益々

困難となりつゝある。總てかゝる傾向が益々頻繁に襲來する結果は、全國における失業の増大となり、金融問題、貿易問題及び工業問題等總ての益々紛糾する複雑化と他の經濟部門に關係を持つてゐるところの問題とになつて現はれる。吾が國民經濟はよくない。』

労働黨政府の成立は、オーストラリアにおいてもイギリスにおいても、ブルジョアジーに或る程度の不安と、労働貴族の援助によつて労働者階級の益々著しい尖鋭化を共に遂行しようといふ努力とを呼起した。

鑛山労働者の益々、この『労働者パラダイス』における階級闘争が尖鋭化したことの適切な例である。

南アフリカにおいては疑ひもなく景氣の沈滞が侵入してゐる。商工省の報告は既に九月に不景氣の近づきつゝあることを言つて居り、しかも同時にその不景氣を急速に『均衡』せしめようとする若干の期待を現はしてゐる。羊毛價格の下落、ドイツへの玉蜀黍輸出の減少、イギリスへの果實輸出の減退更にダイヤモンドの賣行の減少を見込まねばならぬ。合衆國における取引所恐慌は、不景氣の襲來を促進するために共同に作用した。地方から歸つて來た行商人は、需要が非常に減退してゐるから、大急ぎで自分の地區をも一度旅行しなければならぬと主張してゐる。

總理大臣ヘルツォーク(Hertzog)は國民黨大會における演説の中で、借地に對して買入れを注意す

る様に勧告した。白人労働者の間における失業は異常に増加した。

二四

従つて總ての自治領が何等かの程度で重大な不景氣に捉へられてゐるわけである。これは、近代資本主義の諸矛盾が工業化の新たに行はれた諸國に完全な形で持ち込まれたことを示す適切な例である。

日本は本質的には一九二五年以來不景氣から抜け出してゐない。第三四半期に漸く認められる程の景氣の改善があつた後には、又新たに急轉が起つて、それは重工業及び機械製造業における不景氣へと擴がつて行つた。海運業の恐慌は更に繼續してゐる。

アメリカの取引所恐慌は、既に、日本の輸出の重要な部分を占める絹工業に影響を及ぼした。

支那においては反動將軍たちの不斷の戦争が既に滿二年も續いてゐる。總ての地方は餓えてゐる。アメリカの小父さんへの期待、大規模な鐵道設計畫等は石鹼玉の様にはじけ去つた。

東支鐵道における紛争は、急速な經濟的躍進を見せるものと期待されてゐた唯一の地域たる滿洲の全經濟を根底からゆり動した。

シンガポール及びイギリス領マレーは烈しい恐慌を経験した。

ゴム及び錫の價格の低落は、既に一九二八年において輸出を三億六千萬ドル減少させた。一九二九年には輸出の減退が益々續いた。それに適應して、農場へ向ふインドからの労働者の移入及び季節の

終了後も尙ほこの國に滞在するインド人の數も激しい變動を受けた。

これと同じ原因は又インドネシアにおいて烈しい不景氣を引き起したが、それは砂糖價値の低落によつて更に尖鋭化された。

フィリッピンにおける經濟狀態もこれよりよくはない。輸出生産品の價格の低落は、量が増大してゐるにも拘はらず輸出の現實價値を減少させた。人民の購買力は著しく低下した。その上に尙ほ猛威を逞しくする颱風の影響が如はる。

甚だ重要なのはベルギー領コンゴにおける不景氣現象で、それは最近眞に恐るべき量となつた。

巨大な信用、市場の受容能力を無視した取引の擴張及び『信用景氣』は販路を見出さない商品を倉庫に充満させた。植民地商品價格の引下は大量的破産を呼び起した。

農業に關する政府の政策と就業労働者の野獸的搾取とは饑餓と大衆的疾疢と土着人口の恐るべき減少とを惹起した。

更に注意すべきはエジプトにおける慢性的恐慌であつて、そこでは賣れない木綿が倉庫に充満してゐることが特徴的となるであらう。

要するに、上述の經濟恐慌は、二三の例外はあるが、總ての植民地世界を捉へてゐるのである。さて、もし吾々が他の見地から世界經濟狀態を見るならば、吾々は世界農業恐慌の尖鋭化、國際石炭恐

慌、世界市場におけるナフタの過剰生産、(需要の巨大な増加にも拘はらず)木綿工業における國際恐慌、國際砂糖恐慌、ゴムの過剰生産、鐵冶金業と自動車工業と機械製造業との恐慌の明白な兆候を見るであらう。

實際には、重要な例外として見るべきものは、たゞ電氣工業と化學工業とだけである。だがこゝに
おいても亦、例へば、百パーセント軍事産業と見るべき窒素工業において驚くべき過剰生産を擧げねばならない。

この世界經濟恐慌の増大は、それをサヴェート聯邦の經濟的發展に對照すると、特に尖銳に現はれる。西ヨーロッパの革命的労働者でさへ、五ヶ年計畫の遂行の第一年に、特にあの巨大な技術的及び經濟的變革の端緒において獲得せられた結果であり、サヴェート聯邦の農業に取入れられたところの量的及び質的變動——、また數百萬の農民經濟の徹底的集團化が如何にして二三年の中に遂行せらるべきか、數億の民衆が如何にして『農村生活の偶像崇拜』から解放されるか、及びかくして資本主義關係を完全に根絶するためには如何にして集團労働に導びかるべきか、といふ展望を十分なる現實性を以て樹立したところの量的及び質的變動を、十分明確に知つてはゐない。サヴェート聯邦の労働者は、レーニンの言葉を以てすれば、社會主義を夢想から、聖像から日常的現象としてしまつた。偉大なユートピアンが夢想したところのもの、マルクスとエンゲルスがその勞作において豫言し

根據づけたところのもの、一九一七年十月ロシアの労働者階級がそのために戦つたところのもの、内亂時代にあれ程の缺乏もそのためには耐え忍ばれたところのもの——總てそれは今、目の前においてしかも吾が世代の人の手によつて現實と化せられるであらう。

世界經濟恐慌と労働者運動の任務 (二)

(一九三〇年三月)

恐慌の諸原因

近づきつゝある世界經濟恐慌は、その本質から云つて、最近の技術的變化及び資本主義的合理化の『成果』の進行と共に生じたところの諸矛盾の總括的表現、『爆發』と見るべきものである。それは合理化に基づいて遂行された安定化の不可避的結果である。

恐慌の出發點をなすものは、増大し行く生産能力と購買力ある需要との間の諸矛盾の著しい堆積である。

この場合大きな意義を持つたのは労働賃銀の問題であつた。

一三年以來既にアメリカのブルジョア經濟學者の中の極めて有力な一學派(カーヴア、及びその他)は、『吾が經濟政策の根本問題は、絶えず増大し行く生産を制限するための有効な手段を創り出すことである』と主張して來た。それは、フ、イ、ヴ、ア、の創案にかゝる資本主義的『經濟計畫』が全く公然と言ひ現はしたところの任務である。

カーヴア、はその著書の中で次の様な考へ方をしてゐる、『企業家達が労働力、原料、信用等の相等的費用を以てその生産を無限に擴張し得る限り、過剰生産と持續的不景氣の到來は全く避け難い。それにも拘はらず、この過程を制限する人爲的手段を創り出すことは出來ないのだ。かゝる手段となり得るのは労働賃銀の著しい増大のみである。』

この點においてカーヴア、は、歪曲された形においてではあるが、疑ひもなく恐慌の最も重要な原因となつたところの本質的問題に本能的に觸れてゐる。

安定化と合理化と産業の發達とは、近年においては、合衆國及び多くの世界の資本主義諸國(フランスを除き)では、増大し行く失業者豫備軍の存在によつて遂行された。その豫備軍は、最高の景氣時代においてさへも全部は産業に吸収し盡されなかつた。毎年吾々は『工藝技術的失業』の殘餘の増大を確かめることが出來たが、それに尙ほ季節により、又景氣關係により定められる失業が加はつたのである。

多くの國々において生産の増大は、一般に産業に従事する労働者數の増大を伴はなかつたし、多くの場合労働者數の減退をさへ擧げねばならなかつた。産業の躍進は労働市場の活躍を少しも呼起さなかつた。

それは企業家に、上向段階においてさへ賃銀を同じ水準に保つことを得さしめ、多くの場合には、

同時に労働の生産性の巨大な増大が認められたにも拘はらず、賃銀切下をさへ斷行することを得さしめた。

同時に、増進せる労働強度とそれに伴ふ増進せる労働力回復費用とは自動的に實質賃銀の低下を齎らした。この低下は、如何なる統計的手品によつても、官廳資料の如何なる操作によつても否定されることは出来なかつた。

そこで、一面において生産は、賃銀額の増大によつて制肘されずに益々大量となることが出来たが、他面においてそれは國內市場の消化力の急激な減少を齎らした。

近年の技術的革新と資本主義的合理化の發展とは、疑ひもなく産業の生産能力を著しい程度に擴大した。それに關しては正確な總括的な數字の資料は存在しないけれども、一の産業部門においては三年間の合理化政策の後生産能力が二〇パーセント乃至三〇パーセント、時には五〇パーセント又はそれ以上上昇したといふことは既に確かめられてゐる。

他の所で（ルービンシュタイン「資本主義的合理化」を見よ）吾々が近年の技術的革新について展開した概観は、上の數字が過大評價されてゐるといふよりむしろ過小評價されてゐることを示してゐる。吾々はたゞ二三の事例を挙げようと思ふ。蒸氣技術の成果は、一九一九年におけると同じ石炭量で電氣エネルギーの二倍量の利潤を保證する。

鑄鑪の平均生産能力は近年の間に五〇パーセント増進した。近代的製鑪機械は、人と時間とで測つて、手工業の生産性に比較すれば四十一倍の生産性を持ち、以前の機械よりも數倍大きな生産性を持つてゐる。

この技術的革新は未曾有の労働強度の増大を伴つた。従つて合衆國の木綿工業においては一人の織布工が七二臺、時には百臺以上の自動織機を受持つことも稀れでなく、或る工場では一人の織布工が一時に百五十臺の織機について作業してゐる。

著しいのは建築技術及び機械製作における成果であるが、同時にこの領域における革新は恐慌の發展と直接の關係を持つてゐる。

吾々は現在、始めて組織方法に關しても作業の型に關しても『工場經營』の特質を得たところの建築作業の大いなる進歩を見てゐる。合衆國においては去年の冬二十五階の家が五十人の労働者によつて三十六労働日で建てられた。ポンティアック (Pontiac) の自動車工場（一日一千臺の生産能力を持つところの）は六ヶ月間に建築され、許可を受け、事業を開始した。これと同じ位の期間内に可なり多くの變電所が建てられる筈だが、その際、その多くは建築が終らない中に既に時代後れになるといふことは注意すべきことである。

周知の如く、マルクス主義理論は、景氣循環の周期及びその活動を、生産手段を生産する産業部門

の發展に依存するところの基礎資本の大量的更新によつて説明した。その時の循環の期間、即ち恐慌の連續期間は、市場擴張の條件と共に、使用される機械の平均壽命に依存する。

近代の建築技術及び機械製作技術はこの基礎資本の更新期間を著しく短縮した。それは一面において、不可避的に景氣循環期間を短縮し、恐慌の度數を頻繁ならしめ、他面において、基礎資本の永久的不使用を結果する。それは經濟的躍進の段階においてすら全部は消耗せず、たゞ或る程度の減小を見るだけである。

この二つの現象は、合衆國において、否定出来ない様に證明され得る。『アナリスト』誌は、その最近號において、アメリカにおいて現在三年の景氣循環が起つてゐることを經驗的に基礎づけた。

他面において、戦後の合衆國の殆ど總ての産業において、最良の景氣時代においてさへも生産機關が十分運轉されなかつたことを擧げねばならない。

マルクスはこの意味において『従つて市場の新たなる擴張は、工業によつて急速に追越され得る』と書いてゐる。こゝでは、マルクスが景氣循環期間の短縮とそれに伴ふ頻繁な恐慌の到來との不可避性を豫見し、高調したことを指摘せねばならない。ローロー(Lawlor)に與へた手紙(一八七五年)の中に彼はかう書いてゐる、『實際には一般的恐慌の周期數の減少が見られる。私は既にこの數を持續的でなくて減少し行く大きさとして觀察して來た。特に、だが、氣持のよいのは、その減少の明白な

兆候を示してゐる現象である。それはブルジョア社會の永久性にとつては悪い前兆である。』

短縮された景氣循環期間の外に、エンゲルスが繰返し々々指摘したところの恐慌の性質の大きな變化をも見なければならぬ。彼はかう書いてゐる、『フランス、ドイツ、特にアメリカの世界市場への參加の結果、イギリスの市場獨占が益々減退して行つた時以來、明確な新しい償却形式が發展し始めた。通常の恐慌に先行する一般的繁榮の時期は益々到來しない様になり、そしてそれが一般に到來しなくなる場合には、慢性的な不景氣が現在の産業の正常的状態となり、その中ではたゞ言ふに足りぬ動搖があるにすぎないであらう。』(エンゲルス『哲學の貧困』序文。(マルクスエンゲルス全集、第三卷、四七七―四七八頁))

他の所では彼はかう書いてゐる、『最近の大きな一般的恐慌以來、こゝには明白な變化が現はれた。周期的過程の尖鋭な形態がそれであり、それと共に今までの景氣循環は、慢性的な、緩慢な色々の産品を包含するところの、比較的短くて弱い好景氣時代と比較的長い不景氣時代との交替になつてしまふ。この要因は、古い型の恐慌の反覆に影響を及ぼし、更に大規模な將來の恐慌の萌芽をその中に藏してゐる。』

合衆國の近代的大量生産企業に著しい、そして恐慌の形態の中に現はれてゐる今一つの特質は、例へばアメリカの工場が、絶対に在庫品を作るために出來てゐないといふことである。フォード工場、

その他多くの工場は、一般に倉庫を持たない。それは、アメリカ風の表現を用ひると、『手から口へ』即ち直接消費者への販賣の一形態である。そしてその結果、需要の少い場合にも倉庫——それは貯水池となつて恐慌の發展を遅延せしめるであらう——に商品の堆積が無く、むしろ需要の少い場合には工場における労働が制限される事になる。それは大量生産の工場においては技術的に極めて容易に行はれる事ではあるが、直ちに費用價格の増加と、大量生産の利益の喪失と、失業の急速な増大と共に恐慌の激しい尖鋭化を伴ふ。

三四

恐慌の發展の性質を確定するために大きな意義を持つものは、金融市場、即ち取引所の状態、特に取引所投機の問題である。吾々にとつては、『取引所を經濟的基礎から解放すること』といふ主張は甚だ奇異に聞える。かゝる定式は誤つて居り、誤つた結論に導く。

取引所が常に益、生産から『解放される』といふのは正しい。然し經濟的基礎からの解放を云々する事は、取引所投機は、完全に健全で且つ繁榮してゐる國家の經濟的基礎とは何の關係もないと、『民衆』に斷言しようと努力してゐるフーヴァーとその一黨の説明の方針通りに動くことである。取引所投機は餘りやり過ぎて『はじけて』しまつたのだが、然しそれは幾分偶然的なものであり、資本主義的有機體の生活中樞を傷つけることなしに手術して取去る事の出来るたちのよい腫瘍である、といふのだ。

かかる性質を主張することは、いづれも意識的な虚構であるか、もしくは小ブルジョアのユートピアである。狂氣じみた投機は資本主義の現段階においては、唯に不可避であるばかりでなく、資本主義自體の本質とまでなつたのである。それは決して疎遠なものではなくて近代資本主義經濟の血縁であり、金融資本はそれを通じて全人民層に負擔を押しつける。取引所は、經濟の半自動的調節體から投機中心體となり投機なしには存在し得られない金融寡頭政治の中心點となつた。正しくもレーニンは述べた、『資本主義の發展は、商品生産が以前と同じく支配的であり全經濟の基礎と考へられてはゐるものゝ、根本的には、既に揺り動かされてゐる重要な利潤は金融事業の『天才たち』の手に落ちるといふ段階に既に到達した。この業務並に詐欺の基礎は、産業の聯合にあるが、この聯合を達成した巨大な人間の進歩を利用するものは投機師である。』(レーニン全集第十九卷、頁九〇)近代アメリカ經濟における投機師の役割は、アメリカ資本主義の寄生的變形と内的腐敗にとつて頗る特徴ある要因である。

現在の形態及び今日の程度においては、投機は、資本主義の『過熟』、その經濟的『過飽和』、生産的な資本投下の能力の急激な減退の表現である。資本輸出と取引所投機はこの點において共通の根據を持つてゐるが、多くの條件との關係で時には互に引離される。それ故に人は取引所投機に對して、レーニンが資本輸出に對して刻印した『資本の剩餘』といふ彼の概念を完全に適用し得る。レーニンは書いて

てゐる、『勿論、資本主義が農業を發展せしめ、目眩しい技術的發展にも拘はらず益々半饑餓的狀態に陥り行く人民大衆の生活を維持し得るならば、資本の剰餘といふことは問題にならない。だがその場合には固より資本主義は資本主義でなくなるだらう。何となれば、不均衡な發展と半饑餓的狀態における大衆の生活こそはその生産方法の不可避的な中心條件であり前提であるから。資本主義が資本主義として止まる限り、資本の剰餘はその國の大衆の生活の向上に向けられない、何となれば、それは資本家の利潤の減少となるだらうから。資本の剰餘は、後進諸國への資本輸出によつて、より以上の利潤の増大に向けられるであらう。』(全集第十三卷、頁二八四)

レ、ニンがこの文章を書いて以來、状態はたゞ、資本が移植される後進諸國において利潤の多い資本の施設の『活動範圍』が益々狭くなり、この『活動範圍』に對する野心家の數が益々多くなるといふ點だけが變化した。

或る意味においては、資本が大量的に、金融資本の鰐魚たる金融事業の『天才たち』による中小ブルジョアジの大量搾取を保證する取引所投機に流れ込むのは、一時的な賠償とも見られる。もし人がこの基礎、即ち近代資本主義の寄生的變質のこの本質的特徴を無視するならば、合衆國における取引所恐慌の役割及び世界經濟恐慌の發展の一般的性質を理解することは出来ないであらう。

この考察は又次の根據からも重要である。即ち、當時多くの資本主義諸國、特にドイツ及びイギリ

スにおいて、多くの資本主義的領域において、ニューヨークの取引所恐慌の結果ヨーロッパの状態は著しく改善されるであらうといふ確信が存在してゐた。ケインズは、かゝる展望を雑誌『エコノミスト』に發表し、最近には改良主義者共もそれについて述べてゐる。彼は云ふ、今や安い信用が與へられ、投資の流入が新たに始まり、『ドルの太陽』が新たにヨーロッパを照らしそして温ためるであらう、と。(『フォールヴェルツ』紙はドウズ案の施行についてかう書いてゐる。)この展望は空虚な幻想である。安い信用はなる程與へられるであらう、(よし新たな條件——株式の統制權の剝奪等の下においてであるにせよ)しかし人々はこの信用を以ては何も新しい事を始めることは出来ないであらう。

言ふまでもなく事態の發展は多くの政治的結果を伴ふであらう、何となれば、『總ての經濟的及び政治的狀態は、發火劑と俄かな炎上の機會とを以て充されてゐる(レ、ニン)のだから。』

今や既に多くの兆候が、『支配階級の危機』はまだ存在しないとしても、或る『罅隙』が不斷に益々大きくなつて行くことを物語つてゐる。合衆國におけるこの現象の最初の表現は、フーヴァーとその一黨の不安と、取引所恐慌の穴を填めようとする大規模の計畫と、ブルジョア新聞の狼狽とである。

ドイツにおいては、『上昇か、没落か』といふ題名の企業家の覺書と、シャハトの聲明とが勝れた印象を與へた。新聞編輯局は國立銀行總裁の長文の政治的な訓令書翰を受取つたが、この書翰については政府は一般に何も知らなかつた。

失業の浪（一）

（一九三〇年二月）

五〇

急激な速度を以て發展しつゝある世界經濟恐慌と、多くの國々における失業の巨大な増加とが同時に起つたことは、現在の失業の増大は經濟恐慌の結果であるといふ考へ方を呼起した。この考へ方はたゞ條件づきでのみ正しい。むしろ、労働市場が經濟恐慌に一月程先行してゐたといふことが問題である。たゞ二三の國においてだけ、既に昨年、取引所及び金融界の恐慌の先驅が本來の生産の領域にはいり込んでゐたにすぎない。この發展が既に幾らか古い材料になつてしまつた合衆國を除外すると、吾々は昨年の始めに始めて生産制限と工場閉鎖とを見るのである。それは、この一月の間に失業の數字を疑ひもなくより多く増大するに相違ないであらうが。

それにも拘はらず、恐慌がその影を労働市場に既に投げかけてゐたとすれば、それは、企業家が近づきつゝある不幸を阻止し又は少くとも遅延せしめようとした新たな合理化の浪、即ち豫防的合理化の結果である。かれらは輸出に期待を持つて國內市場を更に縮小するのであるから、勿論恐慌は實際には、やゝ後の時期に、それだけ大きな尖鋭さを以て爆發するに相違ないのである。多くの國々において吾々は新たな合理化の浪の眞中にゐるのであるが、それはこの度は主として組織的集中と労働作業の強度化といふ形態に現はされてゐる。

これまで吾々が見て來た様な恐慌克服の手段としてだけではなく、それを豫防する努力として、合理化は二つの恐慌の間における労働市場の活躍の時期を兩方面から幾分狭くした。多くの國々において労働市場には、既に前年の夏以來最も甚しい混亂が再び襲うて來てゐる一方、注文と生産と利潤とは昨年の暮以來著しく規則的な減退となつてゐる。（今年の始め以來恐慌は勿論もつと急速に尖鋭化した形態を取つた。）

『組織された』資本主義が、全世界に出現せざるを得なくした數百萬の失業者の數を推測で數へ、資本主義が強制的に數週間、數ヶ月、時には數年の間生産過程から追出し窮迫した饑餓的生活に陥れた者の數を數へるだけでも頗る困難である。合衆國だけで（この富裕な國は今日まで失業統計に對する關心も持たねばその方法も持たなかつたのだ）失業者數は殆ど五百萬と見積られてゐる。ドイツにおいては三百萬人以上が街頭に投出され、イギリスにおいては少くとも二百萬の失業者がある。

かくの如く、三つの最も進歩した産業國において、現在（一九三〇年二月）吾々は一千萬人以上の失業者を有してゐる。他の諸國の状態に關してはこの報告の第二部にもつと詳細に述べよう。何故なら、不正確な官廳統計が用をなさぬところ、労働組合の數字が状態を説明し得ないところにおいては、

吾々はたゞ、この資本主義的秩序の時代の世界のあらゆる都市において、『仕事とパンとを！』といふ要求を掲げてゐる餓ゑたる失業者の示威の騒しい聲を聞くだけだから。

第一部 ド イ ツ

ドイツにおいては合理化に向つて恐らく最大の努力がなされたに相違ない。集中による合理化の領域においては、七千人以上の使用人を鋪道に投出した二つのD銀行（ドイツ銀行及びデイスコント銀行）の合同が最も抽んでた地位にある。同じく、主として不利な企業を閉鎖して残つた生産所の生産を強度化した重工業及び鑛業における集中運動は、毎週數千人を労働から放逐した。

例へばルールの鑛山においては、多くの技術的革新が行はれてゐるが、それは完全に利用すると大約十万人以上の鑛山労働者が過剰になる筈である。『ドイツ鑛業新聞』は、機械を置換へることによつて人間労働力を廢除するために活潑な闘争を遂行し、例へば炭坑においては、支柱の高さ一〇〇メートル幅一メートル、採掘の深さ一メートル半の層を三時間乃至三時間半の中に従業員を三分の一程減らして採掘し運搬することを目標としてゐる。現在の従業員數に基づいて計算し直すと、それは約十三萬人の鑛山労働者の解雇を意味する。

労働力に對する需要を同時に減少するところの高められた労働の強度は、クレックネル・コンツエ

ルン (Klöckner-Konzern) の生産性と従業員に關する報告によつて説明されてゐる。一九二七年—一九二八年の月平均に對して、そこでは鑛鑛部の従業員が一二五八人、即ち約八パーセント減少した。だがそのために生産は少しも減退せず、却つて一パーセント増加した。クレックネル・コンツエルの鑛山においては、従業員が六五一人即ち約四・五パーセント減少したが、それに反して生産は三萬三千噸即ち約九パーセント増加した。

イー・ゲー塗料トラストは、全體で約十一萬二千人を數ふる従業員の中、七千人の労働者を短期間に解雇し、労働時間を一日一時間乃至二時間短縮して八時間とした。この處分によつて生産量は動かさず、イー・ゲーの指導部は、幾分當惑し乍らも、これらの労働者は既に早くから餘分になつてゐたゞ非生産的労働に従事してゐたにすぎない、といふ説明を與へた。

一九二九年に夫々三千一萬マルク及び三千八百萬マルクの總利潤を擧げ、夫々一四パーセント及び一〇パーセントを株主に配當した所のシ・メ・ス・ハ・ル・ス・ケ (Siemens & Halske) 及びシ・メ・ス・シ・ユツケルト (Siemens-Schuckert) の決算表から、一九二九年までに、賣上は一九二四年—一九二五年に比して約五〇パーセント増加したが、従業員は二二パーセント増加したにすぎないことを推測し得る。

吾々が結果の僅か二三の例を擧げたにすぎないところの合理化過程は、殆ど生産が減退せず、二三の産業においては増加さへしてゐるのに、既に六月の末以來、失業の強い増大を記さねばならぬとい

ふ結果を齎らした。有名な統計學者ヴ、オ、イ、チ、ンスキー (Wojinsky) は彼の論文『經濟的繁榮——労働の恐慌』において次の如く確言してゐる。『技術的進歩のために、今日では四—五パーセントの生産の増加は、新たな労働力の追加を少しも必要としない。より以上の技術的準備があれば、この發展速度においては、労働の生産性を一寸大にしさへすればいい。』ヴ、オ、イ、チ、ンスキーは、その先の叙述において、八月以來一九二八年に比して増加した失業が、新しく労働市場に現はれた求職者中の不採用者に書き加へられねばならぬかの如く述べてゐる。この説明を以て、意識的或は無意識的に彼は迷路には入り込んでゐる。一九二五年の人口數に基づけば、一九二九年中に労働可能者の數の増加は僅かに十五萬人(正常時においては三十五萬乃至四十萬であるのに對して)しか期待されないが、これに反して労働者數は遙かに著しく増加して居り、合理化は労働市場を絶對的に狭めた。景氣研究所は、例へば生産指數が六月の一二五・六から九月の一二五・一に下つたと斷言してゐる。それに反して就業率は六月の八八・八から十月の八六・四に低下した。

一九二七年以來の失業の發展に比較して吾々は次の表を示さう。

月	扶 助 者 數 (千人)			求 職 者 (千人)			非 扶 助 者 (千人)		
	扶 助 者	求 職 者	非 扶 助 者	扶 助 者	求 職 者	非 扶 助 者	扶 助 者	求 職 者	非 扶 助 者
一月	一九二七	一九二八	一九二九	一九二七	一九二八	一九二九	一九二七	一九二八	一九二九
	一、九六五	一、四七二	二、三九一	二、五五九	二、〇二二	三、〇〇〇	五七一	五〇一	七二二
二月	一、八八七	一、四五三	二、六三三	二、四四四	一、九三三	三、三三九	五四七	四八一	六〇七
三月	一、八四四	一、二〇七	二、〇九一	一、九一九	一、六七三	二、六七一	五七五	四六六	五八一
四月	一、一〇四	八九一	一、三九四	一、六四三	一、三八六	一、九五一	五三九	四八五	五五七
五月	八七四	七六一	一、〇一〇	一、三三六	一、二四八	一、六〇三	四八八	四八七	五九三
六月	七四八	七五五	九三〇	一、一九二	一、二〇七	一、四九四	四四四	四八二	五六四
七月	六三三	六四六	八六四	一、〇四一	一、一五四	一、四六六	四〇八	五〇八	六〇二
八月	五五九	六四四	八八三	九四五	一、一三三	一、四七六	三六六	五〇八	五九三
九月	四九一	六三三	九一〇	八六七	一、一五七	一、五二七	三七六	四九四	六二七
十月	四五六	七三三	一、〇六一	八八四	一、三〇八	一、七六〇	四八八	六四五	五九九
十一月	七五一	一、四四六	一、三八九	一、二五五	一、七三二	二、一〇〇	五〇四	三四六	七二三
十二月	一、三九九	一、八八九	一、九八九	一、九六六	二、五四九	二、九五六	五三七	七六	—

この表から次の事が出て来る。

- 1、失業の低位は益々初夏の月へ押しやられる。失業は一九二七年には十月まで減少したが、これに反して一九二八年及び一九二九年には既に七月に最下點に達した。
- 2、失業者數は以前における程多く減少しない。最下位は一九二七年(十月)に四五六、〇〇〇人の扶助者、一九二八年(七月)に六四六、〇〇〇人、一九二九年(七月)に六四三、〇〇〇人 扶助者であつた。

最下位を求職者の数にとつて比較すると、一九二七年(九月)に八六七、〇〇〇人、一九二八年(七月)一、二五四、〇〇〇人、一九二九年(七月)一、四六七、〇〇〇人である。

3、扶助されてゐる失業者の数は一九二八年に比して八月に二二九、〇〇〇人、九月に二四七、〇〇〇人、十月に二九八、〇〇〇人多く、十一月に二九、〇〇〇人少く、十二月に一三一、〇〇〇人多い。

4、求職者の数は、一九二八年よりも、八月に三一四、〇〇〇人、九月に三七〇、〇〇〇人、十月に四五二、〇〇〇人、十一月に三三八、〇〇〇人多い。

失業の一般的尖鋭化を別として、こゝには失業保険の改悪の影響が現はれてゐる、何故なら、

5、非扶助者の数は次の様に増加してゐる、即ち、一九二八年に比して、八月五九三、〇〇〇人(五〇八、〇〇〇人)、九月六一七、〇〇〇人(四九四、〇〇〇人)、十月五九九、〇〇〇人(六四五、〇〇〇人)、十一月七一三、〇〇〇人(三四六、〇〇〇人)である。

平均殺到数(一〇〇〇の労働口に對する求職者)は九月三五七、十月四二二、十一月六一五であつた。男及び女に分けるとそれは次の様になる。

一九二八年(十二月始め)
全職業群

男	五二九	女	三五三	平均
---	-----	---	-----	----

一九二九年(十二月始め)

全職業群	七〇五		四三六	六一五
土石採掘業	二、三五〇		一、九三八	二、三〇一
金屬加工	一、四四四		六九一	一、三三九
化學産業	一、四七三		七七四	一、〇八七
紡績産業	一、四三七		九二一	一、〇五二
鑛業	一、三二六		—	一、三二六
商業使用人	一、二九〇		六六七	九六一
各種技術者	二、一七五		—	二、〇二六

地方においては最高の殺到数は次の通りである。

シユレジア	男	一、二九二	女	八七〇	合計	一、一三八
ラインランド	男	一、一二〇	女	四二六		八五三
ヘツセン	男	一、〇八一	女	四八〇		八七一
バイエルン	男	一、〇七四	女	五一九		八四九
失業の浪(一)						五七

吾々は既に、扶助受領者の数が全求職者の数よりも少いことを示したが、それは扶助者が無収入者を犠牲としてゐることを現はしてゐる。労働組合員の間における失業も尙ほそれを確める。平均して總ての組合は、一九二八年十二月の一六・七、一九二九年十一月の一三・八に對する十二月末の二〇・三の無収入者の割合を持つてゐた。甚だ興味が多いのは季節群と景氣群との對照である。吾々はそこに、生産は尙ほ殆ど短縮されてゐないのに、景氣群が一九二九年の下半期中に、一九二八年よりも如何に高い比率を示したかを見るのである。季節群においては、鑛業がその全部門を以て大きな役割を演ずる。鑛業に所屬する職業は、昨年は甚だ異常な寒氣のために、労働市場の混亂に對して責任を負はされた。この度は寒氣のための混亂は問題にならない、だが、労働市場、特に季節的職業における混亂は、次の概観が示す通り、前年の規模を突破した。

		一九二八年			一九二九年		
		八月	九月	十月	十一月	十二月	一月
景氣群		六・五	六・四	六・五	七・三	九・五	八・〇
季節群		六・五	七・四	一〇・三	一八・五	四六・八	一〇・四
全組合		六・五	六・六	七・三	九・四	一六・七	九・〇
							九・六
							一一・〇
							一三・八
							二〇・三

『季節的』職業において、この冬は『季節』が少しも支配せず、總ての建築計畫と衝突するところの金融逼迫の結果たる上述の景氣失業が支配した。

同時に、建築工業における發展は、從來純粹の景氣産業であると見なされてゐた産業に、益々影響を及ぼす様になる。『ドイツ鑛業新聞』は、ラインランドの労働局の斷言を報導してゐるが、それによると、建築工業にこれ以上鋼鐵を利用することは、それを益々鋼鐵及び鐵産業の景氣決定の要因たらしめ、それと共に、又季節的動搖をも持込むのである。

婦人労働組合員の間において、失業が同じく盛んに増大してゐるのが見られるが、同時に労働組合員の間における婦人失業者の比率は、景氣群一般の中で、男子の失業者よりも高率である。

景氣群における失業者

		十月末	十一月末	十二月末
男子	子	八・九	九・九	一一・四
婦人	人	一〇・五	一一・二	一四・二

同時に短縮時間労働をなす者

		時間	時間	時間
男子	子	六・九	七・五	八・一
婦人	人	一一・八	一一・九	一四・七

失業の浪(一)

一労働週間に於ける
短縮労働時間

一一・八

一三・〇

一四・一

この場所で、近年における婦人の失業の傾向に關して一言附加しなければならぬ。一九二九年五月十五日の失業者状態の調査によると、一九二八年十月中旬における扶助を受ける婦人失業者の数は、一九二七年七月中旬に對して約一三〇パーセント増加したことが確かめられた。一九二九年六月三十日には一九二七年七月中旬よりも二倍大きかつた。それに反して、男子は、第一の場合に僅か六八パーセント、第二の場合に三〇パーセント増加したにすぎない。だが、同時に婦人の追加扶助金受領者の数は減少してゐるから、婦人失業者の一部は、事情に迫られて同じく賃労働に向つてゐるものと假定しなければならぬ。

一九二七年七月、恐慌手当の引上に際して、一〇〇人の獨身扶助者に對して三七人の既婚者があつた。それに反して一九二九年三月には扶助金受領者の間で、一〇〇人の獨身者に對して七六人の既婚者のあることを確かめた。相對的には、婦人は失業保險にとつては有利な保險客體であることを示してゐる。何故なら、婦人は次の様な地位にゐるのだから。

一〇〇人の被保險者中 三三・一%
一〇〇人の保險金支拂者の中 三三・八%

一〇〇人の扶助金受領者の中 二〇・六%

一〇〇人の保險金支拂者の中、扶助金を受けるのは

男子にあつては 九・二三パーセント

婦人にあつては 四・二六パーセント

平均扶助期間は婦人にあつては二・一週間、男子にあつては四・三週間である。

最近三ヶ月間にADGBの各組合において、失業は次の如く發展した。(パーセント)

	一九二八年			一九二九年		
	十月	十一月	十二月	十月	十一月	十二月
鑛業						
鑛夫組合	八・九	一七・六	五三・一	一六・五	二七・四	五三・〇
木工	二・八	二〇・三	四三・五	二〇・二	三三・四	五二・五
畫工	一一・七	二〇・八	三四・六	一七・六	二八・九	四四・二
屋根工	一五・〇	二六・四	五五・一	一四・九	三三・五	五九・〇
石工	九・七	一六・五	四五・三	二〇・三	三三・二	五八・三
工業						
金屬労働者	六・二	七・〇	八・六	九・七	一一・三	一三・二
纖維労働者	七・五	七・七	八・四	一〇・九	一〇・八	一二・二
失業の浪(一)						六一

木材労働者	九・四	一一・四	一七・六	一五・七	一七・五	二四・四
飲食品労働者	四・六	五・二	八・一	六・六	七・二	九・八

六二

使用人の間における失業は、特別の役割を演ずるが、それは労働者の失業と大體において僅かな相違しか持つてゐない。人は、使用人の労働市場は、全労働市場に現はれた總ての景氣及び季節の影響には動かされないといふことを確かめようと欲した。實際には、経験によれば、使用人の失業は労働者の失業よりもはるかに長く繼續し、使用人といふ職業は、恐らく永久失業者の一家族を形成する傾向がそこで最大の進歩を遂げたところの職業であらう。人は卒直に使用人労働市場の『硬化』について語つてゐる。

何よりも先、失業の最高位と最下位との差が僅かしかないことが示されて居り、又扶助者数の僅かな仕事から、失業せる使用人の多數は既にドイツにおいては非扶助者の大群に屬してゐることが明白となる。

ドイツにおける失業者の状態は、この冬には從來よりも、もつと窮迫して來る。それは色々な原因がある。

失業時代の頻繁な反覆は、プロレタリアートの中の、主としてそれに関係ある部分の全状態を次第に決定的に壓迫し始める。少しばかりの景氣的及び季節的動搖の場合にでも、第一に刻印を捺されねばならぬ老年の労働者にとつては、それは全く格別の影響を及ぼす。更に、一三年の中に生活手段(失業者にとつて避け難い支出)の物價そのものがドイツにおいては可なりに騰貴したので、前年と同じ扶助額そのものが悪い生活しか許さないのである。

だが失業保険の改悪によつて、——去年の失業の量によつて計算すると——失業者は大約一億マルクを奪はれてゐる。だが失業の實際状態は尙ほそれ以上であるから、(一九二八年の四六・八パーセントの代りに五一・一パーセントの失業者)失業者から取上げられてゐる額は實際にはもつと大きい。

この『節約』は、主として保留期間の延長、扶助中止の嚴格化、社會年金の計算及び特に季節労働者に該當する多くの特別規定によつて達せられる。その中でも重要なものは、第七級の賃銀階級の季節労働者が第六級の賃銀階級に従つて扶助せられ、第八級及び第九級の賃銀階級の者が第七級で、第十級及び第十一級の賃銀階級の者が第八級の賃銀階級に従つて扶助されるといふ規定である。五つの家族が前提されてゐるが、それは一週につき、第一群が二・六三マルク、第二群が二・三二マルク、第三群が五・六二マルク、第四群が六・六〇マルク、第五群(第十一級の賃銀階級)が九・九〇マルクの扶助金減額を意味する。同時に労働局官吏に、季節労働者の間ではどの労働者群に編入するかといふ廣い酌量の餘地が残されてゐる。そして、全く怪しからん事にはホーニツヒ(蜂蜜)といふ名の長官を載いてゐる失業保険の管理委員會が、失業者を下級の扶助階級に落し、もし出來れば一般に扶助

から除外しようとする機会を正にサディスト的な熱心で探してゐるのは周知のことである。これに關聯してヘッセンの労働長官社會民主主義者エングラ、(Engler) の訓令は特別の注意に値する。それは特に失業せる既婚婦人(かれらはそれでも大てい一家族又は幼兒を世話しなければならぬ)を、『彼女が實際命令に従つて労働市場に立つ』か否か、を確めるために、地方又は他の町に紹介すべしと命令したものである。もし婦人がかゝる労働に従事する事を拒めば、扶助は奪はれる、『何となれば、彼女は命令に従つて労働市場に立つのではないから。』

多數の失業者の失業期間は、十月十五日に四〇パーセント、即ち七八四、〇〇〇人の扶助を受ける失業者が既に四半年から半年の間失業してゐたといふことから推測することが出来る。

十一月十六日から十二月十五日までに五七、六九〇人の男子と一六、〇五八人の婦人(合計七七、〇〇〇人)とが失業扶助から放逐された。その中僅か四六、四五五人の男子と一一、八九六人の婦人(合計約五八、〇〇〇人)だけが恐慌扶助へ入れられたにすぎない。放逐された中の四分の一以上はかくして扶助なしで終つた。だがそれは一ヶ月間における非扶助者の増加の僅か一部にすぎない。他のより大きな部分は、扶助に關する規定の尙ほ不十分な新たな失業者から補充されて來たのである。不十分な減額された扶助を以て餓ゑなければならぬ二百萬の扶助失業者の上に、現在では少くとも、完全な饑餓に曝されてゐる百萬人が加はつて來る。以前にはどうにか福利局の援助を期待することが

出來たが、今や事情は變化した。失業保險の改革に關する討論に際して、福利局は決して非扶助者に注意を拂ひ、かれらに粥を啜らしてはならない、といふことがブルジョアジーによつて常に強調され、且つ社會民主主義者によつても争はれなかつた。かれらは、これが『改良』の全精神を塵芥の中に投ずることになるであらうといふことを暗示した。擗取階級はそのうちに、ブルジョア及び社會民主主義的福利局がこの命令に反するのを阻止すべき統制の手段を發見した。即ち金融統制である。重工業の寵兒帝國銀行總裁、シャハト(Schacht)はドイツの都市への總ての外國投資を絶えず妨害したが、それは社會的領域への脱線を有効に阻止するためであつた。そしてそれでも足りなければ、都市に干渉してその都市の行政を後見の下に置くのである。それは、二三週間前ドイツ共和國の首都において、新たに選ばれた市長が失業者に些かの賜物をしようと決心した時に著しく現はれた。

産業家にとつては、失業者を犠牲にすることは尙ほ充分進行してゐるのではない。一ペニツヒでも少くはないとハッキリ言つてゐる。『ドイツ鑛業新聞』によれば、失業者一人當りの平均扶助額(家族も含めて)が僅かに一月七八・八三マルクにすぎない(最低生活費は少くとも二〇〇マルクであるのに)にも拘はらず、給付制限に關するかれらの欲望は尙ほ満足されてゐない。何となれば、扶助縮少と掛金引上にも拘はらず、保險収入は支出を償ふには、遙かに達しないのだから。重工業は一九三〇年の年度末までに國營保險局は七億五千萬以上の國家に對する負債を計上するであらうと、昂奮して

計算してゐる。『保険規則が危険に瀕してゐる』とかれらは昂奮して叫び、より以上の給付の縮少を要求してゐる。産業の指導者ヰイスベルグ(Duisenberg)によつて提出された改良主義者との新たな労働共同團體の提案においてすら、かれらは、現在のまゝの形の失業者扶助は労働共同團體の最大の障碍であると指摘することを躊躇しない。言ふまでもなく、失業者扶助に對する闘争は、ドイツ企業家全國同盟の綱領において重要な地位を占めて居り、それは覺書『上向か没落か?』において確定せられた。數百萬の失業者にとつて何の用心にもならない未曾有の不充分な規則にも拘はらず、失業者に對する斷乎たるもつと激烈な攻撃が豫期されねばならない。

労働者階級は總ての改悪に對して、季節労働者に與へられる特別待遇に對して闘争するであらう。だがかれらはもつと多くをなさねばならぬ。現在五十萬の失業者の存在するベルリンの如き都市において、ガス、水道、電氣の税金並に交通機關の料金の値上が行はれたら、労働者は『失業者をこの税金から除外しろ!』といふ合言葉のために闘争しなければならぬ。既に生活費にも足りぬ扶助費は、都市事業の高い手數料を拂ふには足りない。それは單なる宣傳スローガンとして止まつてはならない。それは一の闘争スローガンとならねばならない。この闘争において失業者は決定的な成功の見透しをさへ持つ。五十萬の失業者とその家族とをこの公然たる行動から抑止することは不可能である。その努力がなされるところにおいては、戦争中グラスゴーその他のスコットランドの都市において、労働者の妻がその夫のストライキを勝利に導いたと同じ防禦手段に訴へねばならぬ。この手段、即ちパリの労働者が屢々その仲間を追放から防ぎ、ベルリンの労働者がケーズリン街(Kosliner Straße)において失業者の住宅放逐に對して取つたこの手段が利用されねばならない。

だが、どうにか足りる生活費を失業者に保證するといふ問題は、遂行せねばならぬ闘争の僅か一部分にすぎない。失業が永久的なそして益々増大し行く災禍に發展し、××××××××××××××××××といふ共產主義者及び革命的労働組合員の豫言は、餘りにもよく證明せられた。

労働者階級はこの問題が彼等全體に關するものであることを認識し、全階級は労働の權利のために闘争を開始しなければならぬ。實際には、七時間労働制をつくれ!といふ合言葉にならねばならぬ。この闘争の中に、就業してゐる大衆と數百萬の失業者との生きた有機的な結合が存在するのだ。この合言葉のために、工場内の労働者及び役員は全従業員を集めてこの要求の爲に闘争する準備をせねばならない。この合言葉の下に工場労働者と失業者との闘争同盟が鍛へ上げられねばならない。それは働いてゐる労働者を將來の解雇から保護し、失業者に再び工場の門を開かすところのスローガンである。厚顔な企業家の攻撃に對する防衛を越えて、失業者に對する人間らしい生活の保證のための闘争を越えて、七時間労働制のための闘争の合言葉の下に全労働者階級は労働のための闘争を遂行しなければならぬ。

失業の浪 (二)

(一九三〇年三月)

第二部 イギリス

(一九二八年十一月、社會經濟労働者評論第八號、『イギリスにおける失業とポール・ドゥインのS、O、S(危険信號)』参照)

イギリスの資本主義の安定とイギリスの失業の安定とは相互に反比例してゐる。イギリスにおける資本主義的經濟制度の重大な動搖と困惑とが明らかになればなる程、失業は確實に、堅固に、安定になつて行く。イギリスは保守的な國である。高度に合理化された國においては全く日常的になつてゐるところの、夏季の失業と冬季の失業との間の數百萬の震動、振子の一振りで數十萬の失業者、といふ様なことはそこにはない。イギリスにおいては、問題はむしろ持續的な無變化な失業の水準にある。一九二三年以來被保險者中の失業者は次の通りである。

- 一九二三年……………一一、七パーセント
- 一九二四年……………一〇、三パーセント
- 一九二五年……………一一、三パーセント

- 一九二六年……………一二、五パーセント
- 一九二七年……………九、七パーセント
- 一九二八年……………一〇、八パーセント
- 一九二九年……………一〇、五パーセント

一九三〇年一月二十七日には一二、六パーセント即ち一、五三四、〇〇〇人の扶助失業者があつてその中三一五、〇〇〇人は婦人であつた。

それは前年の同期(一二、二パーセント)に比し、又一九二九年十二月の最近の數字(一一、一パーセント)に比し可なり鋭化である。

鑛業においては、前年に比して少しばかり失業の減少があつた。一月の末には、一九二九年一月の一九、一パーセントに比して鑛夫の一二、九パーセントが失業してゐた。ウエールズ、ランカシア、チェンヤの如き重要な地方においては、だが、一七パーセント及び一八パーセントの失業者で、前年の水準に極めて近かつた。一般にこの減退においては、一九二八年—一九二九年の間に鑛山労働者の數が四〇、〇〇〇人以上減少し、同時にその減少は勿論主として失業者の列に繰入れられたといふことが考へられる。従つて、この重要な鑛産業における労働者數の減少は更に進行した。一九二三年に比しイギリスの鑛業における労働者數(被保險者)は一九二九年七月までに八九・一パーセントに低下した。

鐵及び鋼鐵産業における失業は全く格別に尖鋭であつて、被保険者の二三パーセントが街頭に投出されてゐる。鐵及び鋼鐵産業における労働市場の恐慌は二つの原因によつて決定されてゐる。第一に、イギリスの鐵生産の世界生産中における部分が、相對的にだけでなく絶對的にも減少してゐる。一九二三年十二月から一九二八年十二月までに、世界生産は二九、六パーセント増加した。イギリスにおいては、同じ期間中に九、六パーセント減退した。戦争前に比すると殆ど三〇パーセント(三百萬噸)も減少した。

同じく鋼鐵生産においても、國際鋼鐵生産が五〇パーセント以上増加してゐるのに、一九二〇年以來減退を示してゐる。この生産の減少は、鐵及び鋼鐵産業の労働市場に激烈な不況を呼起した要因である。第二の要因はこの第一の要因から直接に出て来る。資本家は産業が技術的に遅れてゐる結果、世界市場において常に地盤を失ふことを知つてゐる。イギリスの鑄鐵爐の作業能力を他の諸國のそれと比較すると次の通りになる。

鑄鐵爐一基當りの一週間平均作業
イギリス……………一〇〇〇噸
ドイツ……………二五〇〇噸
合衆國……………四〇〇〇噸

ベルギー……………一五〇〇噸
フランス……………一一〇〇噸

かゝる状態から引出される結論は明白であり、そして資本家はそれを行ふことに躊躇しない。即ち合理化こそはその合言葉である。合理化は既に過去においても實行されてゐるが、將來においても尙ほ恐しく尖鋭にこの産業の失業に影響を及ぼすであらう。

R・B・ロブソン(R. B. Robson)は『コンミュニスト・レビュー』(Communist Review)に今までの合理化方法について書いてゐる――

『今までに行はれた技術的改良は、鑄鐵爐の能率に觸れてゐなかつた。燃焼は強められ、それに應じて生産は増大した。労働者は押しつけられ、残業は甚しく行はれた。鐵を倉庫から鑄鐵爐まで引上げる作業においては、大きなマグネットクレーンを代用することによつて人間の労働力が排除された。同じく、鑄鐵爐に土を混すのに、労働者を使用してゐた以前の方法の代りに、積込機械が用ひられた。これらの労働者が以前送つてゐた奴隸的生活を知る者は、何人もこの變更に不平を言ふことは出来ない。だが資本主義の下においては、それは數千人を永久失業に追ひやり、そして従業員の搾取は尖鋭化され、耐え難くされる。』

かゝる方法によつて労働力の搾取を高め、生産を向上せしめることが出来た。(一九一三年には三

三八基の鑄鐵爐が一千萬噸を生産したが、一九二八年には一五二基の鑄鐵爐が七二五萬噸を生産した。……

……賃銀は急激に低下した。一九二〇年には平均週賃銀は五ポンド三シリング一ペンスに達したが、一九二三年には三ポンド一シリング六ペンスとなつた。

鋼鐵生産においては可なりの設備の革新が行はれた。僅かの鑄鐵能力しか持たぬ爐を廢して、その代りに作業能力の多いものを建設する過程は、一九二一年に始まつて今も續行されてゐる。

従來に比して五〇パーセント乃至一〇〇パーセント優れた能力を持つ新たな爐が建設された。

例へば、五〇噸の鑄鐵能力を有する五基の爐は、一〇〇噸乃至一五〇噸の能力を有する三基の新しい爐によつて置換へられた。

總ての労働者集團は直ちにその影響を被るに到つた。數千人が、數年來労働を見出す希望もなく舗道に投出されてゐる。

……機械は數千の労働者を押しつけた。今では青年の作業がこの産業の特徴である。青年が十六歳乃至十八歳となるや否や、かれらは解雇されて、より若い者によつて置換へられるのである。』

鐵及び鋼鐵産業の労働者にとつての展望はかくの如く陰慘である。産業を合理化せんとする企業家の努力は、労働黨政府が頬を含ましめて愉快げに鼓吹してゐる合理化精神の一般的な光の中で、更に

強められるであらう。資本家が世界市場における賣行を擴張するのに成功したにしても、この産業における失業者の數は更に増大するに相違ない。だが、そのやうな展望は殆ど存しないから、労働者及び失業者にとつての状態は益々悪化するであらう。

かゝる事情であるから、吾々は、經濟的に平和な總評議會の航路を平和に航海してゐたA・ビュー君 (A. Pugh) が、何故に民族同盟がロンドンに召集したうるはしい合理化協議會にこの頃不調和音を持ち込んだかをも理解出来るのである。

合理化は最高音で讚美される。何故なら、『それが最初に失業を尖鋭化しやうとも、疑ひもなくそれは收穫豊かであるだらう』から。そこで鋼鐵労働組合書記A・ビュー君が現はれて次の如き演説をした。

『……かれは、現在遂行されてゐる過程が労働者階級にとつて宿命的な結果以外のものを齎らし、結局民衆に何等かの利益を與へるか否かを眞劍に疑ふ。

既に今日、尖鋭な失業は企業合同の結果であると言はれる。かれ自身の産業たる鐵及び鋼鐵においては、生産は一九二七年以來著しく向上し、労働者數は減少し、失業は短時間労働を考へずに二〇パーセント増加してゐるとせよ、……その目的は、多くの廉價な商品を生産するためではなくて、國內及び世界市場において競争者の咽喉笛を斬るためであると言はれる。それは、既に生産能力に取残されて居り、購買力が數千の失業者によつて新たに益々縮小されるので、益々狭められて行く

市場を前にして起つてゐる。

この……過程は労働者階級には、その状態のより以上の悪化の外には何物をも與へない。失業問題の解決のためにかけてゐる期待を實現するどころか、それは失業を更に尖鋭化し、國家の經濟的健康と世界の平和とを覆してしまふにすぎないであらう。』

善良なビュートのこの陰鬱な豫言に吾々は完全に賛成しなければならぬ。たゞ日曜學校の讀本教師の隱語の方がイギリスの労働組合指導者よりも少しばかり流暢でないだけであるから、吾々はこの文句を吾々の言葉に翻譯しようと思ふ。即ちかうだ、今までの鐵及び鋼鐵産業における合理化の經驗から、それは利益を少しも齎らさず、却つて多くの困難と出口のない貧窮とを齎らしたといふ事が示された。賃銀の低下と失業の増加とによつて、それは、事實において資本主義制度のこれ以上の存続(「世界の平和」を讀め)を疑問とするところの甚だ革命的な要素となるであらう。

織維産業における恐慌は甚だ強く尖鋭化した。一月の末には木綿産業部門だけで、一九二九年十二月の一四、四パーセント、一月の一、三パーセントに對して二〇パーセントの労働者及び婦人労働者(一一〇、〇〇〇人)が失業してゐる。それ以後企業家新聞『マンチエスター・ガーディアン』(Manchester Guardian)によると失業はもつと増加してゐる。完全失業者の上に又、巨大な数の短時間労働者が加はる。『ミニストリー・オブ・レーバー・ガゼット』(Ministry of Labour Gazette) (労働大



臣の機關紙)の報告には、總ての町村から一齊に叫ばれてゐる、『一般に短時間労働が行はれてゐる』『一週に僅か三日しか働かない』『色々の形態における短時間労働が一般に擴がつてゐる』『この町の歴史上吾々はこんな悪い時代を思ひ出す事が出来ない』等等。

七二、〇〇〇人の従業員を有する企業において、一週平均十四時間の損失をする短時間労働が二〇パーセントであつた。この企業における賃銀額と労働者數とは前月及び前年に比して次の如き負數で變化した。

労働者數	賃銀額
一九二九年十二月	一九二九年十二月
(一) 一一・二%	(一) 四・九%
(一) 四・九%	(一) 五・一%
(一) 一三・二%	(一) 一三・二%

同時に輸出(木綿産業は主として輸出産業である)は次の如く減退した。

熱絲(ポンド)	織物(平方ヤード)
一九二九年一月	一九二九年一月
一六、九二三、九〇〇	三七九、三四二、三〇〇
一九三〇年一月	一九三〇年一月
一三、一五六、五〇〇	三一二、一八三、〇〇〇

木綿のみがイギリスの織維産業の中で悪いのではない。羊毛及び毛糸部門においても、同じく仕事のない労働者が二〇パーセントである。更に毛糸部門においては従業員の一二五パーセントが十三時

間半の損失を伴ふ短時間労働をして居り、毛織においては従業員約四〇パーセントが毎週十五時間を損失する。指数（一九二六年を一〇〇とする）は現在毛糸部門に於て九二・四、羊毛部門において九五・三である。完全失業と短時間労働とを合せると少くともイギリスの繊維産業の労働者の三分の二に當り、同時に短時間労働者の物質的狀態は完全失業者よりも絶対に樂でないといふことが誇張なしに言ひ得られる。

繊維産業においても吾々は鋭い合理化方法に直面してゐる。ラ、カ、シヤとインドの市場を争ふこととなる極東の新興繊維産業の優れた技術的設備、及び今や世界市場に進出して來た北アメリカ合衆國の繊維産業における全く近代的な設備は、企業家をしてこれとの均衡を得んと努力せざるを得なくする。トーマス君は態々イギリス繊維の黒い古い心臓たるマンチェスターへ、合理化の金融のために銀行を獲得したといふ喜ばしい便りを企業家に齎らすために赴いた。それによつてトーマス君は、これの特別の保護にその運命を委ねてゐるところの失業者のために何を爲したか？

企業家は最初、手織機の數を織布工一人當り四臺から八臺に増加しようとして提案した。二三の者は一〇臺の織機をさへ試みてゐるが、それは既に勿論労働者の抗議ストライキに遭遇せずにはゐない。この計畫を遂行すれば従業織布工の數を約半數に減じなければならぬ。解雇者の僅か一部分だけが補助労働者として再び従業を期待し得るにすぎない。

労働市場に對するより深刻な影響を及ぼしたのは自働織機への移行である。一流の織機製造會社が自働織機（日本の豊田式）を輸入したが、それについて『マンチェスター・ガーディアン・コンマニヤル』（Manchester Guardian Commercial）はかう述べてゐる——

『一人の織布工が持ち得る織機の數は、労働者の熟練と商品の品質に依存する。それは必要な補助、労働者の助けを借りて織布工一人當り織機三〇臺乃至五〇臺の間を上下する。一〇〇〇臺の織機に對して二〇人の織布工と三〇人の補助とが従業してゐるといふ一織場からの報告がある。……作業は九五パーセントまで非難の打ち所がない。』

自働織機の使用は、かくして、一人當りの手織機の數の増加による『人間的合理化』以上に尖鋭な程度で、繊維労働者及び婦人労働者を賃銀とパンとから合理化し去るに相違ない。

この評論の以前の論文の中で、既に吾々は、イギリスにおいてはたゞ一つの産業も、たゞ一つの地方も、失業に對して感染しないものはないといふことを示して置いた。最も恵まれた産業（化學、人絹、自動車）最も恵まれた地方（ロンドン、南東部、南西部）でさへ、一九三〇年一月の末には七五・八及び九パーセントの失業者を有してゐる。

當時吾々は、世界市場の條件と『繁榮しつつある』新たな産業へも労働力が充満することゝは、失業の減少に對する労働者のあらゆる期待を排除してゐることを斷言した。四年の間に保守黨政府は失

においては保守黨政府の下におけるより以上に、六ヶ月の中に三〇〇〇人以上の婦人が除外せられた。合計すると、扶助されてゐる失業者の數の外に、一般にもはや失業者扶助金を受けてゐないところの少くとも七五〇、〇〇〇人を加へねばならない。

イギリスにおいては今も尙ほ貧困と支拂不能とは負債禁錮を以て處罰されるといふことは恐らく一般に知られてゐないだらう。同時にこの制度は、特に租税を支拂ふ能力のない失業者にも適用される。かれらは市廳によつて裁判所に引出され、監獄に送られる。逮捕は普通夜に行はれ、斟酌なく斷行される。『デイリー・ウァーカー』に、一人の労働者通信員が、一月二十八日ウイツガン (Wigan) から、即ち九萬人の人口と一萬人の失業者と七千人の短時間労働者とを有し、その市會は労働黨が多數派を占めてゐる都市から通信した。

『吾々の目についた今一つの甚だ嚴肅な場合は、その子供のベッドを看護してゐる一人の男であつた。子供は肺炎であつて、朝の三時頃その父は子供のベッドから交番へつれられて行つた。二時間後に子供は死んで、尙ほ警察の留置場にゐた父は、プレステンの監獄に行くまでに今一度見たいと嘆願した。許可はなかつた。』

かゝる方法が労働黨の市會の普通の行政方法であつて、かれらは、かれらが資本家自身よりも資本主義的秩序については心配してゐるのだといふことを示さうと考へたのである。

イギリスの失業者は全國失業者運動に一つの機關を持つてゐるが、それは倦むことのない日常闘争の中において、少くとも最も悪い硬化と不正とを除き、失業者の利益を保護せんことを心掛けてゐる。だが全國失業者運動は、同時にイギリスの失業問題をその總ての幅で展開し、實際的行動の中において就業労働者と失業者とが、二百萬人以上のイギリスのプロレタリアから永久失業の呪ひを追拂はんがために共に闘争しなければならぬ目標を示してゐる。

企業家の『社會的保護』

労働者の搾取及び抑壓の手段としての

(一九三〇年三月)

世界市場における状態の變化は、資本主義諸國をしてその産業の合理化の問題に面せしめた。合理化と平行して、多くの國における企業家は、『博愛的』手段によつて労働者をその合理化計畫の味方に獲得しようと努力した。この點に關してフランスは殆ど第一位に立つて居り、吾々はこの論文においてフランス資本家の『平和にして友愛的な手段』の二三を詳細に説明したいと思ふ。

家族手當

最も平和な、だが又最も危険なのは、子供の多い家族に子女手當として、又は病氣の場合に疾病手當として、現金を以てどあれ現物を以てどあれ、扶助金の形で支拂はれるところの家族手當の制度である。その外に尙ほ、工場に働いてゐる婦人労働者、又は工場に働いてゐる労働者の家族のための出産及び静養割増金がある。家族手當の制度はフランスにおいて約十二年程前(一九一八年)に實施され、

企業家は數年の間に益々多くそれを利用した。それは最もよく施行されてゐる制度である。若干の地方において、及び若干の家長にとつて、それは屢々労働者の本來の賃銀を超過する。一般にそれは十四歳以下の子供に與へられ、支拂は一月毎であるが、一月の中に自由に仕事から遠ざかることの出来ない様な子供の多い家族にだけ支拂はれる。家族手當が始められた最初の年には、多くの企業家は尙ほ未だ家族扶助の支拂がかれ自身の利益にとつて有する意義を認識しなかつた。従つてその労働者にかゝる手當を與へる企業家の數は比較的少かつた。だが企業家同盟の階級精神は、家族手當の必要を認識しない企業家に、それは労働者階級に對する闘争手段を斷念するに等しいと説得することを理解してゐた。この罅隙は取去られて、所謂清算金庫なるものが作られた。同一産業又は同一經濟地方の各企業は、自己の支拂ふ賃銀の二—三パーセントを清算金庫に拂込む。次いでこの金額はそこからそれに所屬する企業に分配され、企業家は受取つたその金額をその工場の各労働者の状態に應じて分配する。一九二〇年以來清算金庫の數は急速に増加し、一九二〇年の六個から一九二九年の二二九個に上つた。だが多くの企業はこの清算金庫に所屬せず、その労働者に家族手當を直接に支拂ふ。家族扶助金の額は總ての地方において同一ではない。それは平均一月當り次の通りである。

子供一人	二八フラン	四人	一八二フラン
二人	六七フラン	五人	二五五フラン

企業家の『社會的保護』——労働者の搾取及び抑壓の手段としての

企業家によつて家族扶助金のために『犠牲』とされてゐる額は何程であるか。リヨンの清算金庫第八回大會（一九二八年五月）におけるボンヴォアザン(Bonvoisin)君の報告によると、二二〇の清算金庫が一、四二〇、〇〇〇人の貸銀受取人を有する一六、二〇〇の企業を包含し、それは一九二七年に二三〇、〇〇〇、〇〇〇フランの家族扶助金を支拂つた。だがボンヴォアザンは一、四二〇、〇〇〇人の貸銀受取人に支拂はれた貸銀額を報告しようとはしなかつた。何故であるか？ それは家族手当の割合が實際には極めて低いことが明らかになるからであつた。それが貸銀總額の二パーセントに達せんがためには、問題となつてゐる一、四二〇、〇〇〇人の貸銀受取人が百十五億を下らない貸銀年額、即ち一、四二〇、〇〇〇人の貸銀受取人の數の中に技師、技手、組長をも含めて、貸銀受取人一人當り八九フランの平均になるところの貸銀年額を受取らねばならなかつた。かくの如く家族手当は貸銀額に比すれば高々二パーセントである。建築企業清算金庫に所屬するルヴオー(L'aveau)君の報告によれば、四一六、一六三、一六〇フランの額を示した貸銀額に對して、五、九六八、六〇二フランが家族扶助のために支拂はれた。この數字を検査すると、貸銀總額の一、四三三、パーセントが家族扶助金として支出されたことが判る。パリ地方の機械産業清算金庫に所屬するリツチモン(Richemont)君は、一九二七年に三〇六、七八二人の家族扶助の受益者に六千萬フランの家族扶助金を支拂つたが、それは

『受益者』一人當り二〇〇フラン以上、又は貸銀總額の約二パーセントの額に等しかつたと報告してゐる。かくる例は尙ほ多數擧げることが出来るが、總ての清算金庫によつて貸銀總額の高々二パーセントが家族扶助のために支拂はれてゐること、及び子供の多い家族を抱へた労働者各人に支拂はれた扶助金は極めて低額であることが明らかとなるであらう。だがそれだけが全部ではない。實際にはこの家族扶助金のための貸銀總額の二パーセントは、貸銀に臨時に附加されるのではなくて、その中に包含されるのである。労働者に對する企業家の『社會的施設』は、手当を與へてそれから何の利益も効用も引出さないといふ程『徹底的』ではない。家族手当の制度は、よし僅少でも、附加手当であつてはならないので、貸銀總額が、貸銀受取人をして他の貸銀受取人と競争し得る様に、そして労働者相互の競争によつて貸銀總額が低下する様に構成されねばならないのである。貸銀總額のよりよき分配といふ名目の下に、企業家は従業員の一部たる獨身者からその貸銀の一部を奪つて、それを既婚者に家族扶助金の形で支拂ふのである。労働者はかくして自分自身で家族扶助金を支拂つてゐるのだ。企業家はかくして一の『支拂制度』を作り、それによつて獨身労働者と既婚労働者とを相争はしめ、そして労働者戦線の分裂を作り出さうと努力する。

企業家から家族扶助の目的と目標とを聞くために、その言葉を引用しよう。建築企業清算金庫のルヴオー君は國際労働局の一パンフレットの中で次の様に説明した。

「問題は、支拂はれた賃銀額が正しい額であるか否かを知るに存するのではない。又、如何なる程度に産業の生産物が労働者に歸すべきかを論ずることが問題であるのでもない。問題は次の様に置かれねばならない。賃銀として定められた額を社會的見地から最良の結果を得る様に分配するには如何にしたら最も有利であるか？」

他の表現を以てすれば、企業家は其の労働者の金で『尊大振つた』のである。だがルヴォー君は更に進んで、家族扶助が如何なる目的を果たさねばならないかをハッキリと言明した。

『超過賃銀は賃銀を低下せしめるに役立ち、そして家族を有する労働者をその仲間と對立せしめる手段である……』

建築企業及び公益事業労働者の清算金庫の創設の目的は、労働者の所得となる賃銀額をよりよく分配することによつて一般的賃銀騰貴を阻止するにあつた。家族手当は賃銀騰貴のブレイキであり、労働者の移動を減少するに役立ち、そして精勤賞與となる。』

かくして吾々は家族手当の眞實の意義を今一つの光の下に照し出した。労働者家族の保護は、企業家にとつては、子供の多い家族を抱へる労働者の貧困と窮迫とをこれらの目的のために利用し、労働者階級の闘争力を打破るための名目にすぎない。それは企業家の手においては労働者階級に對する防衛及び攻撃の武器となり、賃銀に對する闘争を容易にする。だが企業家は家族手当によつて家長を益々

工場に結びつけるだけでは満足せず、労働者の家族をもその勢力の下に置かうと努力する。小切手の支拂ひによつて起るところの、直接家族の母に家族手当を支拂ふ制度は益々多くなつた。それによつて労働者家族自身が直接企業家の壓力の下に置かれた。清算金庫は子供の多い家族に對する扶助金の分配を含むだけでなく、病院費、治療費、母性保護、疾病基金、住宅建設、慰安の組織等に對する施設の如き、多くの他の『社會的施設』が加はつてゐる。總てこれらの制度は有給の代理人から成る參謀を使用してゐるが、それは『キリストの隣人の愛』の口實の下に、労働者の親しい家族生活に侵入してそれを探偵することが出来、そしてもし必要とあれば、企業家の慈善によるよりもつとよく生活し得るところの賃銀値上の闘争に起ち上つてゐる父親に反對する様に『子供のために』母親を使喚することも辭せない。若くは又、『社會奉仕』の企業家婦人代理人が、共產主義者と考へられる労働者を招待し、涙を流して集會に出ない様に哀願し、又他の場合には、工場新聞が企業家の大きな計畫の邪魔になることを云つて、もしかれば今後政策に關係しなければ工場内において組長の地位を作つてやらうと思つてゐることを了解させた。この小さな例から、この『慈善深き姉妹たち』が如何なる役割を演じてゐるか、又かれらが労働者の家族に侵入し來ることは如何に危険であるか、明らかとなる。普通労働者の賃銀の最も低いところには、企業家の『社會的組織』が最も廣く擴がつてゐる。従つて例へばノルド州の織物會社は、かゝる社會施設の最もよく組立てられた制度を有してゐる。この

社會によつて労働者の賃銀總額の中から支拂はれる扶助金の割合は極めて低い。(しかもこれは労働者から奪つた賃銀でなされることである。)それは一九二七年賃銀總額五五一、一五二、五七七フランに對して、出產手當八一六、一六〇フラン、疾病手當一、一四〇、七八三フラン、その他同様の手當八二五、八〇七フランに達した。一九二八年に織物會社は新たな、所謂「精勤割増」を始めた。それは一時間も仕事から離れないといふ條件の下に、一週一五フランを労働者又は労働婦人に支拂ふことを目的とする。この割増は最近の北部地方における織維労働者の大ストライキの前における革命的労働組合のアジテーション時代に労働者及び労働婦人をストライキから遠ざけるために始められたものである。社會的施設が工場内にどれ程擴がつてゐるかは、*ヴェトリ*の化學工場、*プーラン*に關する「*カイエ*」、*デュ・ボルシエヴィズム*」(Cahiers du Bolchevisme)に掲げられた報告から明らかになる。この工場においては、労働者が五フランで食事をなし得る食堂及びレストランがある。毎朝、労働者のために無料で診察してくれる醫者が工場にゐる。醫者は労働者との交際において急速に「友人にして且つ信頼すべき人」となり、不満と紛争とを除去する。この意味において彼も亦企業家の利益のために行動してゐる。競技及び水泳クラブは八〇人の會員を有してゐる。このクラブに屬する若い労働者は、準備品、旅行費等のために二五パーセントの賃銀値下をされてゐる。練習時間は企業家から賃銀を支拂はれる。フットボール競技の場合に負傷した労働者は賃銀全額を受ける。これらは「博愛」から生ずるか？

アメリカの企業家は、『もし労働者が清新な空氣の中で駆け廻ることが出来なければ、私の利潤は減少するだらう』と言つてゐる。工場は又家政、裁縫、料理の講座を持つてゐる、何故なら、「敏捷な妻、満足せる夫、かくて、満足せる男、よき労働者！」講義の時間は企業家によつて賃銀が支拂はれる。企業家が家族手當を支拂ふのは自明の理である。

鑛業及び鐵道企業は、家族手當支拂の利益を直ちに理解した。それは清算金庫に屬せず、競争相手を恐れる必要もない。資本家は今日まで國家をして家族手當を強制的ならしめることを許さない。彼れらは自分の事業を自ら支配し、階級的利益を尙ほ理解しない仲間を教育することを理解してゐる。家族扶助はその希望通りの目的、即ち原價を低下し、労働者を思ふ通りに動く道具として利用するに役立つ。労働者階級の先進分子は、家族扶助が、他の總ての企業家の「博愛的」施設と同じく労働者に對する武器であることを知つてゐる。フランスの革命的労働組合は、既にボルドウの大會において、家族扶助及びその他の企業家の「社會的施設」の偽瞞をフランスの廣汎な労働人口に指摘すべき要求綱領を作成した。吾々は労働者に事實の材料を以て、總てこれらの「扶助」は企業家によつてかれらの本給から奪はれたものであること、「キリストの隣人の愛」及び「家族の保護」といふ名目の下に子供の多い家族を抱へてゐる労働者に與へられるのは奪はれた給料の一部分だといふことを知らせねばならない。吾々はかれらに、企業家は扶助のために一ペニツヒも出してゐないといふこと、總てを支

拂ふのは労働者階級自身であるといふこと、既婚の労働者でさへこの犠牲になつてゐること、それは労働者の階級戦線を粉砕せんがための手段であること、及びプロレタリアートは一致して、賃銀の一般的値上！といふ明確な要求のために闘争しなければならぬことを知らせねばならない。

九〇

労働者植民地

過去において大企業によつて多數の労働者植民地が作られた。合計すると直接企業の所有に属する労働者住宅は、今日百萬以上に上ると推測される。パリ—リヨン—地中海鐵道會社は、その植民地にだけでも二萬人以上の使用人及び役員を收容した。ミシュラン(Michelin)はクレルモン—フエランドに三〇〇〇以上の労働者住宅を所有し、ノルド州及びバド・カレールにおいては炭坑の殆ど全従業員が會社の所有に属する植民地住宅に住んでゐる。一般に労働者は比較的家賃の安い家に住んでゐる。だが人は何故に企業家はかゝる植民地を建設するかを理解しなければならぬ。恐らく住宅難を救済するためでもなければ、労働者に健康な住宅を提供するためでもなく、又『慈悲』からでもあるまい。かれは、安定してゐると見得る一定の数の労働者を工場の周囲及び内部に保つて置くために、その工場の周囲に植民地を建設するのである。フランスにおいて現在支配的である労働者缺乏に際しては、彼はそれによつて、労働者が他の企業家の下においてよりよい労働条件で働く爲に、その働き

場所を捨てることを免れることが出来る。何となれば、労働者はその仕事を去ると共にその住宅をも引拂はねばならず、他の住宅を見つけることは不確實であると見なければならぬので、大ていの場合企業家の獨裁の下に止るのを選ぶからである。失業が多い場合には、企業家は最良の労働力を選択し得る機會を持つてゐるので、既に働いてゐる労働者は、仕事と住宅とを共に失はないがためには、謂はゞ良い労働者になる義務を持つことになる。ストライキ運動に際しては、同じ原因から参加を阻止せられ、もし階級意識のない労働者であつた場合にはストライキ破りにならねばならない。住宅植民地においては、解雇するために、労働者の間における気分及び革命的な思想を持つてゐる労働者を決定するのは容易である。これは労働者植民地の本來の目的である。それは「博愛」とは絶対に關係がない。それは單に労働者を企業家に従屬させるための手段である。

労働者の自由な時間に對しても、労働者を革命的組織の宣傳から引離すためには如何にすれば最もよく過し得るかに最大の注意を拂つてゐる。最大の役割を演ずるのは、殆ど到るところ第一流の土地を占めてゐるところの資本家によつて作られた庭園(シュレーベル式小花園、園亭庭園)である。一九二八年のオフイス・デュ・トラヴァイ(Office du Travail)(労働局)の發表によれば、七九の企業が一九二二年に一五、〇〇〇の労働者庭園を持つてゐたが、その數は一九二八年には三〇、〇〇〇以上に上つたといふ結果になつてゐる。これらの土地は、工場の擴張のためであつたにせよ、特に労働

者庭園の設置のためであつたにせよ、企業家によつて買収せられたものである。使用料は大てい極めて安い、又は土地が無代で労働者の使用に委せられる。特に興味のあるのは、鑛山地方へ庭園を擴張することである。庭園の数は一一一、〇〇〇に上る。一九一四年の二二、〇〇〇人から一九二八年の三〇〇、〇〇〇人に増加したこの鑛山地方の労働人口に比例して、労働者の使用に委せられてゐる庭園の廣さは、一人當り七九平方メートルから一四七平方メートルに割當てられた。ノルド州及びパ・ド・カレーの鑛山においてはそれは九六平方メートルから一六八平方メートルに上つた。同じ事が鐵道會社の庭園にも起つた。統計に含まれてゐる總ての企業の庭園の数は、一九一九年の一五八、四七一から三八三、一八五に増加した。

企業家は土地を労働者に使用させるだけでは満足しない。庭園造築に關する協議會が開かれ、討論が行はれ、土地の合理的使用に關する小冊子が頒布された。招待された企業の殆ど三分の一は——一部無代で、一部は卸値で——樹木、肥料及び道具を提供してゐた。賃借人の間では庭園の最良の保存について、土地の最良の利用について競争が行はれ、それに對して、金、道具、肥料及び瘠狀の如き賞與が與へられる。そしてこれは總て労働者階級を頽廢させるためである。

青年の頽廢

労働者階級の要求運動の躍進を打破るために、企業家は青年労働者の支配のために闘争する。かれらは、直接目前に迫りつゝある戦争の時代に青年労働者の演すべき役割と意義とを十分知悉してゐる。かれらをその勢力の下に置かんがために、ブルジョアジーはブルジョアの青年組織のあらゆる網を發展して來た。第一にかれらは職業學校を支持してゐるが、そこでは二十萬人以上の青年がブルジョアジーによつてその階級協調政策の訓練を受けてゐる。他の組織は青年の自由な時間を監視してゐるが、近年信すべからざる程度に發達し、今日數千の青年を包含してゐる最も人氣のある組織は、職業スポーツ聯盟である。工場の近くには競技場があつて、フットボール、ラグビー、拳闘、ランニング等をやる事が出来る。灌水浴、更衣室があり、その外に青年にはかれらの選んだスポーツに必要とする衣服と材料とが無代で與へられる。多くの場合練習時間は労働時間中であり、その賃銀は企業家から全額を支拂はれる。ド・ワンデル、ミシユラン、ルノールの如き大企業、鐵道會社、商店クラブを作つて居るガレリイ・ラファエツト、ブランタン、サマリテ、ヌ等の如き大商店は、職場クラブは青年労働者に對する最良の支配手段であることを證明してゐる。出來始めたばかりであるが、それにも拘はらずその危険は決して劣らない今一つの手段は、總ての産業中心地における青年の家の組織である。この家には、青年の遊戯室、讀書室、ラヂオ等があり、青年は歌と音樂に耽ることが出來、そして多くの場合スポーツの中心も存在する。

ブルジョアジイは又夏季休養所の創設にも努力する。パリ地方の製鐵及び機械産業の企業家同盟には、二二〇、〇〇〇人の労働者（その中二二、〇〇〇人が青年労働者である）を有する一〇五〇の企業が参加してゐる。それは一九二八年に『パリ地方金屬産業社會事業促進同盟』を作つた。同盟は娛樂及びスポーツ聯盟建設の問題を研究し、夏季休養所を創設することをその任務とした。夏季休養所には特に大きな意義が課せられ、その年に既に二ヶ所開設された。この二つの夏季休養所には八月及び九月の間各々その企業に働いてゐる一五、〇〇〇の青年労働者が宿泊した。だがそれは十三歳乃至二十一歳の青年だけに限られた。夏季休養所は企業家同盟の直接の統制下に置かれ、そして選ばされた人々によつて指導せられる。企業家同盟の報告には、この夏季團體が如何なる目的を有するかが示されてゐる。

『青年は子供と同じく特に細心の教育を必要とする。あらゆる政治的な又は職業的な議論は避けられねばならないが、特に十三歳から兵役に行くまでの年齢の青年には特に注意しなければならない。そうすると、冬季間及び聯隊内においても絶えず青年と接觸を保つ組織をつくらねばならない。この共同生活から、散兵濠の中で生れはするが徐々に消滅し始める社會的團體を再建するといふ意味で利益を受けるに相違ない。これを再建するために、同盟は、高等の學校（工科大學、高等學校、鑛山學校）の若干の學生に、その休暇を青年労働者と共に夏季休養所に過し、かくして企業家と労働者との間の社會的結合を作り出さんことを願ひした。それは尙ほ今一つの美はしい事業を實現せんとしてゐる。吾々は同盟の指導者がそれを考慮し、實現するであらうことを知つてゐる。』

夏季休暇中にどれ程の毒素が青年に注入されたかは殆ど想像出來ない。それは高等の學校の學生による青年の躰けと共に、組織的にラヂオ、活動寫眞、講演によつて注入され、そして休養所への中途で軍事教練が行はれる。かゝる理由から、この休養所の組織を組織的に行ふために、數千フランがブルジョアジイによつて支出される。階級意識ある労働者にとつては、夏季休養所の目的は明白である。それは青年を資本家と共同の労働團體に引込み、かれらを益々工場に縛りつけ、革命的組織の宣傳から引離し、階級闘争に参加させないための手段である。フランスの革命的組織は、今日まで、職業學校、青年の家、職業スポーツ聯盟及び夏季休養所の如き資本家の『社會的保護』に注意しなかつた。CGTUの青年部、CGTUと結合せる共產主義青年及び共產黨は、廣汎なカムバニアを通じて、かゝる『社會的保護』の階級性を青年労働者に知らしめ、青年労働者をブルジョアジイの影響から引離さねばならない。

資本主義が當面してゐる恐慌、利潤の追求、世界市場において競争し得るための原價引下の必要は、労働階級の狀態、即ち賃銀及び労働時間に對する尖鋭なる壓迫を約束する。ブルジョアジイはもはや全労働者をその影響下に置くために労働貴族の廣汎な層に高給を支拂ふといふ大なる贅澤をなし得な

い。絶えず増大し行く賃銀の安い労働者軍を「満足せしめる」ために、かれらは「博愛」と抑壓と頽廢とを試みる。だが頽廢そのものは入費がかゝらない。合理化された資本主義は、それ自身で引合ふ「利益」だけを保證することが出来る。このことが全労働者の眼前において明白にされ、工場内において、資本主義的合理化に對する闘争と共に、ブルジョアジの頽廢手段に對する闘争、労働時間短縮と賃銀値上のための闘争が遂行されねばならない。

合衆國南部の工業化 (一)

——階級闘争の新たなる一領域——

(一九三〇年一月)

合衆國は近年において恐るべき産業の内部的『轉移』(位置の移動)を示した。北カロライナ、ジョージア、アラバマ、程度は劣るがテンネッシー、最近においては又テキサス及びオクラホマ、總てこれらの典型的農學的南部地方が、現在急速な工業化時代を経過しつつある。それらは目の細かい電線網と自動車道路とを以て覆はれてゐる。畑、農場及び鑛山の中に、最新の技術的進歩に従つて設備された各種の工場及び製作所の近代的工業の島嶼が出現してゐる。

南部の工業化の大規模な廣告は眞にアメリカ的な威勢を以て、あらゆる地方、あらゆる南部諸州の僻地に企業家の競争を呼寄せた。洪水の如き雑誌、廣告、廣告小冊子及び『科學的』研究の總ての中で、出来る限りの手段と方法を以て、新たな工場の建設に適する土地が賣込まれる。

そして多數の北部の企業家、特に合衆國の古い工業地方、則ちニューイングランドの企業家は、この呼びかけを現實の結果となしてしまふ。ニューイングランドの紡績企業は南部の企業と競争し始め、

屢々北部の工場を閉鎖して南部に機械を据ゑつける。ビードモンドの半開の山間住民と南部平原の破産した農業家とは、かれらの數十萬の家畜と棉畑とを見捨て、リリング紡績又は自働織機の長い列には入り込む。

合衆國の南部は、工業に必要な原料の殆ど總ての種類を潤澤に供給する。恵まれた氣候と好適な土地、技術的に有用な植物の集中、合衆國の石油湧出量の大部分の存在、サヴェート聯邦を除くヨーロッパの埋藏量の五倍を超過する巨額の石炭埋藏量、特に豊富な天然ガスの資源、鐵礦、硫黃、鹽及び多くの他の科學産業の原料、これらは總て合衆國の南部三分の一にある巨大な、然し實は最近手を觸れられたばかりの自然富源の僅か一部にすぎない。

南部は、古い地方の多くの明白な特徴以上に、如何なる工業的發展の新たなる領域を規定するか。そこにおいては土地資本の古い投資の壓迫が見られない。それはヨーロッパ、殊にイギリスにおけるよりもはるかに少い程度であるが、然しそれでも、合衆國の古い工業地方、殊にニューイングランド、ペンシルヴァニア等においては感じられ始め、その妨害的影響を及ぼしてゐる。従つて南部の工業の生産機關は近代的であり、機械の設備は最近の技術的成果に適應してゐる。だがもつと重要なのは、南東部諸州においては、最初から工業的發展が動力獲得の近代化によつて行はれたことである。動力源は殆ど總て電氣であつて、それは、大部分供給能力の大きな水力電氣事業から得られ、高壓線

によつて工業企業と結合されてゐる。

工業技術の高度の状態は、最小限の熟練労働者を以て十分である。生産における作業には、昨日までの農民、婦人及び子供が引入られるが、それは殆ど何等の豫備教育なしにも『熟練』労働者として使用せられ、南部の窮乏せる小作人及び農業労働者の収入に準じて賃銀を支拂はれる。上述の廣告文に含まれてゐる資本轉移の總ての勸告の中には、近くにある原料、安い電力、低い税金等の特徴の賣込みと共に、常に第一に特別な點、即ち、安價な、柔順な、生産能力のある、百パーセント「アメリカ人の」労働力の巨大な豫備軍の存在が示されてゐる。

南部諸州の新聞雑誌の廣告はこの點から非常に興味ある文献である。

『この地方においては労働者は全世界中で一番安い』ことが公然説明されてゐる。『近在の山間住民からの労働者の豊富な供給』を今一つの小都市は賣込んでゐる。『新たな生産方法に適した、満足すべき、ムラ氣のない、確實勤勉な男及び女。ストライキといふものは知られてゐない。労働者一人當りの生産性は何處におけるよりも大であり、それを増大せしめるに限界はない。』『労働力は過剰である、』と第三のものは説明する。『それは廉價で柔順で生産的である。それは如何なる外部的影響及び労働者運動にも關係はない。それこそは諸君が諸君の新しい工場のために求められるところの労働力である。』眞の奴隸商人が生きた商品を市場で讃めると同じく、商業會議所、『開拓局』、自治體等の書記は競つ

てかれらの商品を讃める。『吾々の地方では賃銀は一ドル半である。一週に六〇時間労働することが出来る。』『吾々の地方では十一時からの深夜労働が許されて居り、労働組合は存在しない。娘には一週一〇ドル拂へば十分である。』『賃銀費用は北部より半分少い。節約の結果は一ヤード當り一〇セントになる。』『婦人に對する賃銀率は一週六ドルから十二ドルである。十四歳乃至十六歳の子供が一〇時間労働し得る。』『吾が地方には諸君は他の南部諸州の何處よりもよい婦人労働者の豫備軍を發見されるであらう。労働力に關する状態は、資本の施設のためには異常に好都合で、それは多くの研究によつて確められてゐる。こゝでは最低賃銀が定められてゐない。』かゝる例は無限に引用することが出来る。

アメリカ資本主義は南部諸州に國內植民地を作り出し、そこで最新の機械及び電気施設と、廣く存在してゐる封建制度の殘存、半奴隸的搾取とを結合しようと努力してゐる。南部諸州は小農及び小作人の破産から、無制限に搾取される工業労働者の労働から得られる不斷の超過利潤の流出を生ずるところの特有の國內的資本輸出を承認してゐる。

資本にとつてはこれは祝福された地方である。そこにはストライキも労働組合も存在せず、共產主義の痕跡は曾つて一度も存在せず、クー・クラックス・クランが制肘なく支配し、そして總ての社會生活は、例へば一九〇五年の事件以後の反動時代におけるプリシコヴィツチの騷擾及びマルコフの騷擾も、それに比較すると無害な自由主義的なお喋りにすぎない様に思はれる程の暗黒な反動の中で疲弊してゐる。

そこへ突如として晴天の稲妻の如く勃發したのが、エリザベスタウン及びガストニアのストライキ、ニューオルレアンの鐵道労働者の闘争、鑛山労働者の行動、その他多くの小さな、分散した、だが極めて頑強な闘争及び階級闘争の前兆である。

毎月々々、毎日々々、南部の工業家の新聞及び雑誌は主張した、『南部には絶対にストライキと労働者運動とは存在し得ない、何故なら、第一に、雇傭を求めてゐる恐るべき労働者の過剰があり、第二に、南部の労働者は、輸入された北部の労働者にはよく知られてゐる階級差別については何も知らなから。』

嗚呼哀しむべし！ 幸福な、そして満足な南部の労働者についての堂々たる社説論文及び廣告の印刷インクがまだ乾かぬ中に、急角度の方向轉換をせねばならなかつた。新聞と廣告文の隙間からは今や共產主義の怪物の聲高な叫びが消え失せない。國家機關及び裁判機關、警察とファシスト團體、教會と出版物の總ての力は、此の多頭のヒドラを殺さんがために、一企業家雑誌が言つた如く、『祝福された、南部の谷々に延ばされたモスカウの手を切り落さん』がために、動員せられた。

それにも拘はらず、×××ファシスト志願者とが殘忍となればなるだけ、眞の白色テロルの浪が高まれば高まるだけ、それだけ労働者の反抗は頑強となり意識的となるであらう。

南部の工業化の最適例は、紡績産業の發展である。紡織工場の發展は既に以前から行はれてゐたが、近年において特に大規模となつた。合衆國の最も重要な最も古い綿絲産業地方たるニューイングランドは、年一年とその生産を縮少してゐる。既に現在、紡錘の數、精製綿の量及び生産額については、北部諸州は第一位を南部に譲らねばならない。一九二八年には南部諸州は全國の木綿商品の六二パーセントを供給した。一九二九年には發展はその方向に尙ほ急速に進み、最近の報告によると南部の工場はアメリカの綿の七〇パーセント以上を精製してゐる。

以前には南部の綿絲産業の障碍であつた乾燥した氣候は、通風器と空氣に濕氣を富ませるための自働機械とを廣く應用することによつて克服される。南部の新工場は今後最新の技術の進歩と歩調を合せて建設される。それは大部分、北部より三分の一も安くなるところの大電気事業の安い動力を使用する。織機には特別の電気モーターが備付けられてゐる。生産過程は一直線に整備された。異常に高度に達したのは生産の機械化と労働の強度化とである。例へば南部においては一人の織布工が極めて屢々四〇臺乃至六〇臺、及び七〇臺さへもの自働織機を用ひ、一九二九年には一工場が一人の織工によつて一五〇臺の機械を運轉しようといふ計畫をさへ行つた。設備利用の能率は北部におけるよりはるかに高い。従つて例へば、一週間における紡錘の作業時間とそれによつて精製される木綿の量は、ニューイングランドの殆ど三倍である。

南部諸州の綿糸産業の最も主要な部門は今も尙ほ大衆消費用の太糸の生産であるが、然し最近には急激に細糸の生産も増加してゐる。同じく又、製品を最後の完成品にまで仕上げるところの仕上工場及びそれに類する施設の建造も急激に發展してゐる。

産業のかゝる大規模の移動の根據は何か？ 吾々は既に廉價な電気動力といふ特徴を擧げて置いた。重要な原料、特に綿が近くにあるといふことは、疑ふべからざる意義を有する、この要素の役割は屢々過大評價されるとは云へ。ニューイングランドの工場はその綿を安い海上運送によつて得るが南部諸州の多くの紡績工場はその綿をテキサス及びオクラホマから鐵道によつて得てゐるので、距離の差は價格には極めて僅かしか影響しない。その上、綿糸産業においては原料の意義は完成品の意義と殆ど同じである。高い租税も若干の意義を有してゐる。然し乍ら紡績産業を南部へ移動せしめた主要な根據は、疑ひもなく労働力の廉價とその搾取の大きな可能性とである。

三〇〇、〇〇〇人を數ふる紡績労働者軍は、最初の最良の機會に慘めな土地を見捨てようとする用意してゐるところの半ば零落した農業者及び小作人の恐るべき豫備軍を有する。何故なら、土地はかれらに生存の可能性も懸念のない生活も保證しないのだから。最も重要な紡績工場が集中してゐるピードモンドの山間においては、山間の住民がその極めて原始的な、低い生活關係を以て工業の豫備軍となつてゐる。

この多くの、汲めど盡きせぬ白人豫備軍の背後には、ネグロ人小作人及びネグロ人農業労働者のより以上の大軍が立つてゐる。かれらを紡績工場に獲得することは尙ほ未だ極めて緩慢であるが、それでもかれらの存在は労働条件に對して強い壓迫を及ぼす。

總てこれらの事情は、資本をして未曾有の搾取を爲し得る可能性を與へる。南部の紡績労働者の賃銀は特別に高いとも言はれない。ニューイングランドの同じ職業の賃銀よりも五〇パーセント乃至六〇パーセント低い。南部の最も重要な紡績産業州の平均賃銀は一週一〇ドル乃至一三ドルである。一週五ドル乃至六ドルで働いてゐる婦人に出會すことも稀れではない。それにも拘はらず、南部における労働の生産性は北部におけるよりも低いのではなく、屢々高くさへある。吾々が既に注意した様に一人の織布工が四〇臺乃至六〇臺の織機を受持つのが普通である。南部における極めて廉價な生活に關する通俗の主張は少しも實際に適合しない。『全國工業協議會事務局』National Industrial Conference Boardの詳細な調査は、ニューイングランドの工業中心地及び南部の紡績植民地における生活費の高さに關する特殊な比較を含んでゐる。それは、多くの場合その最低の労働者家計は北部におけるよりもそれ程甚しく低くはないことを示してゐる。企業家が労働者に賃銀以上に與へてゐるといふ總てのあり得べき善行についての企業家の話は、普通廣告にすぎない。工場住宅、企業家賣店等は労働者には高すぎる。企業家が教會の建築及びあらゆる可能な福利増進施設の建設のために支出することに

對して、労働者は獨立に支出せねばならない。南部の紡績植民地における生活及び労働条件は殆ど農奴のそれに等しい。植民地は總ての世界から切離され、孤立してゐる。中心には工場が、封建的な城の様に、單調な木造の小屋の間に聳えてゐる。遠くそのあたりは總て工場主の所有である。かれは市長を指命し、警察を作り、學校を管理し、教會を建て、地方新聞を發行し、活動寫眞又は『キリスト教的青年』のクラブを支配する。工場主は、總ての家族を強制手段で固定させようと欲する。言ふまでもなく、夫の饑餓賃銀は、既に紡績労働者の妻をして自身労働せざるを得なくしてゐる。

極めて屢々、大きな家族の母は一週二ドル乃至三ドルでネグロ人の娘を子守に雇ひ、自分は毎日十二時間づゝ工場に行く。だが又同時に、工場主が労働者の家族を同じ工場の仕事に直接強制し、もし肯んじなければ、かれを仕事から従つて住居から追拂ふことも極めて屢々ある。紡績労働者の子供は何處かで仕事を探さうとしてゐるので、全家族は住居からの追放と饑餓とに脅かされる。もし例へば十八歳の娘が女事務員として又は賣子として近くの町に行けば、日曜日に兩親の家に泊ることは出來ないが、もしこの娘の過失を『宥恕し』住居から兩親を追出さないとすれば、非常な福音なのである。

總ての工場において労働時間は十一時間乃至十二時間續き、時には夜業時間がそれ以上に續く。廣い範圍に極めて僅かな賃銀の小兒労働が使用されてゐる。

植民地の全生活は驚くべき程單調で且つ孤獨である。労働者は子供の時から迷信と、自分が百パーセントの純粹のアメリカ人であるといふ意識で鍛へられる。かれらは殆ど母乳と一しよにネグロ人、外國人、カトリック教徒等に對する輕蔑の心を吸ひ込む。同時に彼等自身、今度は、半ば乞食であるところの周圍の農民から輕蔑されてゐる。

安い賃銀と長い労働時間と高い労働の生産性の結果、南部における生産費は明らかに北部におけるよりも安く、企業家は紡績産業一般の恐慌にも拘はらず、巨大な超過利潤を引出してゐる。この恐慌は、狂氣じみた産業合理化へ、組織的な労働強度の増大へ、既にそれでなくてさへ不十分な饑餓賃銀を更にもつと引下げようとの頑強な努力へと導いて行くにすぎない。

南部の工業化は紡績産業のみには限らない。吾々は既に南部諸州に石油採取量の大部分が集中されてゐることを擧げた。

近年西ヴァージニア、ケンタッキー及びアラバマにおいて石炭の産出が急激に増加したが、この躍進は、紡績産業におけると同じく、第一に廉價な、全然未組織な労働力の利用に基づいてゐる。ベンシルヴァニア及びオハイオの鑛山労働者ストライキは南部の産出額に有力な衝動を與へ、既に今では南部諸州は合衆國の全産出額の半分以上を供給してゐる。

鑛業はそれ程の發展をしなかつたが、それでもその創業は急速な増大を見せてゐる。南東部諸州

の二三の地方においては、鑛業に必要とされる適當な石炭のコークス、鐵鑛及び石灰石の豊富な層が直接近くに存在する。かゝる組合せは周知の如く全世界に極めて稀れであり、製鐵業の發展にとつて特別有利な條件を作つてゐる。特に、大部分がネグロ人労働者から成るところの安い労働力の利用を考慮するならば更にそうである。バミニングム地方(アラバマ)においては既に以前から、戰爭中に特に急激な發展をなし、三〇、〇〇〇人の労働者を使用してゐるところの生産能力のある製鐵業中心地が作られてゐる。近年においてはこの地方の鑛業の外に完成品の生産が加はつたが、それは原料から完成品に到るまでの、閉鎖された工業複合體である。二十年前にはこの地方の鑛鐵の八〇パーセントが輸出されてゐたが、今ではその八〇パーセントがそこで完全生産品に精製される。バミニングムの工場は、鐵、鋼鐵、レール、建築用鐵材、鐵線、鐵道車輛を造る。こゝには極めて廣いそして重要な生産、即ち合衆國の生産の半分以上を占める繼目なしの鐵管の生産が集中されてゐる。鑛業の發展に關聯して、機械製造、特に紡績機械砂糖及び棉花精製工場用機械、農業用機械の製造等の創業が急激に行はれてゐる。自動車製造工場網も急速に發展し、そこで車臺及び機械部分品が作られる。木材産業、陶器、機織産業の意義も増加してゐる。

極度に機械化されたのは南部諸州の煙草産業であつて、それは、例へば合衆國の卷煙草の半分以上を供給するウインストン・サーレムの如き一つの煙草都市に集中されてゐる。

南部にとつて最大の意義を有するのは化学産業の急激な発展である。

ヴァージニアのホップヴィル市において、空気が窒素をとる最初の巨大工場の建設が落成した。その工場は、總ての設備及び施設の完成後は世界最大の窒素工場となり、ドイツのロイナ工場を凌駕するであらう。従つて北アメリカ合衆國は窒素化合物の輸入を完全に停止し得るであらう。この工場は最大の意義を持つものとなるであらう。

この前の戦争以來、南部諸州は、現在では鑛産用、建築作業用等のダイナマイト及びその他の火薬を供給してゐるところの甚だ大きな生産能力のある火薬生産を有してゐる。總計すると、一年六千萬ポンドの火薬の生産能力を有する七つの大火薬工場がある。

この地方には三つの硫酸製造の大工場がある。その一は世界最大の工場であつて、テンネツシーの會社の銅工場の副産物に加工する。それには磷酸肥料の生産工場が結びつけられてゐる。テキサスは合衆國の硫黄の六〇パーセントを供給し、事實上世界市場を支配してゐる。

多數の化学工場は合衆國の廣大な石油精製産業と結びつけられてゐる。急激に發展してゐるのは綿の種子及びその他の綿利用の「屑片」から各種の化學生産品をとることである。競争者たる石油を別とすれば、これにはグリセリン、リノリウム、總ての絶縁材料、人造革及びその他の多くの生産品の製造が屬してゐる。

大電気中心地の安い動力の結果、電気化学産業、特に燐化合物の生産が急激に發展してゐる。最後に、近年は人絹の生産が急速な發展を遂げた。新しい工場は雨後の筍の如く成長し、南部諸州は明らかに合衆國におけるこれらの企業部門の最も立派な中心地となつてゐる。同時に注意すべきことは、總ての工場が原料として原綿を用ひず、北部から輸入された材料を用ひるといふことである。従つてこれらの工場が南部に設置された事情は、原料が近くに存在するといふことによるものではなくて、再び労働力の低廉によつて定められてゐるのである。

さて電力に移らう。吾々が既に挙げた様に、南部の工業的發展の最も重要な根據は電化の急激な發達である。合衆國がこの領域において達成した結果は一般に知られてゐる。南部諸州はそれに比して更に急激な發展を示してゐる。従つて例へばこの地方の十六州の電気動力の發電量は、一九二〇年に全國の發電量の二〇パーセントであつたが、一九二七年には二五パーセント、一九二八年には二七パーセントに達した。最近三年間に、合衆國に建てられた新たな發電所の半分は南部に建てられてゐる。南部の電気供給の根據は、南東部地方の山間溪流の水力エネルギーである。水力發電所は、完全に近代的な設備の火力發電所と結合されてゐる。それは確實なそして不斷の經營を保證し、同時に水力エネルギーの季節的過剰を、多くの電力を要する工場に特に利用し得る可能性を與へる。高壓線の網は既に現在では南東部の總ての重要な地方に敷かれ、閉鎖的な「強力地帯」を形成し、産業を分散せし

めて新しい工場及び製作所を労働力の尙ほ低廉な小都市及び純然たる農業地方にさへも建設し得る可能性を與へる。南部諸州の電力の供給は、一つ／＼が大てい幾つかの州を支配してゐるところの二三の有力な會社の手中に完全に握られてゐる。同時にそれは金融の糸により、並に電線により相互に結びつけられてゐる。この電力トラストは、高い程度でその地方の工業的發展の創始者であり、指導者である。その指導の下に資本は引き寄せられ、それは總ての工業的企業への直接の参加者であり、時には株式の過半数を所有する。かれらの地方官廳、政治、出版物に及ぼす勢力は更に大きい。

従つて、吾々は合衆國南部において、最近代的構造の資本主義的諸侯、即ち最近の技術的進歩を體現してゐる最近代的な動力の主人公が、險しい對立と解決し得ない矛盾との近代資本主義のこの國において、無制限の搾取と暗黒な反動との擔當者であることを、異常に明瞭に見ることが出来る。

南部の工業の見透しと特色とを正しく批判し得るためには、少くともこの地方の農業状態に關する主要特徴を知らねばならない。

南部諸州の人口の半分以上は今も尙ほ農民と農業労働者から成つてゐる。

南部のネグロ人の壓倒的多數は何等かの方法で農業と結びついてゐる。

南部諸州の農業生産の根柢を形成するものは、技術的耕作、第一に綿と煙草とである。農業はかくの如く甚だ高い程度で賣行きのよい商品を提供するが、他面それは工業及び輸出の側からの需要に全

然依存して居り、そして正しくこの方面において發展の展望が暗いのである。合衆國の木綿産業は緩慢な近年においては出口のない恐慌を経験してゐる。狂熱的な讚美者からさへ、それは繁榮の太陽の『黒點』であると考えられてゐる。南部における紡績生産の急速な擴大は、完全に北部の産業を犠牲として生じたものであつて、國內の綿の一般的消費を増加せしめることは出来ない。一方においては紡績産業の世界恐慌が輸出に影響を及ぼし、他方においては米綿の獨占的地位が年を逐うて徐々に、だが確實にそして不斷に、アジア及びアフリカの農場の發達によつて覆へされて行く。總てこれらの結果、合衆國における一般的農業恐慌は、特別な尖鋭さと強さを以て南部諸州にも到來してゐる。その意義とその影響とは、南部諸州の農業人口の階級層の特殊性によつて更に増大される。

南部における本來の農業地方においては、小作人が農業人口の六〇パーセント以上であり、棉花地方においては全農民の四分の三に達する。殆ど總てのネグロ人農業人口は小作人から成つてゐる。その可成りの部分は、土地所有者に收穫の三分の一乃至半分を現物で納入する半小作人である。この所謂『クローパー』（作物植付人）の状態は殆ど賃銀労働者と區別出来ない。土地、機械、種子、家畜、一言にして言へば總ての生産手段、並に家屋、時には家具等までも、總て地主の所有に屬する。土地所有者はその小作人の全經營を指導する。かれは屢々高利で金を貸し、食料その他の必需品を『前貸』する。他の場合にはそれを町の商人が行ふが、商人は又銀行に依存し、結局收入の獅子の分前はそこ

へ行くのである。

クロツパーと賃銀労働者との最大の區別は、前者が現金の賃銀の代りに收穫の一部を受取るといふことである。かれはそれを、しかも屢々非常な損をして土地所有者自身に賣らねばならない。極度の限界にまで達してゐる農業の専門化、豊作の場合に大量破産を惹起するところの比類のない綿價の動搖、綿栽培の損害、總てこれらはその全重量を以て何よりも先づ小作人の肩にのしかゝつてゐる。棉花地方における小作家族一戸當りの平均總收益は、官廳統計によると一年三〇〇ドル乃至四〇〇ドルである。南東部諸州の山間地方においては農民の収入はそれよりも高くない。既に吾々が注意して置いた様に、南部諸州における小作人の數は益々増加する。小農は多額の債務によつて破産する。近年においては廣い土地が事實上、銀行、保險會社等の手に渡り、同時にその可なりの部分は全然耕作せられないのである。

合衆國南部の工業化 (二)

(一九三〇年二月)

南部の工業化は普通アメリカのブルジョア經濟學者から、合衆國の經濟力の増加の、矛盾の緩和の、恐慌の漸次的除去の、資本主義的有機體の健康状態及び強固さの最適例として擧げられてゐる。この判斷は、南部の工業家、經濟學者、出版物等の廣告的報導の中では不合理となる程誇張されてゐる。

南部の競争に脅威される北部の産業部門と何等かの繋がりを持つ集團は、これに反して、著しい懷疑的氣分を示してゐる。かれらは、個々の場合には南部の工場における『許し難き』労働條件を指摘し、社會立法を希望する等のことをさへ敢てする。だが總てこれらの自由主義的示威も、南部におけるアメリカ資本主義の『凱旋行列』を、資本主義の總ての禍根を絶つところの新たな『産業革命』として規定することを妨げない。

ラヴストーン一派は結局のところ全然この見解に味方してゐる。合衆國の政治的及び經濟的狀態に關するテーゼ、例へばギットロウ、ラヴストーン及びペツパーによつてアメリカ共産黨中央委員會總會に提出され、今年の初めに採用されたテーゼは、南部の工業化をアメリカ資本主義の安定を強化する最大の原因として規定してゐる。

『數年前から行はれてはゐたが最近に到つて未曾有の速度で促進された南部の産業革命、即ち南部諸州の異常に急激な工業化は、産業恐慌を阻止した第一のそして最大の原因である。新たなアメリカのルール地方を創設したのと等しい意義を有する南部の産業革命は、次の三つの方向に影響を及ぼした。第一、それは合衆國の北部の資本主義的中心からの資本輸出の出口を創り出した。第二、それは北東部のトラストの工業生産物のために四千萬の人口を有する大規模の市場を開設した。第三、廉價な労働力と水力動力とを基礎にして、世界市場における合衆國の競争能力を増大したところの極めて近代的な大工業が形成された。』

従つてラヴストーンとベツパーは、南部の工業化を、恐慌を無限の彼方に押しやり、内部的矛盾を緩和し、國際的膨脹の凱旋行列を促進せしめるところのアメリカ資本主義の最も重要な『安全弁』として規定しようと努力した。

だがそれ程大きな確實性を以て提出されたこのテーゼも、現實に面するや否や直ちに吹き飛ばされてしまつた。

さて、南部の工業化の結果としての市場の擴大についての現實の見透しは如何であるか？

先づ必需品の生産を見よう。南部諸國の消費者大衆の壓倒的多數は、大部分小作人から成るところの農業人口である。

既に吾々が見て來た様に、多くの豫算統計は、かれらの毎年の平均収入は三〇〇ドル乃至四〇〇ドルであつて、大抵地主と小作人との間に、均等に分配されるといふことを示してゐる。後者の収入の可なりの部分は必需品（食料、衣服等）の調達に向けられるが、それは地主又は商人から普通より二〇パーセントも高い値段で、收穫まで信用で買入れるのである。この信用は平均少くとも一年六〇パーセントの利子になる。従つて現金で品物を買ふのにはせい／＼のところ、毎年平均一五〇ドル乃至二〇〇ドルしか残らない。二三の統計の結果に従へば、山間地方の白人小作人の純収入は、一人一日當り一〇セント以下である。

ネグロ人小作人の壓倒的多數の収入はもつと少い。収入の可なりの部分は食料に向けられ、他の總ての支出は、必然大量需要が起り得ない程の最低限に引下げられる。

そしてもし植民地において國內市場が、自然經濟又は半自然經濟が商品流通に引込まれたことによつて、深刻な破産及び廣汎な貧窮化を來してゐるとすれば、合衆國南部においても同様な發展は問題となり得ない。封建制度及び奴隸制度の殘存を別にすれば、南部諸州の農業の商品經濟への轉換は遙か以前から行はれ、北部におけるよりも低いどころか、却て高い程度に達してゐる。これは全部が市場に持出されるところの、そして南部の農業の基礎をなしてゐるところの専門的な技術的耕作から明らかにされる。農業恐慌のより以上の發展及び急速に發達しつゝある農業の機械化の過程は、疑ふ餘地

もなく南部諸州の農業から數百萬の人間を追出すであらう。特に、既に利用され始めてゐる機械的手段を以てする綿の收穫法は、ネグロ人小作人の大量放逐、又は合衆國でよく言はれてゐる様に、卸賣放逐を以て脅威してゐる。だがそれは大衆の購買力を増加せずして、益々低減せしめるであらう。

同時に小作人の収入及び生活水準は、農業と極めて密接に結合されてゐる南部の労働者人口の収入と消費とを規定する。極めて屢々紡績労働者の賃銀は、何等かの程度において農業の不採算を少しでも潤ぼすところの、農業に従事する家族の餘剰収入である。二三の豫算統計の結果によると、北カロライナの小作人は、二二五ドル乃至二五〇ドルの金額の一家族當りの年平均収入の中、半分以上を農地以外の労働（道路建設、家屋建築等）から得てゐる。

同時に、南部諸州の工業生産が全生産の五〇パーセント以上に達する一方において、南部の増加し行く人口の僅か一八パーセントだけが工業に従事してゐることを忘れてはならない。こゝに、南部諸州の工業の高度の機械化、發電所の發達等が、明らかに表現されてゐる。工業の不斷の繼續的な發展にも拘はらず、南部の労働人口は極めて僅かしか増加しない。（一九二三年から一九二七年までに南部諸州全體における工業従事者の數は僅か六〇、〇〇〇人しか増加しなかつた。）

南部の工業労働者の平均年賃銀は一〇〇ドルよりはるか以下である。

紡績労働者の労働賃銀は一年五八〇ドル乃至六七〇ドルで、しかも營業調査の結果によれば、この

「平均賃銀」の中に事務員、支配人等の給料も含まれてゐる。工業家は、このアメリカ的觀念からも貧弱な賃銀を、尙ほ更に引下げるために、その力に適ふ限りのあらゆることを行ふ。

この穴だらけの報告からさへも、突然な『四千萬の住民から成る驚くべき大規模の市場の開設』についてのラヴストーンの總ての言葉は、空虚な説教師的なお喋りであることが知られる。

「合衆國北部の資本主義的中心からの資本輸出」の大部分を吸収するところの工業的消費もそれ程よくはない。南部における工業の發達は、疑ひもなく暫くの間工業機械の販賣市場を擴大した。しかし乍ら、もし問題を全體としてのアメリカ資本主義といふ範圍で見るとすれば、吾々は一瞬間と雖も、南部諸州の工業の繁榮は、殆ど全部、北部の諸州における古い工業のこれに應じた後退に基づいてゐるといふことを忘れてはならない。南部における經營の増加は、短期間に、それだけでなくも既に『發展し過ぎた』生産機關のより以上の發展となり、近代アメリカ資本主義の最大の矛盾を緩和するどころかむしろそれを急激に増大せしめる。

南部の工業化の結果、世界市場における合衆國の競争力が増大したといふ主張は、疑はしいといふより以上である。南部の基礎的工業はその生産品を殆ど國外に輸出しない紡績産業であり、そしてそれは、この領域における現在の國際的恐慌に際して、しかも高率の關稅壁を以て保護されてゐる外國市場の征服に對しては全く見透しを持つてゐる。

南部の他の總ての生産領域において、輸出の部分は同じく極めて少く、絶對量の本質的增加の場合においてさへも、それ以上に急速に増大する過剰生産の危険を緩和することは全く不十分である。

従つて、南部の工業化において『アメリカ資本主義の勝利の時代』の到來を見るところのラヴストーン一派の主張にも拘はらず、同志ブハーリンの見解にも拘はらず、南部の工業的發展は、言ふまでもなく、外的矛盾の尖鋭化と不可分に結合されてゐるところのアメリカ資本主義の内的矛盾を緩和せず、むしろそれを尖鋭化する。この南部の工業化の經濟的矛盾は、合衆國の最も重要な問題、即ち特に詳細な考察を必要とするところのネグロ人問題と共に緊密に編込まれてゐる。

最後にそれは、南部の最近のストライキにおいてあれ程の明白さを以て現はされたところの、そして合衆國の労働者運動における新たな段階を形成するところの階級對立の極度の尖鋭化を爲し遂げる。

南部諸州において突然に發生しそして不斷に成長し行く階級闘争の歴史の中、最も内容豊富な一面は、大きな國際的注目を喚起したガストニアのストライキである。吾々は、同志ビル・デュンヌの小冊子の中に詳細にそして力強く叙述されてゐるガストニア事件の歴史の最も重要な特色を想ひ起さうと思ふ。既に一九二九年四月、北カロライナの典型的都市、近隣の總ての谷々には幾十の「模範植民地」が散在してゐるところのガストニアの最大の紡績工場において、二五〇〇人の紡績労働者のストライ

キが勃發した。

それは資本主義的合理化の堪へ難き壓迫、總ての力を吸ひ盡さうとする狂氣じみた労働強度の増大——特に、企業家が尙ほあらゆる手段を以て引下げようとしてゐる紡績労働者の貧弱な賃銀——に對するストライキであつた。かれらの極度の貧困にも拘はらず、罷業團は左翼の『全國紡績労働者組合』の指導の下に五週間を維持した。

五月には×××紡績業者に備はれた武装したロウデイ團とが罷業團員をその住宅から追拂つた。それは總て合衆國においては通常の現象であり、階級闘争においては通常の實踐である。この經驗は、南部の『百パーセント』のアメリカ人労働者にとつて新しいだけであつた。労働者の家財と家具は破壊されて泥の中に投げられた。病氣の老人及び重病の子供さへも否應なしにベッドから引摺り出された。紡績労働者はそれでも尙ほ、黙つて齒を嚙んで×××何の抵抗をもしなかつた。かれらは國際労働者救済會がかれらのために設置したテントに移り、工場の門に平穩な見張所を設け乍らストライキを續行した。

一月後に闘争は更に尖鋭化した。×××フランスト掠奪團は組合事務所と追放者の避難したテントとへ襲撃を企てた。

××××××に對して、この度は紡績労働者は、アメリカ労働聯合會の『左翼』改良主義者の勸告す

た。だが總てのかれらの試みは水泡に歸する。

南部諸州は、眞に資本のパラダイスであつた。それは——搾取と労働強度の増大と限度を知らない若い機械化された産業を有して居り、北部の諸都市に氾濫したヨーロッパ南部諸國の窮民の賃銀水準にも曾つて達したことの無い賃銀を有して居り、そして如何なる中間物もなく直接工業家の手中に政治權力を握つてゐたのであつた。だが嗚呼哀しむべし、パラダイスの日は過ぎ去つてもはや再び歸つて來ない。今日までの鬭争から隔離されて居り、企業家の柔順な駄獸として奉仕してゐたところの、世界の労働者階級の最後の部分は覺醒して、あらゆる時代遅れ、あらゆる偏見にも拘はらず、資本主義的教育とそれによる分裂にも拘はらず、それは資本に對する國際的鬭争の陣列にはいり込んだ。合衆國南部においても亦、階級と階級とが鬭争する！

一九二八年——一九二九年の北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態 (一)

(この論文はアメリカの取引所恐慌の以前に書かれた)

(一九三〇年一月)

合衆國の經濟的状態

北アメリカ合衆國は、巨大な自然の富源を有し、巨歩を以て技術的進歩の道を歩み、貴重な科學の成果及び總ての可能な動力、即ち電力、水力、石炭等から人間労働に到るまでを生産の目的のために最大限に利用してゐるところの世界の最も有力な工業國である。

戦争後北アメリカ合衆國は世界經濟において益々大きな役割を演じ始めた。今日、石炭の世界埋藏量の約五〇パーセント、石油採掘量の約七〇パーセントはその所有に屬し、發電量は他の總ての諸國中第一位に位し、同時に水力電氣の量においてもそうである。住民一人當り及び工業労働者一人當りの機械馬力の數も、同じく總ての他の諸國をはるかに凌駕してゐる。世界生産に對する合衆國の參加部分は、一九二五—二六年に作られた(化學産業を除く、その數字は一九二四年である)次の統計から明らかになる。

鐵	鋼鐵	機械製造	自動車産業	ゴム産業	木材産業	化學産業
五〇・五%	五二・四%	五七・六%	八〇%以上	六〇%	二七%	四七%

現世紀の第一四半期における合衆國の經濟的發展は次の數字から知ることが出来る。(『マンズリー・レーバー・レビュー』Monthly Labour Review 一九二七年十月)

一九二五年の生産量		價 値 (百萬ドル)	
(一八九九年—二〇〇〇)		一八九九年	一九二五年
農 業	一四五	三五〇〇	一二四〇〇
鑛 業	三四八	六〇〇	四三〇〇
加工業	二七八	四八三〇	二六七七五
鐵道運輸	二九三	一三〇〇	五六〇三
平均	二四四	合計	一〇二三〇
			四九〇七七

然るにアメリカの産業に従事する労働者の数は近年においては不斷の減退的傾向を示してゐるが、しかもそれは生産の機械化の増大と大規模に採用された合理化の結果である。

異常に増大したのは労働の生産性である。次の小表(『アメリカ労働年鑑』(American Labour Year Book 一九一九年版)は、一九一九—二〇〇年—二〇〇として一九二六—二七年における従業員數、生産及び労働の生産性の發展についての概念を與へる。

	従業労働者數	生 産 量	労働者一人當りの作業(註)
農 業	九三・〇	一一八・〇	一二七・〇
鑛 業	一〇〇・〇	一三八・〇	一三八・〇
加工業	九一・〇	一三〇・五	一四三・〇
鐵道運輸	九一・五	一〇二・五	一一二・〇
平均	九二・三	一二四・〇	一三四・五

(註)労働の生産性の特に強大な増大を見たのは自動車産業及びそれに關聯せるゴム環の生産である。一九一四年—一〇〇とすれば、労働の生産性の一般的指數は一九二五年に一五九となり、自動車製造業においては二七二、ゴム環の生産においては三一一となつてゐる。

一九二三—一九二八年の五年間に従業労働者數は一四・パーセント減少し、完成品の生産量は一一・パーセント増加した。それは次表の通りである。(『景氣觀測四半年報』一九二八年第四冊)

	従業員指數	工業生産指數
一九二三年	一〇〇・〇	一〇〇
一九二六年	九一・六	一〇八
北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(一)		一二七

一九二七年 八八・五 一一八
一九二八年 八六・二 一一一
従つて従業労働者の減少を伴ふ生産の擴張が行はれ、労働者の益々多くの部分が近代的生産にとつて「餘剰」となる。

移民の立法的制限にも拘はらず、失業は増加してゐるが、それは景氣の變動に伴ふ偶然的な失業ではなくて、資本主義的合理化の發展によつて決定された純然たる構成的性質を帯びる失業である。

労働賃銀

一、名目賃銀

労働賃銀に關する報告の解決に移る前に、吾々は、アメリカ労働者の労働賃銀の高さの廣汎な分化について論及しなければならない。高い給料の労働者階級の上層と並んで、貧しい生活を送つてゐる恐るべき多数のプロレタリアが存在する。然るに合衆國の労働貴族の労働賃銀の高い水準が皮相の觀察者には極めて強い印象を與へるので、彼は、賃銀の安いことではその正反對の極に立つてゐる不熟練労働者、婦人、子供及びネグロ人の大軍を忘れてしまふのである。かうしてアメリカ労働者の幸福、即ち快樂に取圍まれて廣い住宅に生活し、自分の自動車を持つてゐるなど、稱せられるところの誤まつた概念も出て來るのである。

以下、吾々は労働者の各種のグループ及び範疇の給料において、北アメリカ合衆國に獨特な區別を見よう。當分吾々は平均支拂額だけを考へよう。

一九二七年の營業調査によると、全國及び全産業部門の平均賃銀は一年一三〇〇ドル以下で、それは一労働日當り約四・二五ドルになる。この額は一九二五年の額を二〇ドル突破してゐる。同じ營業調査は、二年間に工業プロレタリアが三〇、〇〇〇人減少したことを示してゐる。

一九二九年の『アメリカ労働年鑑』の説明してゐる如く、一九二七―二八年の間に名目賃銀は僅かばかり増加した。四〇の都市の二〇の産業部門に亘つて労働組合によつて計算された一九二八年の時賃銀は、一九二五年以來一般的増加を示してゐる。二三の場合において賃銀に關する労働組合費の段階は最近三年間に變更されず、そして僅かに特殊の場合に減少を見ることが出来るにすぎない。然し乍ら労働組合費を利用するならば、合衆國の全労働者大衆の中、僅かに約一〇パーセントが組合に組織されてゐるにすぎないことを忘れてはならない。

個々の産業部門における賃銀

官廳の發表によれば、一九二八年の平均時間収入及び週収入(全労働週に對する)は次の如くなる。

北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(一)

〔マンズリー・レーバー・レヴュー〕一九二八年三月、四月、十月、十一月、一九二九年一月及び五月)

産業部門	時間賃銀(セント)	週賃銀(ドル)	一週労働時間
自動車産業	七五・〇五	三七・〇五	四九・四
鑄物業(一九二七)	六二・四	三一・八九	五一・一
機械製造業(一九二七)	六二・五	三一・三一	五〇・一
製材業	三七・一	二一・〇	五六・六
綿糸産業	三二・四	一七・三〇	五三・四
羊毛産業	五一・四	二五・三四	四九・三
既成服仕立業	七三・一	三二・一六	四四・〇
製靴業	五三・〇	二六・〇二	四九・一
屠畜業	五〇・一	二四・七〇	四九・三

さて吾々は一九二九年に移らう。週賃銀の全額に關する、及び五四の重要なアメリカの産業部門に從業する労働者及び事務員の全數——從業員の全數の中には労働者の外に事務員も合算されてゐる——に關する労働省の發表に基づき〔マンズリー・レーバー・レヴュー〕一九二九年五月、六月及び九月、吾々は一九二九年一月、四月及び七月の平均週收入を次の様に計算する。

平均週賃銀(ドル)

産業部門	一月	四月	七月
食料品産業	二五・六六	二五・九六	二六・二三
紡績産業	一九・二九	一九・八〇	一九・〇八
鐵及び銅鐵	三〇・〇七	三一・九四	三〇・〇九
木材産業	二〇・九九	二二・二五	二一・八一
皮革産業	二二・〇九	二一・七八	二二・二〇
製紙産業	三三・二五	三三・七二	三二・八八
化學産業	二九・一二	二八・八三	三〇・二二
硅酸鹽産業	二四・五三	二六・二〇	二四・九四
金屬産業	二六・八一	二八・一五	二六・二七
煙草産業	一五・九九	一六・五九	一六・七九
自動車その他陸上運輸	二九・七一	三四・八八	二九・三七
北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(一)			一三一

その他産業部門	一九二六年	一九二九年
全産業部門	二二六・二六	二二八・四〇

一九二八年の同月に比較して、全産業部門の平均賃銀は、一九二九年の一月において一・五パーセント、四月において五・〇パーセント、七月において一・一パーセント増加した。それに反して一九二八年十二月（二七・二二ドル）以後一九二九年七月までに二・八パーセント減少した。

アメリカ労働統計局が同じく五四の重要産業部門の賃銀表に基づいて計算した次の指数は、一九二二―二九年の期間における（一九二六年＝一〇〇）完成品工業における従業員数の發展及び賃銀額の大きさに關する概念を與へる。（『マンズリー・レーバー・レビュー』一九二九年九月より引用）

	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三七年	一九三八年	一九三九年
従業員指数	一〇八・八	九六・二	九三・二	一〇〇・〇	九六・四	九三・八	九六・二
支拂賃銀指数	一〇四・三	九四・六	九七・七	一〇〇・〇	九六・五	九四・五	九六・二

賃銀指数を従業員指数で割ると、一九二二―二九年の期間における一人の労働者の平均週賃銀の指数の運動に關する次の如き數字を得る。

一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年
一〇四・三	一〇三・八	一〇一・五	一〇〇・〇	九九・九	九九・二	一〇〇・八	一〇〇・〇

従つて、吾々は一九二三年以後の平均賃銀の上述の低下と一九二六年以後の殆ど完全な安定とを見るのである。

二、現實賃銀

八の州の労働局の参加によつて出來た労働局の發表によると、工業労働者の現實收入は一九一四年から一九二七年までに三五パーセント以上増加した。（一九二〇年から一九二二年までに一七・六パーセント）全國の勞役者（これには農業労働者、鐵道従業員、事務員及び教師も屬する）の現實收入は、合計して、一九二六年において一九二〇年から一九二二年までの水準を一七パーセント、一九一三年の水準を二四・五パーセント突破した。

生活費の指数は、一九二七年及び一九二八年において幾らか減少した。一九一三年に比較すれば七一・三パーセントの増加であり、一九二〇年に比較すれば四五・二パーセントの減少である。
 一八九九年を基礎とすれば、一九一四年頃において殆ど總ての産業部門における現實賃銀は低下しそれから漸次に増加し始めてゐるが、その際以前現實賃銀の水準が比較的低かつた産業部門における増加が著しい。然し乍ら總てこれらの報告は、今後吾々が示す通りに、アメリカ労働者の賃銀の眞實の状態を判斷するためには極めて不十分である。

合衆國の勞役者の最低生活費と收入との不均衡

九二の都市と四二の州における一二、〇九六の勞働者及び事務員の家族を包含するところの、一九一一年における勞働者家計調査の結果は、官廳の生活費指數の計算を基礎としてゐる。

この調査の結果に基づき、五人の家族の最低生活費、所謂『健康と禮儀の豫算』が規定せられた。勞働者自身が承認してゐる如く、それ以下では一家族は生理的又は道德的頽廢を冒さずにはやつて行けない最低限であるところのこの最低豫算は、同じ勞働省の見解に従つても、眞實アメリカ人の生計に入れられねばならないところの多くの支出項目を逸してゐる。勞働局 (Labour Bureau) はその一二三を取下げて、幾分辛棒出来る生活を送り得るところの所謂熟練勞働者豫算 (skilled workers budget) を作成した。然るに現實には、熟練勞働者の大多數は『熟練勞働者家計』に示されてゐる額よりも收入が少いのみではなく、『健康と禮儀の最低限』によつて期待されてゐる額よりさへも著しく少いのである。それについて勞働局の報告は、一九二八年十二月においてこの最低限を二〇六四・九四ドル (シエネクデーデイにおいて) 乃至二五五六・九五ドル (サンフランシスコにおいて) と規定してゐるが、それは一週三九・七ドル乃至四九・一六ドルになる。同時に『熟練勞働者豫算』は、二五二七・四二ドル (リーディングにおいて) 乃至三三八四・八六ドル (ニューヨークにおいて) となる。

次の數字は、一八九九年乃至一九二七年の期間におけるアメリカ勞働者の收入と最低生活費との關係を示すものである。

最低生活費の百分比におけるアメリカ勞働者の平均收入

一八九九年	四五パーセント	一九〇四年	四五パーセント
一九〇九年	四二パーセント	一九一四年	四一パーセント
一九一九年	四五パーセント	一九二〇年	四八パーセント
一九二一年	四九パーセント	一九二二年	五〇パーセント
一九二三年	五四パーセント	一九二四年	五五パーセント
一九二五年	五四パーセント	一九二六年	五五パーセント
一九二七年	五五パーセント		

一九二八年には、もし吾々が上述の二三の産業部門における收入に關する報告を最低生活費額、即ち一週四四・七九ドルに比較するならば、この兩者が如何に相互に乖離してゐるかを知ることが出来るであらう。

一九二八年における平均収入及び最低生活費に對する百分比

産業部門	週平均収入	最低生活費(週四四、七 九ドル)に對する百分比
製材業	一一・〇〇	四七
綿糸産業	一七・三〇	三九
羊毛産業	二五・三四	五六
既成服仕立業	三二・一六	七二
製靴業	一六・〇二	五八
自動車産業	三七・〇五	八二

官廳の最低生活費について語るならば、それは一九一八—一九一九年の豫算調査に基づいて規定されたものであり、一方急激な經濟的發展の十年間に既婚労働者の慾望は、多くの點において變化してゐるが、官廳の最低生活費は全然それを考慮してゐないのだから、この報告は既に時代遅れになつてゐるのだといふことを記憶して置かねばならない。従つて例へば近代的大都市の人口過剰と家賃の騰貴とは労働者に貸間で生活することを餘儀なくせしめ、この仕事場所から遠く離れてゐることが、電話及び自家用自動車の購入を條件づける。それは十年乃至十五年前の贅澤品から、變化した生活關係

の下ではそれなしでは全然やつて行けないものに轉化してしまつた。労働者に神経系の過度の緊張を求め、極度の疲勞を來すところのアメリカの生産過程の狂氣じみたテンポは、食事及び休養の必要を増大し、一方益々甚しくなつて行く労働の單調さは保養の必要を呼起す。同じく又、成長し行く世代によりよき教養を與へんとすることに對する壓迫が増大する。一言にして言へば、一九一八—一九一九年の最低豫算に豫見されなかつた新たな支出が出て來るのである。

もし吾々が吾々自身の持つてゐる事實から出發するならば、吾々は、収入の高さと労働者の家族の近代的要求に適應する最低生活費との間の差は、上述の數字から知られるよりもつと著しいものであるといふ主張を、十分の根據を以て辯護することが出来る。近代的關係の下においては、官廳統計が根據としてゐるところの支出豫算の各項目の間の關係も誤つてゐる。例へば家賃をとつて見よう。官廳の發表によると、労働者はニューヨークにおいてその住宅のために収入の一四・三パーセントを使用してゐる。然し乍ら實際には一九二五年において二〇——二五パーセントをこれに當てた。その上生活費の官廳指數は、一九二五年までの住宅の騰貴を五七パーセントとしてゐるが、ニューヨーク聯邦準備銀行の計算に従つてさへ、一九二五年における廉い住宅が戦争前よりも九一パーセント騰貴し、たゞ高い、中層の労働者家族のはいり得ない住宅のみが六三・三パーセント騰貴してゐる。それは一室當り一五ドル乃至三〇ドルになる。(マンダリアン『北アメリカ合衆國における労働者階級の狀態』一

九二三年の調査においては、五五〇の調査家族がニューヨークの住宅に對して一九一四年よりも平均一〇一パーセント多く支拂つてゐる。然るに一九二三年における官廳指數は僅かに六一パーセントの騰貴を報告してゐるにすぎない。(マンダリアンによる)

アメリカのプロレタリアートの生活水準を引下げる一つの本質的要素は、社會保險の缺除であることを指摘せねばならない。アメリカの諸事情の下においてそれは全く特別に感ぜられる。何となれば、過度に増大せられた労働強度は身體の急激な消耗を來し、従つてアメリカの労働者は高度に職業病及び災害に曝されて居り、早くその労働能力を害し、多くの場合四〇歳の年には殆ど仕事を見つけない會を持たない程であるから。吾々は合理化の結果としての失業をも想起せねばならない。總てこれらの結果は、保險がなければ、癱疾、老年、失業等の場合に、生産から追出された労働者は働いてゐる家族の重荷となり、そしてその生活水準を引下げるといふことになる。その上労働者は、病氣の場合その手當のために支拂ひをし、又民間の保險會社に保險させねばならない。何故なら、もしそうしなければ、全然労働不能の場合には餓死しなければならぬのだから。

最近(『マンズリー・レーバー・レビュー』一九二九年八月)バルチモア、ボストン、ニューヨークシカゴ及びニューヨーク州シカゴにおける國家使用人の五〇六家族の豫算調査の結果が公表された。この調査は一九二七年七月三十日から一九二八年六月三十日までに行はれ、高々二五〇〇ドルの年俸しか

有しない低給料の使用人の範疇を包含してゐる。それによつて、かゝる家族を養ふためには平均、収入額の二八——三六パーセント、衣服に一——二パーセント、住宅に一六——二二パーセントを支出してゐることが明らかにされた。無償の醫術的手当のないことは、一年一家族當り一一二、九九ドルの額に達する支出(一五〇〇ドル以下の収入の家族における三九、一八ドルから、三三〇〇ドル以上の家族における一九五、〇六ドルに到る)を規定する。

調査が示す如く、受取る俸給はかゝる貧しい生活をするだけにさへ全然不足であつて、既婚の使用人の一五——三〇パーセントはどうかしてそれを償ひ得んがために、副収入を求めてゐるといふことは注意すべきである。その中一五——三二パーセントは妻であるが、屢々子供も副収入を求めるところを餘儀なくされる。二三の家族は貸間又は下宿からの収入を取り、又他の家族はその親戚又は知人から扶助されてゐる。

調査は、既婚使用人の九五パーセントは受取る俸給以上の生活をして居り、一方多くの家族においては、支出が、妻と子供の収入並に貸間、下宿等からの収入を合はしての全収入よりも多いといふことを示してゐる。一九二八年一月一日以後俸給が増加されてから後も、八六パーセントは矢張り副収入を求めねばならない。

不足額の大きさは一家族當り平均次の如くなる。(單位ドル)

北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(一)

家族収入を超過する支出

バルチモア	ポストン	シカゴ	ニューヨーク	ニューオルレアン
九八・〇六	八六・八一	一八二・五四	一一五・〇九	八五・九八
一九二八年一月一日以前の使用人としての俸給を超過する支出	六三八・〇七	六八八・六九	一〇四九・四五	七八六・三八
一九二八年一月一日以後の俸給を超過する支出	五四九・〇五	五五六・〇	八五一・三五	六五四・六九
				四四八・九一

多くの家族は、かれらが負債の重荷に押しひしがれてゐて、文化的慰安（音楽會、講演會等）を許されないのでみならず、子供の齒の治療、眼、鼻及び咽喉の手術の如き必要なものをさへ断念しなければならぬことを嘆いてゐる。

相異なる俸給の使用人の家族において、この數字は次の様に異なる。（バルチモアとニューヨークとを例にとらう。）

俸給別使用人家族

二〇〇—以下ドル	二〇〇—	一五〇—	一八〇—	二〇〇—	二四〇—	二五〇—	平均
二五〇ドル	二〇〇ドル	一八〇ドル	二〇〇ドル	二四〇ドル	二五〇ドル		

1、バルチモア

家族収入	支出より大(+)又は小(-)	(-) 一四三・元	(-) 一四三・元	(+) 六九・〇〇	(-) 一三三・〇一	(+) 二〇・〇七	(-) 一〇六・三五	(-) 九八・〇六
------	----------------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	------------	-----------

俸給

支出より大(+)又は小(-)	(-) 一五〇七・三三	(-) 一四五五・七〇	(-) 一六六・九六	(-) 一七三・六六	(-) 一七八・三五	(-) 一四三・二一	(-) 一六八・〇七
一九二八年一月一日以後の俸給	支出より大又は小	(-) 一四九・三三	(-) 一三〇・七〇	(-) 一五四・八五	(-) 一五九・〇六	(-) 一七〇・五三	(-) 一五九・〇五

2、ニューヨーク

家族収入	支出より大(+)又は小(-)	(+) 九・三二	(-) 一六五・二六	(-) 一八八・六四	(-) 一〇九・三三	(-) 一三・四〇	(-) 一九〇・七二	(-) 一二五・〇九
------	----------------	----------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------

俸給

支出より大(+)又は小(-)	(-) 一九二六・七五	(-) 一六九〇・四〇	(-) 一八九五・五三	(-) 一七四・六三	(-) 一五九・三五	(-) 一九三九・一三	(-) 一七六・三六	
一九二八年一月一日以後の俸給	支出より又は大小	(-) 一八七・七五	(-) 一五三・六〇	(-) 一七七・三二	(-) 一六四・七五	(-) 一四九・六八	(-) 一七五・〇三	(-) 一六五・六九

使用人の家計及び生活費に関する報告は、アメリカの生活が如何に高きか、勞役者の収入が最

も貧しい生活にさへ如何に不足であるかといふことの證明となる。

賃銀の分化

吾々は既に、合衆國においては各種の労働者範疇及び労働者グループの給料の間には大きな距離があることを述べて置いた。一九二八年の始めに、週平均収入二五——三〇ドルの三千一百万の賃銀労働者の中、約三百萬(約一〇パーセント)は、全労働週間に四二ドル乃至六〇ドル、及び七五ドルさへも収入を得たが、勿論その場合、全部のものが全労働週間を働いたわけではない。(『レーバー・エージ』——「労働時代」——一九二八年二月)このアメリカ労働階級の上層に属するのは、高い賃銀を取る組織労働者(建築労働者、衣服労働者、印刷工、機關手、鐵道車掌等)である。同様の特權的地位にあるものに未組織熟練労働者の一部(鋼鐵産業の八分の一、自動車産業の少數、鑛業及び既成服仕立業における組合賃銀率に準じて賃銀を受ける未組織者の可なりの部分、速記者及び簿記係の少數及び個人的勤務をしてゐる使用人の大多數)がある。

だが労働貴族の高い給料と共に、吾々は鐵道線路の日傭の一週一七ドル、羊毛産業における一七・四八ドル、靴下職人——その中約一〇パーセントは組合員であつて、(北部において)少くとも一週五〇ドル取る——の大多數の一五ドル乃至二四ドルといふ賃銀率を見る。絹工場の労働者は平均ニユーヨークにおいて二二・一二ドル、ペンシルヴァニアにおいて一七・四〇ドルを収入として得る。平均賃銀を一年一二八〇ドルと規定した一九二五年の營業調査は、一、七五〇、〇〇〇人の労働者、即ち工場労働者の全數の約二〇パーセントは一年一〇〇〇ドル以下しか取らないことを擧げてゐるが、それは全労働週に對して一九・二三ドルとなる。この悪い賃銀の産業部門に属するのは、羊毛産業と編物業、製材業、(約百万人の労働者)煙草産業、食料品産業の一部、衣服産業の未組織の部分、テレビン、木箱袋、籠、箒、造花、その他多くの小さな品物の生産である。

鐵道従業員の二三パーセントは、一九二六年に一年一〇〇〇ドル以下、即ち一週一九・二三ドル以下、その三〇パーセントは一二〇〇ドル以下、即ち一週二三・〇七ドルの収入であつた。

炭鑛業の労働者においてはその収入を強く引下げるところの短時間労働が支配してゐる。従つて例へば、ストライキの一つも無かつた一九二四年において、坑夫は一年一七一十日しか働かなかつたので平均の工場労働者よりも平均一五〇ドル少かつた。

事務所労働者の恐るべき多數も同じく悪い給料の範疇に属する。従つて一九二八年の始めにおいて婦人事務所使用人の八〇パーセント及び男子使用人の二五パーセントは一週二五ドル以下を取つてゐた。最も低い賃銀を支拂はれるのは農業労働者であつて、その中の五百五十萬は、食費を持つ場合には月に三五ドル以下、食費を持たずに約四九ドルの現金を收得する。同時にこれらの労働は季節的性

質を帯び、従つてその収入は不規則であることを注意しなければならない。アンナ・ローチエスター (『レーバー・エージ』Labour Age 一九二八年二月) は、一週二五ドル以下の収入の労働者の数を一千六百萬と見積つた。(五百五十萬の全農業労働者、合衆國にゐる百萬の鑛山労働者の約半數、一千二百萬の工場労働者の中の約五百五十萬、四百萬の運輸労働者の中の約百五十萬、商業及び公共事業の労働者、五百萬の事務所使用人の中の少くとも五分の二及び三百萬の個人的勤務をなす者の中の百七十萬) 一週二五ドル以下の収入の六百萬人は婦人である。かれらは、一九二八年九月、ニューヨーク及びイリノイスの如き賃銀のよい都市においてさへ一週一八・七三ドル及び一八・五二ドルであつた。然るに當時男子労働者の平均賃銀は、ニューヨーク三四・〇八ドル、イリノイス三二・一五ドルであつたのだ。一週二五ドル以下の収入の一千萬人の男の中、三百萬人は二十歳以下であり、一方、かかる僅かな収入を有する他の七百萬人は、成人労働者の全數の三分の一に達してゐる。

男女の労働者の最低の賃銀率は南部十州において見られる。一九二五年の調査の結果によるとその數百萬人の工場労働者は平均一年一〇〇〇ドル(一週一九・二三ドル)以下の収入である。賃銀(正當の労働週における収入)の地方的差異は、次の労働統計局の發表によつて明らかになる。(『アメリカ労働年鑑』一九二八年)

産業部門	平均(ドル)	最 高(ドル)	最 低(ドル)
鑄物	三一・四二	三四・〇〇(イリノイス)	二一・〇九(ジョルジア)
製材	二〇・七四	二八・六六(カリフォルニア)	一三・六二(南カロライナ)
屠畜	二五・一五	三三・〇〇(ミシガン)	一八・六三(フロリダ)
靴下編	一七・一八	二一・〇四(ウイスコンシン)	一三・四四(インディアナ)
洗濯工場	三五・五一	六一・五〇(ニュージャージー)	一五・七〇
男	一八・四四	二五・五三(ニューヨーク)	一〇・五六(アラバマ及びルイジアナ)
女	二四・三三	二七・三四(マサチューセツツ)	一三・二八(ジョルジア)
羊毛品	一七・六四	二〇・七五(イリノイス)	一〇・二八(ジョルジア)
男	一八・六七	二五・二七(ニューハンブリア)	一四・五五(アラバマ)
女	一五・八九	二〇・九〇(ニューハンブリア)	一一・四三(アラバマ)

従つて吾々は、最高賃銀を有する州と最低賃銀を有する州との間の賃銀の差は、六一パーセントと北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(一)

二九二パーセントの間を上下し、多くは一〇〇パーセント乃至二〇〇パーセントであることを知る。

一九二七年の營業調査は、北カロライナには平均二〇四、五〇〇人の労働者が仕事に従事してゐて合計一五八、三九四、四三四ドルを毎年收得してゐるが、それは一人當り七四七ドルとなり、アメリカの平均より四〇パーセント少いことを示してゐる。全國で最低の賃銀は南カロライナであつて、労働者は平均一年六八四ドルを收得する。(總平均より四七——四八パーセント少い。) ジョルジアにおいては、平均年収入は七〇二ドルになる。『ラーバー・ニュース』Labour News——『労働者ニュース』——一九二九年五月四日) 南部諸州の紡績労働者の賃銀は、十時間乃至十二時間の労働時間で、一週一〇——一三ドルであり、婦人及び子供の賃銀は五——六ドルにさへなる。

次の考量は、一週間の必要なる支出に比較してかゝる収入が如何に憫むべきものであるかを示してゐる。即ち、住宅一・五〇ドル、家具一ドル、電燈五〇——八五セント、燃料二・二〇ドル(薪)又は一・七五ドル(石炭)、しかもそれは屢々實際多數の家族の養育を全然別としてである。(『デリー・ワーカー』Daily Worker——『労働者新聞』——一九二九年五月三十日)

南部における労働者の廉價なことは、企業家をしてその工場を北部地方から南部に移轉せしめ、その結果この地方においては労働者数が増加したが、労働に對していゝ賃銀を支拂はれてゐる諸州の労働者数は減少した。

吾々は既に不熟練労働者の低賃銀を述べた。次の表は一九二九年一月一日の二三九、六四四人の成人不熟練労働者の初任時間賃銀である。(『マンスリー・レーバー・レビュー』一九二九年五月)

産業部門	最低(セント)	最高(セント)
自動車産業	三〇・〇	六二・五
製瓦及び製陶	一八・五	五三・〇
セメント工場	二五・〇	五六・〇
電気機械及び器具	三五・〇	五二・五
鑄物及び機械製造	一七・五	六〇・〇
鑛業	二〇・〇	五〇・〇
製革工場	二〇・〇	六〇・〇
製材業	一五・〇	五〇・〇
製紙工場	二二・〇	五五・〇
石油精製	二五・〇	六二・〇
屠畜業	三〇・〇	五〇・〇

北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(一)

自治體企業

その他企業(鑛業道路及び鐵道建設、國家企業等)

總平均

二〇〇〇	六一・五
一七・五	一一二・五
一五・〇	一一五・二

一九二六年以後平均賃銀は五・六パーセント上つたが、最低賃銀は變化せず、最高賃銀は二〇パーセント増加した。

労働省でさへも不熟練労働者の僅かな賃銀に注意し、次の如く白狀せざるを得なかつた。即ち、合衆國においては、『遺憾乍ら吾が繁榮の幸福を享受しないところの數百萬人の不熟練労働者が存在する。これらの労働者の生活條件は、イギリスにおける同様の労働者範疇の状態よりも悪く、僅かにドイツにおける諸關係に等しい』と。

不熟練労働者の中には、ネグロ人が全く特別に低い賃銀の集團を形づくつてゐる。白人の民族的偏見が、多くの場合かれらを熟練した、賃銀のよい職業から押し隔てゝゐる。かれらの労働は、白人と同じ労働をする場合にさへ、大てい安く見積られる。従つて、一九二四年ヴァージニアにおいて白人煉瓦積工は一日一〇・二四ドル、ネグロ人は八・七五ドル、白人製本工は一日六・三〇ドル、ネグロ人は二・七八ドル、白人植字工は六ドル、ネグロ人は五・四ドル、白人組立工は五・六ドル、ネグロ人は一日四・二一ドル等であつた。ヴァージニアにおいては、五五五四人のネグロ人婦人労働者の中六三パーセントは、一週一ドル乃至一〇ドルの収入であつたが、白人婦人労働者は多くの場合一〇ドル乃至一五ドルの収入であつた。(マンダリアン、『北アメリカ合衆國における労働者階級の狀態』)ネグロ人の困難な物質的關係、貧しい住宅關係は、大きな死亡數と疾病數とを齎らした。従つてバルチモアにおいてはネグロ人の死亡率は白人よりも六〇——七〇パーセント高い。結核による死亡件數は一九二五年にそこではネグロ人一〇〇〇人に對して三五八、白人一〇〇〇人に對して八三、シカゴにおいては白人一〇〇〇人に對して五八、ネグロ人一〇〇〇人に對して三六六であつた。

合衆國各州における小兒死亡に關する次の表も注意せねばならない。

白人	小兒死亡	
ネグロ人		
カンサス	八〇	一七二
ノーフオルク(ヴァージニア)	五三	一四四
ルイスヴィル(ケンタッキー)	六六	一七八
インディアノポリス	六九	一三六
ワシントン	六四	一三四

『世界經濟と世界政策』一九二九年五月)

北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(一)

高給及び低給の労働者範疇の賃銀の間の距離は益々増加する。かくて、組織労働者の週賃銀（全労働週の）は一九一九年から一九二五年までに五〇パーセント増加したが、全工場プロレタリアートの平均賃銀は僅かに一〇パーセント増加したにすぎない。労働組合賃銀率は一九二七年に一九一九年の水準を既に六三パーセント突破してゐたが、未組織労働者の賃銀は近年低下してゐる。

労働賃銀に對する資本の攻撃

近代アメリカ資本主義の傾向の最もよい表現は、十州の一七五、〇〇〇人の鑛山労働者をストライキに導いたところの一九二七年初頭の鑛山労働者賃銀に對する攻撃である。このストライキは、請負労働において一噸當り一・八ドル、時間賃銀において一日七・五ドルを豫定してゐたチャックソンヴェイル協定の更新を企業家が拒絶したのに對する回答であつた。三年と定められてゐたチャックソンヴェイル協定の期間は、一九二七年四月一日を以て経過した。一年以上繼續したこの闘争は、罷業團の英雄的抵抗が最後に敗れ、イリノイス及びインディアナの鑛山労働者の賃銀が一噸九一セント、一日六・一〇ドルにまで、ジョワにおいて一日五・八〇ドルにまで、オハイオにおいて一日五ドルまで引下げられたことによつて終つた。然るにチャックソンヴェイル協定が有効であつた時においてさへ、鑛山労働者の収入は、次の事實に基づいて容易に理解し得る通り惨めなものであつた。第一に減額制度（使用した爆

薬に對し、道具に對し、焼入に對し、石炭の混石量に對し……又遅刻及び缺勤に對する罰金の形において、地方税の形において等）の存在によつて、鑛山労働者は最もよくて高々受取るべき賃銀の三分の二しか手に入らなかつた。更に坑内労働者の住む労働者植民地においては、生活は都會におけるよりも高くつく。殊に労働者が企業家の賣店で購買しなければならぬところでは、物價は普通より二五パーセントも高い。最後に、そしてこれは賃銀を引下げる最大の要素であるが、鑛山は通例一週に三日しか作業しないので、その結果鑛山労働者の年収入は、一日七・五〇ドル取るとしても、二二五〇ドル（三〇〇労働日に對し）ではなくて、官廳の發表によるとイリノイス州において九〇〇ドル以下に低下してゐたのである。組織された鑛山労働者の賃銀がこれ程少いとあれば、未組織者はもつと大きな困窮に悩まねばならなかつた筈である。そして實際テンネッシー及びアラバマの非組織地方における鑛山労働者は、一日僅か二ドルを收得するにすぎなかつた。社會保險の缺除によつて、ヨーロッパ以上の大きな災害數によつて、（一）合理化の結果増大し行く労働強度（アメリカの鑛山労働者の労働生産性はヨーロッパの三倍乃至四倍である）によつて、及び固定的失業（企業家の聲明によると二〇〇、〇〇〇乃至三〇〇、〇〇〇の坑夫が『過剩』になつてゐる）によつて、アメリカ鑛山労働者の状態は、ストライキ以前においても極めて困難であつた。長い失敗した闘争の後に、賃銀引下げに面して今それは如何なるものでなければならぬか！

(1) 合衆國においては毎年、正常労働時間の三分の二乃至二分の一を形成する労働に際して、二、五〇〇人の
 鑛山労働者が死亡し、三〇、〇〇〇人が重傷を負ひ、一〇〇、〇〇〇人が輕傷を負ふ。一九二〇年には災害
 死亡はイギリスにおいて一〇〇〇に對する〇・八八、合衆國において二・九二であり、鑛山労働者の全死
 亡は合衆國において一〇〇〇に對する四・八九、イギリスにおいて一〇〇〇に對する一・〇九であつた。

次の如き労働統計局の報告『マンスリー・レーバー・レヴュー』(一九二九年九月)は同じく近年に
 おける鑛山労働者賃銀の低下を示してゐる。次表に示されてゐる數字は、合衆國の鑛山労働者の全數
 の二六パーセントを成してゐる一五二、二二一人の鑛山労働者に及んでゐる。一九二九年の報告は、第
 一四半期である。

職 業	調査に含まれる 労働者數	賃銀支拂の中間の勞 働日數(二週間の中)	二週間の平均收入 (ドル)
手積運搬夫	一九二六年 六六、四一四 一九二九年 七〇、八五三	九・四 八・九	五七・四八 四五・七三
採炭夫	一九二六年 一、〇六五 一九二九年 一、一七七	九・五 九・五	一〇八・三三 八〇・五〇

手掘採炭夫	一九二六年	一九二九年	一九二四年	一九二五年
機械掘採炭夫	一九二六年 二〇、五九四 一九二九年 一九、六六六	九・八 九・四	六〇・三一 五〇・二九	
一就業時間當り五・五〇ドル(チャックソングイル協定に従へば七・五〇ドル)の平均收入に對し	一九二六年 六、〇五五 一九二九年 五、九三七	一〇・三 一〇・〇	一〇二・六八 八六・五一	

各州の鑛山労働者(採炭夫及び運搬夫)の收入は次の通りである。(一九二四年の報告と比較しよう。)
 『マンスリー・レーバー・レヴュー』一九二九年九月及び『デリーリ・ワーカー』一九二九年十月八
 日)

	一九二四年	一九二五年
アラバマ	四・五七ドル	四・〇三ドル
ニロラド	七・二三	六・一八
イリノイス	八・三五	七・〇四
インディアナ	八・五六	六・八三
北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(一)	一五三	

カンサス	九・五二	一五四
ケッタツキー	五・六三	五・〇三
オハオイ	七・一七	五・一五
ペンシルヴァニア	六・四〇	四・八七
アテンネツシー	四・〇八	五・二七
ヴァージニア	四・六五	三・八六
西ヴァージニア	六・一〇	四・三〇
		五・三五

この表から、鑛山労働者の賃銀が最近五ヶ年に如何に低下したかを明らかにすることが出来る。この表に現はれた一九二九年の調査の關係してゐる第一四半期以後、新たな賃銀値下が行はれた。ピッツバーグにおいて七パーセント、(一九二九年四月)オハイオの二三の會社において一〇パーセント、(八月)同じく八月に大きなペンシルヴァニア中央組合によつて行はれた賃銀値下(定時間労働者に對して五ドル乃至六ドル、超過時間労働者に對し一時間當り五五セント乃至四五セント)がそれである。その外全國鑛山労働者組合はピッツバーグ地方における多くの新たな賃銀値下を報じてゐる。(『デーリー・ワーカー』一九二九年十月八日)

北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態 (二)

(一九三〇年三月)

一九二八年の始めニューイングランドの紡績労働者の賃銀が一〇パーセント引下げられた。九月にはニュー・ベッドフォード(マサチューセツツ州)の二五〇〇人の紡績労働者の賃銀値下があつた。企業家は一〇パーセントの賃銀引下を主張し、労働者はそれに對してストライキを以て答へたが、それは約半年間繼續し、調停裁判所が五パーセントの賃銀引下の判決を下したことによつて、妥協を以つて終つた。一九二八年の始めにはもつと大きな賃銀引下(一〇パーセント乃至二〇パーセント)がニュー・ベッドフォードの近くの都市トレントン及びフォールリヴァーにおいて起つた。

一般に、アメリカ紡績労働者の賃銀は、一週五四時間、所によつては七十二時間の労働時間にも拘はらず、平均水準よりも著しく低下してゐる。同時に大ていの紡績労働者は短時間労働者であつて、一週僅か一日乃至二日しか働かない。

それと同時に、吾々の既に説明した如く、多くの紡績工場が、労働者の賃銀のもつと悪い南部諸州

に移されたので、北部においては完全失業の増加が見られる。一九一四年には南部諸州にアメリカ紡績労働者の全数の四三・一パーセントがゐたが、一九二五年にはこの比率は五五・八に上り、一九二六年から一九二九年までに南部の綿糸産業における従業員の比率は更に五・七パーセント増加した。紡績産業の生産品の価値は、一九二五年において、南部は北部より四三パーセント大であつた。

次の官廳調査の結果は、北部諸州と南部諸州の紡績労働者の賃銀の差が如何に大であるか、一週間の労働時間数が如何に異つてゐるかを示してゐる。(『マンスリー・レーバー・レビュー』一九二八年十月)

時間賃銀(セント) 一週の労働時間數 週收入(ドル)

南部	
アラバマ	
男	二六・五
女	二一・六
北カロライナ	
男	三一・二
女	二六・二
南カロライナ	
男	五五・八
女	五五・八
男	一七・四一
女	一四・六二

北部	
ニューハンプシア	
男	一八・一
女	二二・四
男	五五
女	五五
男	一五・四六
女	一一・三二
ロード・アイランド	
男	四五・五
女	三八・一
男	五三・九
女	五三・三
男	二四・五二
女	二〇・三一
マサチューセツツ	
男	四四・三
女	三七・三
男	五二・一
女	五二・二
男	一三・〇八
女	一九・四七
マサチユウセツツ	
男	四二・七
女	三五・三
男	四九・七
女	四七・九
男	一一・二二
女	一六・九一

二三の南部の紡績中心地においては収入はもつと少い。例へば、エリザベスタウン、(テンネツシ州)においては、十時間の労働時間にも拘はらず、娘は週に八ドル乃至一〇ドル(一時間一六セント乃至一八セント)を收得し、大てい既婚者である紡糸工は十二時間労働で一週平均一二ドルを收得する。

北アメリカ合衆国における勞賃及び労働者階級の狀態(二) 一五七

しかもそれは全労働週に仕事のあつた場合のみである。(『ニューヨーク・タイムス』一九二九年九月二十八日)

一九二〇年以來アメリカ紡績労働者の賃銀は絶えず低下してゐるが、その低減は次の如く、即ち、マサチューセッツにおいて二六パーセント、ジョルジアにおいて三二パーセント、南カロライナにおいて四一パーセント、北カロライナにおいて三六パーセントである。

然るに技術的進歩のために、紡績産業における労働生産性は、次の報告から知られる如く非常に増大した。(ガストニア事件に際してのブルジョア新聞『バルチモア・サン』の通信員の報導による。)一九一三年には織機は一分間に一二〇回轉したが、現在では二二〇回轉する。二三年前には一人の織布工が三〇臺乃至三六臺の織機を支持つてゐたが、現在ではその數が九〇臺、一〇〇臺及び一一八臺(自動織機)にさへも上つてゐる。

技術的完成のみが問題なのではない。企業家は、労働生産性を、主として強度化によつて、しかもそれに適應する賃銀の増加なくして増大せしめようと努力する。(1)この壓迫に對しては、多くの場合山間の村から出て來てゐる、最も後れた、最も階級意識のない労働者グループに屬するところの、未組織な南部の紡績労働者さへ反撥した。かれらは資本家の合理化手段(2)に對して、その年にグリーンヴァイル、ボルサー、ブランドック、ガストニア、マリオン等に勃發したところの多くの自然發生的ストライキを以て答へた。(3)

(1) 一九二九年十月十二日の革命的紡績労働組合大會の代議員は、南部諸州における賃銀額と労働生産性の關係について次の如き典型的例證を報告した。(『レーバー・ユナイティ』(Labour Unity)一九二九年十月十日) 一人の労働者は二年間に作業能力が二倍になつたにも拘はらず、収入は一週二五ドルから一ドルに低下し、今一人の労働者は以前に二四臺の織機を持つてゐたのが今では七二臺となり、しかもそのためには僅かに二ドル多く(一九ドルの代りに二一ドル)支拂はれたにすぎない。ジョルジアの代議員は一週六〇——八〇の労働時間に對して六——九ドルの収入について述べた。カロライナにおいては一週八——九ドルの収入であるのに、作業は以前の三倍乃至四倍になつてゐる……

(2) グリーンヴァイル(南カロライナ州)においては、企業家が、労働者の全行動を統制し、労働強度の増大を齎らすところの自動調節機を据つけようと企てた。ボルサー(同じく南カロライナ州)においては、かれらは、一人の織布工の受持つ機械の數を三倍に(二四臺乃至二六臺から七二臺に)し、一週一七——一八ドルの代りに一九——二〇ドルを支拂はうと企てた。即ち三倍の労働に對して僅か一ドル餘計に與へようといふのである。

(3) 合衆國南部の紡績労働のストライキ闘争の詳細な論評は『社會經濟労働者評論』一九三〇年第一冊にある。

賃銀は自動車産業においても低下した。自動車労働者の平均年収入は、一九二七年には一九二三年及び一九二五年に比して低下した。(夫々一六三〇ドル、一六七五ドルに對して一六〇三ドル)

一九二〇年において一労働年の平均労働日が三〇〇日となり、労働が恒常的性質を帯びてゐたとす

北アメリカ合衆國における賃賃及び労働者階級の狀態(二)

れば、労働者の収入は一年約二〇一三ドル、即ち一日六・七一ドルであつた。一九二五年及び一九二六年においては、一日六・六七ドルを取る労働者は一年に二二二日しか仕事がなく、従つてその年収入は既に一四八〇ドルに、即ち五三三ドル少くなつてゐた。全經濟の不況時代、即ち一九二七年にはもつと悪くなつた。これは部分的失業を考慮しての自動車産業の労働の現實賃銀に關する次の報告から知ることが出来る。(ロバート・ダン『労働と自動車』)

自動車産業における現實賃銀指數

一九一九……一〇〇	一九二〇……八〇
一九二一……八三	一九二二……九六
一九二三……一二一	一九二四……一〇五
一九二五……一二三	一九二六……一一七
一九二七……九四	

一年全體を働くと前提しての収入(一九二五年において一六七五ドル)が、二〇二八ドルに達する最低生活費に比して三五三ドル不足するとすれば、自動車労働者の家族の家計においては如何なる不足額が生ずるか? 一九二六—二七年においては、或る程度の生活費の低下にも拘はらず、不足額はつと大きかつた。(雑誌『レーパー・ユナイテイ』「労働組合統一」一九二九年十月十二日に現は

れた最近の發表によれば、自動車労働者の平均収入は二三三ドル低下した。)

自動車産業の賃銀引下は、労働の非恒常的性質によつてのみ惹起されたのではない。企業家は直接又は間接に賃銀を引下げるためにあらゆる手段と方法を求める。その際全工場の賃銀が同時に引下げられるのではなく、最初は個々のグループ及び部門には保留される。引下は屢々労働者が一定の速度に達した後請負率の減少といふ形で行はれ、又は複雑な、労働者には少しも理解出来ない歩合制度を伴ふあらゆる奸計によつて行はれる。

統一的な賃銀支拂制度の除去及び激しい失業の存在はその際企業家にとつて甚だ助けとなる。吾々は一九二八年の間における賃銀値下の二三の例を示さう。

ドツヂの自動車工場においては、一〇〇の異なる作業毎に、以前の四・五五ドルの代りに三・一〇ドル、以前の五・二〇ドルの代りに三・五五ドル、一・一〇ドルの代りに九五セント、一・三〇ドルの代りに九五セント、一・三〇ドルの代りに八五セント、以前の二・八五ドルの代りに二ドルを支拂ひ始めた。

今一つの工場では、十二時間労働に對する九——一〇ドルの代りに、十三時間労働に對する六——七ドルを支拂つてゐる。第三の工場では九時間に對する支拂が七ドルから五・九五ドルに減ぜられ、第四においては一九二八年の夏に請負率が九・八セントから八・四セントに減ぜられ、その結果労働

者は以前の収入を維持するためには以前の八八個の代りに一〇〇個を仕上げねばならなくなった。

企業家の最も好きな方法は、高給の労働者を解雇して給料のより少い労働者を以て置換へること、又は全く新たな条件でこの労働者を再採用することである。かくて例へば、フォード工場においては一九二七年及び一九二八年において、一日六・八〇ドル乃至七・二〇ドルを取る数千の老年労働者が解雇され、その代りに、同じ労働に對して僅か五ドルを支拂ふところの新たな労働者が採用された。

パツカード工場においては一九二七年に、時間賃銀が八〇セント乃至九〇セントに達する労働者の一團が解雇され、一時間僅か七〇セント乃至八〇セントを受けける他の一團によつて置換へられた。一九二八年にはこの労働者が再び新たな労働者によつて置換へられ、その時間賃銀は既に僅か五四セント乃至六〇セントとなつた。

特に企業家の氣に入つてゐるのは、基本賃銀を動かさずに、その計算が労働者の手に負へないところの歩合を減らすことである。一般に、工場毎に變つてゐる複雑な面倒な賃銀支拂制度は、労働者をして基本賃銀の外に幾ら取れるか（賃銀支拂は月二回行はれる）を豫め決して知らしめなためであるといつてよゝ。

これと同じく、彼は、新しい工場にはゐるとしても如何なる労働条件がそこで待つてゐるか、又仕事場所の變更によつて得するか損するかを知らない。

賃銀引下の方法の一は、あれ程の騒ぎを起さしたフォードの一週五日労働制であるが、それは自ら明らかになつた様に、企業家はたゞ五労働日に對して賃銀を支拂ふだけであつて、多くの者が考へてゐる様に一週全部に對して支拂ふのではない。フォードが多く工場各部に施行してゐるところの三交代から二交代への移行によつて、労働時間の中から以前の十五分の代りに工場から賃銀を支拂はれてゐる二十分を朝飯のために使用する権利が労働者に與へられた。

吾々は、紡績産業について述べた時、資本家は工場を安い労働力のある地方に移す傾向が益々強くなつて行くことを指摘して置いた。同じ現象は他の産業部門においても見られる。就業労働者の全數及び北部におけるその數の減退と同時に、それは南カロライナにおいては一九一九年から一九二五年までに二六パーセント、北カロライナにおいては一五・六パーセント、ジョルジアにおいては一四・四パーセント、テンネツシーにおいては一三・一パーセント、ミシガンにおいては九・四パーセント、アラバマにおいては八・八パーセント、アリゾナにおいては七パーセント、カリフォルニアにおいては二・四パーセント増加した。

近代アメリカ資本主義の極めて特徴的な形相は、近年異常に増大したところの、外國並に合衆國以外のアメリカの工場への投資といふ形における資本輸出である。かくて例へば、トラクター工場は、フォードによつて、労働力が本國よりも遙かに安いアイルランドに移された。だが、生産品は矢張り

一九〇四	四九・二	一七・九	四九・五	四七・四	四九・五	三〇・八	三三・八	三〇・六	四六・五
一九〇九	四一・六	一六・四	四七・一	四八・六	四八・〇	三六・三	三三・二	二九・〇	四五・〇
一九一四	三七・四	一八・八	五五・四	五三・五	四八・二	二八・八	三三・九	二七・五	四七・二
一九一九	四三・二	二五・二	五三・七	四九・三	四〇・五	三二・四	三三・四	三三・四	三八・七
一九二一	四二・一	二七・三	六六・二	五三・二	五一・六	三五・四	三五・一	二七・五	四六・七
一九二三	四五・二	二四・七	五四・〇	四八・九	四八・八	三二・九	三三・四	三三・八	四二・九
一九三五	四〇・八	三三・五	五一・五	四九・八	四七・三	二九・七	三三・八	二六・八	四三・八

かくして生産量は不斷に増大してゐるのに、生産の費用價格における賃銀部分は殆ど固定してゐる。言ひ換へると、國民所得中の労働者の部分の減少を見なければならぬ。クチンスキー(『アメリカにおける賃銀と景氣』)が提案した様に、支拂はれた賃銀の總額、労働者數及び労働者一人當りの平均賃銀を一方に置き、生産の總價值、人口數及び人口一人當りの生産の價值を他方に置くならば、吾々は工場労働者の『社會的購買力』を計算し得るであらう。それはその國におけるかれらの社會經濟的狀態の指標となるものである。

社會的購買力の指數

(賃銀指數を生産價值數で割り、労働者一人當り及び人口一人當りに換算せるもの)

一九〇九年……	八一	一九二三年……	八三
一九一四年……	八四	一九二四年……	九八
一九一九年……	七〇	一九二五年……	八四
一九二〇年……	六八	一九二六年……	八七
一九二一年……	一〇五	一九二七年……	九五
一九二二年……	七九	一九二二年……	七九

かくの如く、二十七年間における北アメリカ合衆國の經濟力の狂氣じみた發達速度にも拘はらず、労働者の社會經濟的狀態は改善されなかつたばかりではなく、悪化さへしたのである。

一九二七年の營業調査に従へば、一九二五年以來の生産價值の増加は合計して八億ドルに達するがその一方工場労働者の賃銀基金は僅か一億ドル増加したにすぎない。従つてアメリカの工場プロレタリアートにとっては、生産の増加の僅か一二・五パーセントだけが利益となつてゐるにすぎない。

失業の結果としてのプロレタリアートの購買力の低下

こゝでは始終就業労働者の購買力を問題にしてゐるのであることを忘れてはならない。だが吾々が既に確めた様に、労働の機械化及び合理化の結果就業度は一年毎に減少して來た。一九二八年三月に

は、労働局の計算によると、合衆國には、一九二三年の百萬人に對して約四百萬人の完全失業者がゐた。

一六八

その上、一九二八年十二月には工場の一五パーセントに短時間労働が行はれて居り、六六パーセントは十分註文を持つて居ず、その生産能力の八九パーセントだけが利用されてゐるにすぎなかつた。労働局が報導した如く、マサチューセッツでは一九二八年一月一日において一、〇〇三の工場に働いてゐる労働者の一七・三パーセントは短時間労働者であり、働いてゐる者の二二・八パーセントは一週間全部は作業しない様な工場に働いてゐた。即ち言ひ換へると正常に働いてゐるものは全労働者の三分の二以下であつた。

總てこれらの事實は、過剰生産及び販賣恐慌の結果たる巨大な量の短時間労働の存在を證明する。そして總てこれらの要素は、階級としてのアメリカのプロレタリアートの事實上の収入を引下げ

北アメリカ合衆國における労働賃銀と 労働者階級の狀態 (三)

(一九三〇年四月)

アメリカのプロレタリアートの實際の狀態

最低生活費に達しないところの、それ以下では労働者の家族が生理的又は道徳的頹廢の虞れある限界を形成するところの収入、これが『榮えつゝある』アメリカの労働者大衆の運命なのである。かゝる事情は廣く行はれてゐる婦人及び小兒労働の搾取の根據の一つである。合衆國においては百萬人以上の十才乃至十五才の年齢の子供が賃銀労働をしてゐるが、その中三七八、〇〇〇人は十才乃至十三才の年齢である。その上、その數は一九二四年から一九二六年までに一三パーセント増加した。

これと關聯して、合衆國における婦人の夜間労働に關する次の如き官廳調査の結果を引用することは興味がある。(『工場と労働組合』一九二九年九月)調査された四三六七人の婦人労働者の中、一九四四人は毎夜平均十時間づゝ労働してゐた。その中六二七人は九時間乃至十時間、六〇二人は十一時間、二五二人は十二時間労働し、僅かに四三八人、即ち全數の一〇パーセントだけが夜間八時間労働して

北アメリカ合衆國における賃賃及び労働者階級の狀態(三)

一六九

わた。だが又、その九〇パーセントまでは何等かの方法でこの八時間夜間労働を延長された。一労働週の労働時間は、一九二二年の婦人労働者が五〇時間、六〇五人の婦人労働者が五五時間で、その他のものは五〇時間乃至五五時間であった。三〇人のレストラン給仕人は労働時間が毎週七八時間に達した。二人の労働婦人は毎日十三時間労働した。夜業時間は時折時間外労働をもしなければならぬ。婦人の夜間労働が晝間労働より悪い賃銀を支拂はれてゐることは注目すべきことである。例へば、アラバマにおいては晝間労働者は一週八・八〇ドル、夜間労働者は八・五五ドル、ニュージャージーにおいては晝間において一四・九五ドル、夜間において一四・六五ドル、テンネツシーにおいては晝間が一・一〇ドル、そして夜間が一〇・五〇ドルの収入であつた。

吾々は既に労働生産性の増大について述べた。一九一八―二〇年一〇〇とするならば、一九二六―二七年には、工場工業において、就業労働者の数の指數は九一・〇、生産量の指數は一三〇・五、そして労働者一人當りの作業能率の指數は一四三・〇に達した。それに關聯して、この増加に拍車をかけるところの賃銀支拂方法に、簡單ではあつても觸れて見ることは興味がある。例へば、自動車産業において極めて廣く行はれてゐる『歩合賃銀の集團形態』(ガング・ポナス)をとらう。吾々はこの制度の一例を述べようと思ふ。

ニューヨーク聯邦準備銀行の報告によると、一九二二―二六年の期間における三五五の株式會社の

四半期當りの純利潤は次の通りである。(百萬ドル)

産業部門	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
モーター類の製造	三五	二七	五六	六五
鑄鋼	四一	二九	三四	四三
石油産業	一五	一七	二二	二七
食料品産業	一一	一三	一四	一八
金屬産業及び鑄鑿業	六	五	八	一一
機械製造	四	四	五	五
その他工業	八	一〇	一三	一六
全工業	一一〇	一〇四	一五〇	一八四
鐵道運輸	二四六	二四六	二八三	三〇八
電話企業	三四	三八	四七	五三
合計	四〇〇	三八八	四八〇	五四七

一九二八年二月のアメリカ銀行聯盟の新聞が報導してゐる様に、二〇〇の會社の利潤は一九二六年から一九二七年まで八・四パーセント増加した。

北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態(三)

大『ナショナル・シティ・銀行』の報告によれば、六五〇の重要な株式會社の一九二九年上半期における利潤は、一九二八年よりも四億〇八百萬圓、即ち二五パーセント多かつた。二三の鐵及び鋼鐵會社の純利潤は八千五百萬ドルから一億七千二百七十萬圓に増加し、鋼鐵トラストの純利潤は前年の二倍になつた。二一の石油會社は、一九二八年の三千三百二十萬圓に對して五千五百五十萬圓の利潤を引き出した。飛行機製造の利潤、銅、機關車及び車輛工場、ゴム工場の利潤の増加は、平均五〇パーセントに達した。

結 論

かくの如く、全國の巨大な自然資源とその廣汎なる利用と、技術と、合理化の驚異、生産の量及び價値の巨大な増加、勞働強度の未曾有の増大、急激に増加し行く企業家の利潤、勞働貴族の高い生活水準は、不評判なアメリカの『繁榮』のたゞ一つの面にすぎない。

會つて一度も僅かな最低生活費の半ばにも達したことの無い勞働者の壓倒的多數の收入、生産と勞働強度の急速なる増大によつて知られる數年間に於ける全賃銀基金の固定、生産の價値における費用部分の減少と國民所得中における勞働者階級の部分の低減、大産業部門（炭鑛業、紡績産業、自動車製造）における賃銀の低下、無制限な勞働の強度化、勞働者の身體の急激な消耗、災害件數の増加と

勞働可能年齢の短縮、頑固な益々増大し行く失業、社會保險の排除——勞働者家族の家計にとつて甚しく重荷となるところの——小兒勞働の廣汎なる普及等々、これが、この國がその繁榮の創造者、勞働者階級に向けてゐるところの今一つの面である。

北アメリカ合衆國の經濟におけるこの深刻な矛盾、生産の不斷の増大と大衆の購買力の低下との間の異常な距離は、その中に恐慌の不可避性を藏して居り、その最初の兆候は既に感じられる程になつてゐる（一九二七年の不況、一九二九年九月以來の自動車及び鐵産業における生産の急激な減少、ニューヨーク取引所の恐慌等）が、それについては吾々は他の論文の中で述べて置いた。

階級對立は益々尖鋭化し、合衆國南部における資本と勞働との激烈な鬭争はその證據となつてゐる。五人のグループが自動車の扉に商標を打つてゐる。別々の部分作業をしてゐる勞働者の中、一人は百個毎に二四セント、今一人は二二セント、第三及び第四は夫々二〇セント、第五は一五セントを受ける。基本賃銀は各人も一時間四〇セントである。このグループが最大可能の速度を展開すれば、一時間に二〇〇の商標を打つことが出来る。この場合には第一の勞働者は基本賃銀の外に八セントを第二は四セントを受けるが、その他の者は基本賃銀以上には何も收得しない。

さてその結果はどうなるか？ 歩合に關係のある勞働者は、一時間當り六〇セントの最高賃銀に達することが出来ない間は、歩合を持たない勞働者を追越す。かれらはこの限度以上に速度を速める必

要はなく、それはかれらにとつて不利益でもある。何となれば、この競争は請負率を引下げられる結果となるかも知れないのだから。これに反して、一〇〇個當り二三セント、二〇セント及び一五セントの労働者はそれ以上速度を速めることを心掛ける。何となれば、かれらの最高賃銀にはまだ中々達しないのだから。従つて競争は中止されず、一人は他を超越し、一般的速度に取残された者はグループそのものから追出されて、もつと熟練した、もつと敏捷な者に取つて代られる。この狡猾な制度は企業家をして監督を節約する事を得さしめる。何となれば、監督の機能はグループに委せられてゐるのだから。それは又新しく採用された労働者の訓練のための支出を引下げることが出来る。何となれば、彼と組んでゐるグループは、この新参者の最も急速な訓練に利害を持つて居り、このグループの賃銀を犠牲にして彼の訓練も出来るのだから。同時に労働生産性も向上するが、その向上に對しては、グループの僅か一部分だけが歩合を得るにすぎず、従つて企業家は特別大きな出費なしに著しく向上した生産の結果を得るのである。同時に、相異なる賃銀支拂は、相並んで労働して居り、多かれ少かれ同じ様な熟練を持つてゐる労働者の間に不和の種を撒き、階級連帯を破壊し、それは又資本家にとつて都合がよいといふことをも指摘しなければならぬ。

では労働者は向上した労働生産性に對して何を受けるか、彼はそれに對して何程支拂はれるか？

所謂工業の『アメリカ的』テンポ、吾々が既に強調した様に、益々増大し行く労働強度を齎らすと

ころの労働日の比類なき『壓搾』労働者の身體の過度の緊張と早すぎる消耗、労働可能年齢の短縮と労働能力の早すぎる喪失。労働過程の過度の促進は災害と職業病の増加とを齎らす。一九二七年七月クリーヴランドに行はれた第一回全國労働者健康保護協議會の報告によれば、アメリカにおいては毎年工場内の災害によつて三五、〇〇〇人の労働者が死亡するが、それは一労働日當り一七の死亡件数である。その外に一年三百五十萬人が死ぬまでに到らないが、災害の犠牲となつてゐる。

一九二八年四月の、アメリカ技術者評議會の危険保護技術委員會の報告によれば、賃銀労働者一人當りの馬力数は近年三三パーセント以上増加し、生産の一單位當りの災害件数は減少した。然し乍ら益々大量の生産品が生産されるのであるから、一單位時間當りの災害の絶対数は増加した。そして實際、一九一九年から一九二三年までの期間に、危険保護全國評議會の發表によれば、一單位時間當りの災害件数は二七パーセント増加してゐる。それ以後増加はもつと進展してゐる。

工場災害の増加は、資本主義的合理化の結果が如何に労働者階級の狀態に影響してゐるかを十分に特色づける。

利潤の増加

次の表は、資本家が合理化によつて如何に利益したかを示す。（『アメリカ労働年鑑』一九二八年）

北アメリカ合衆國における勞賃及び労働者階級の狀態（三）

一九一三年乃至一九二七年の間に支拂はれた株式配當及び利子

一九一三年……	一、七七七、二三六千ドル	一九二一年……	三、三四一、八〇八千ドル
一九一四年……	一、七八六、三七六	一九二二年……	三、三九九、七二〇
一九一五年……	一、八六五、一一二	一九二三年……	三、五八五、二一六
一九一六年……	二、一二五、〇二八	一九二四年……	三、八四〇、五八八
一九一七年……	二、三八九、一四〇	一九二五年……	四、〇七七、三二四
一九一八年……	二、七二四、七三二	一九二六年……	四、三三五、九一二
一九一九年……	二、一八九、一六八	一九二七年……	四、七五一、一四二
一九二〇年……	三、四一四、八七六		

かくの如く一九二七年に支拂はれた株式配當は一九二六年よりも九・五パーセント、一九二〇年よりも三九パーセント、一九一三年よりも一六パーセント大であつた。

イギリスの失業状態 — 労働黨政府の統治下における

(一九三〇年二月)

イギリスにおける失業は、既に早くから慢性となつてゐる。一九二一年以來、イギリスにおける失業問題は、この國の重大な社會問題である。登録された失業者の数は、百二十五萬から百七十五萬の間を上下してゐる。今日では登録された失業者の数は約百五十萬人になつてゐる。労働黨政府が權力を握つて以來、それは失業者の数を四〇萬人増加することになつた。この數字は、労働黨政府の『功績』に關する能辯な證據である。

その上、救貧局基金からの扶助に頼つてゐる人々の大軍が存在する。イングランド、スコットランド及びウェールズにおいて、この軍隊は百四十萬以上の數に達する。その中には老人及び病人もあるが、その大部分は失業者から成つて居り、そしてこれらの人々は保護局によつて労働所に入れられるが、それはかれらに扶助金を現金で支拂ふことを拒む。一方かれらは労働紹介による扶助金も、救貧局基金からの扶助金も手に入らないのである。そこで政府は、労働紹介表から失業者を削除した。か